

独立行政法人 農畜産業振興機構
養豚経営対策補完事業

(詳細集計)

養豚農業実態調査全国集計結果

平成27年度

平成28年3月

一般社団法人 日本養豚協会

はじめに

平成27年度養豚農業実態調査は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態把握・分析をすることにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、独立行政法人農畜産業振興機構からの委託を受けて実施するもので、全養豚生産者を対象に実施しました。

具体的には、「21年度に養豚基礎調査に回答をいただいた養豚経営者又は農場責任者」及び「都道府県養豚協会等が確認できている養豚生産者」に対し調査票（4,154件）を配布し、回答が得られたのは1,281件でした。このうち、経営中止、休業等の無効回答及び廃業を除いた885件について全国、地域別、子取り用雌豚頭数規模別等で集計・分析したものです。

基礎的な経営実態をみるため、経営形態、従業員数、後継者の有無、種豚頭数、飼養頭数、肉豚出荷状況、事故率など定型設問のほか、最近の課題となっています衛生レベル・防疫対策、豚肉輸出、環境対策、アニマルウェルフェアなどについて調査を行いました。

この調査結果が、養豚生産者の方々の今後のコスト削減や生産性向上のために少しでも参考になれば幸いです。

この印刷物を作成するに当たり、調査に回答いただきました養豚経営者の方々、また、調査の御指導、調査票の回収及び記入内容のチェック等に御尽力いただきました方々に深謝申し上げます。

平成28年3月
一般社団法人 日本養豚協会

調査結果の概要

平成27年度の調査は、21年度養豚基礎調査以来6年ぶりに実施した本格的な養豚生産者に対する調査であり全体像の把握がはっきり出来ていなかったため、「平成21年度養豚基礎調査で回答があった養豚経営者又は農場責任者」と「都道府県養豚協会が27年8月1日現在確認できている養豚経営者又は農場責任者」を対象に調査を実施した。

原則、農場単位での調査となっているが、実際には経営体単位での回答も多く、「農場」とは経営体としての回答も混在していることにご注意ください。

回答農場数は回答した農場の数を示し、回答数は、設問毎の回答数を示しているため、複数回答の設問については、回答数が回答農場数を上回る場合があります。

また、同じ項目でありながら回答数、回答農場数に差異が生じているのは、クロス集計（経営タイプが一貫生産の子取り用雌豚頭数規模別の事故率等）の場合、対応する項目の回答数、回答農場数が異なることによるものです。

1. 調査回答状況

平成27年度の調査は、「平成21年度養豚基礎調査で回答があった養豚経営者又は農場責任者」と「都道府県養豚協会等が27年8月1日現在確認できている養豚経営者又は農場責任者」を対象（4,154件）に調査を実施した。

回答が得られたのは**1,281**農場（廃業等を含む）で全国集計結果の集計に使用したのは、回答の中から廃業、無効を除いた**885**農場である。

2. 経営形態など

(1) 経営形態

	割合
個人経営	41.6%
農事組合法人	5.0%
有限会社	32.7%
合資会社・合名会社	0.5%
株式会社	15.3%
農協の直営農場	0.5%
契約農場・預託農場	2.1%
その他（都道府県、公益法人、学校法人等）	2.5%

(2) 経営タイプ

	割合
一貫経営	86.3%

繁殖経営 6.0%
肥育経営 7.7%

3. 養豚従事者数

従事者数に回答のあったのは868農場で、従事者数合計は7,031人である。

従事者数の内訳は、家族1,599人、常勤雇員4,968人、非常勤雇員193人、その他（豚肉加工、販売等）271人である。

1農場当たりの平均従事者数は8.1人で、家族2.6人、常時雇用9.9人、非常勤雇用2.2人、その他8.5人である。

4. 後継者

後継者の項目に回答のあったのは869農場で、

「決まっている」	30.3%	後継者の平均年齢34.0歳
「対象はいるが、決まっていない」	16.7%	予定者の平均年齢27.5歳
「経営者が若いので考えていない」	12.3%	
「いない・考えていない」	25.3%	
「会社等後継者と関係がない」	15.4%	

5. 飼養頭数

子取り用雌豚の全頭数は281,280頭で、そのうち純粋種は34,290頭(12.2%)、交雑種は246,990頭(87.8%)である。

交雑種の内訳はLW：30.2%、WL：12.4%、LW、WLいずれか：19.0%、その他の組合せ：8.4%、海外ハイブリッド：30.0%である。

種雄豚の全頭数は11,147頭で、そのうち純粋種は9,011頭(80.8%)である。

6. 肉豚の出荷状況（平成26年1～12月成績）

肉豚の出荷時日齢は	184.7日齢
出荷時体重は	114.1kg
枝肉重量は	74.8kg
「上」物率は	54.3%

7. 種雌豚の繁殖成績（平成26年1～12月の成績）

平均哺乳開始頭数	11.0頭
平均離乳頭数	10.0頭
平均育成率	89.9%

平均受胎率 88.2%

平均分娩率 86.0%

平均分娩回数 2.2回

8. 事故率（平成26年1～12月の平均）

離乳後から出荷時まで通算事故率7.6%、「5～9%」が全体の40.2%と最も多く、「1～4%」が34.4%を占める。また、事故率20%以上が4.6%（30農場）ある。

地域別では

高い 九州・沖縄 8.5%、北陸 8.2%、関東 8.1%

低い 北海道・東北 6.2%、近畿 6.7%

飼育ステージ別の事故率は、子豚舎・子豚豚房では4.8%、肥育舎・肥育豚房では3.8%である。

9. 人工授精の実施状況

人工授精の実施農場割合は、「自然交配を主とし、人工授精を従としている」と「人工授精を主とし、自然交配を従としている」と「人工授精のみ」の合計が69.6%となっている。

使用する精液については、

全て自家産 29.4%

自家産と外部導入 13.4%

全て外部導入 57.2%

実施農場割合の地域別では、北陸79.5%、東海73.8%、関東73.2%と全国平均を大きく上回っており、一方、九州・沖縄61.9%、中国四国61.4%と全国平均を大きく下回っている。

10. 飼養頭数の推移（前年と比較して）

繁殖豚では、「増やした」農場数は10.7%、「変わらない」74.9%、「減らした」11.4%で、増やした頭数の合計は6,621頭、減らした頭数の合計は4,219頭で、「増やした」が2,402頭多い。

肥育豚では、「増やした」農場数は11.6%、「変わらない」76.9%、「減らした」11.5%で、増やした頭数の合計は101,639頭、減らした頭数の合計は32,891頭で、「増やした」が68,748頭多い。

11. 養豚経営の今後の意向

今後の意向は「拡大する」28.5%、「現状維持」60.5%、「経営を縮小」11.0%で、6割が「現状維持」で、「縮小」よりも「拡大」の意向が多い。一方、経営を縮小の内訳うち具体的に今年中あるいは近く廃業したいと考えている農場は縮小の半数近い40農場が廃業を考えている。

12. 現在使用している飼料

使用している飼料の状況（複数回答）を回答農場数に対する使用農場数の割合で見ると、

市販配合飼料	92.2%
食料品残さ等リサイクル飼料	20.0%
自家配合飼料	10.6%
飼料用米	8.6%

を使用している。

地域別に見るとどの地域も「市販配合飼料」の割合が高いが、次いで高いのは北陸を除く各地域は「食品残さ等リサイクル飼料」の割合が高く、北陸は「飼料米」の割合が高い。

13. 衛生レベル・防疫対策

農場における人の入退場について、何らかの対策をしている農場は99.8%で、対策の内訳では「管理地区を示す看板の設置」とする農場が79.4%で最も割合が高い。

豚の導入時の対応では、764農場のうち「隔離検疫を実施している」農場は63.0%である。

農場内への資材の搬入時の対策では、839農場のうち何らかの対策をしている農場は65.1%である。

車両の入退場の対応は、845農場で何らかの対応を実施しており、最も高い割合は「出荷トラックの消毒実施」78.0%である。

野生動物の侵入防止対策では、845農場のうち何らかの対策をしている農場は95.4%とほとんどの農場が実施している。

14. 環境対策

過去1年以内に住民等からの悪臭苦情を寄せられたことがある農場は20.4%で、そのうちの55.6%は公的機関を通して苦情が寄せられている。

悪臭苦情を減らすための方法等を公的機関に相談したのは、回答のあった204農場のうちの53.9%である。

今後の公的機関に期待する役割では、「対策に有効な情報の提示」とする農場が63.7%で最も割合が高い。

ふん尿処理状況については、「ふん」、「尿」及び「ふん尿混合」のそれぞれの処理方法で、いずれも「自家処理施設」を利用している農場の割合が最も高く、「ふん」87.2%、「尿」84.4%、「ふん尿混合」79.7%である。

自家処理施設を利用している農場での処理方法では、「ふん」では「強制発酵」、「尿」では「浄化」、「ふん尿混合」では「浄化」で処理する農場の割合が最も高い。

1.5 アニマルウェルフェアの取組み

農場におけるアニマルウェルフェアの取組状況について、「特に考えていない」54.3%と最も高く、次いで「十分理解していないので情報が欲しい」25.2%となっている。

「飼養管理に考え方を採用」、「具体的に検討中」がそれぞれ10.2%と全体の約2割となっている。

1.6 生産している豚肉に係る海外輸出の取組み

生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて、「特に考えていない」86.8%と大多数を占める。一方、「すでに輸出済」0.3%（2農場）、「販売先等から輸出済」2.4%（19農場）、「輸出準備中」0.6%（5農場）ある。また、「機会があれば輸出希望」は9.9%ある。

目 次

1. 調査回答状況	1
2. 経営関係	2
3. 飼養頭数	4
4. 肉豚の出荷状況	7
5. 繁殖・肉豚出荷等の成績	9
6. 事故率	1 1
7. 交配方法（人工授精を含む）	1 3
8. 経営の推移と今後の意向	1 7
9. 給与飼料	2 3
10. 衛生レベル・防疫対策	2 4
11. 環境対策	3 2
12. 豚肉輸出	4 5
集計表	4 7
養豚農業実態調査票	7 4

〔表記方法の説明〕

1. 表中の赤字及び青字は説明文に使用した数値です。
2. 全国、全体以外の赤字は、全国、全体よりも値が大きいもの、青字は全国、全体よりも値が小さいものを表しています。

1. 調査回答状況

●回答農場数・性別・年齢（地域別）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
回答農場等数		1,281	303	336	55	97	24	120	345
農場責任者等の性別	回答数	885	203	267	42	65	19	78	211
	男	854	201	263	42	64	17	71	196
	女	13	2	2	0	0	1	2	6
	不明	18	0	2	0	1	1	5	9
平均年齢（歳）		56.4	55.9	56.2	57.9	55.3	60.8	55.1	57.2
年齢回答数		811	187	246	38	63	18	70	189

① 平成27年度の調査（平成27年8月1日現在）は、「平成21年度養豚基礎調査で回答があった養豚経営者又は農場責任者」と「都道府県養豚協会等が確認できている養豚経営者又は農場責任者」を対象（4,152農場等）に行い、回答が得られたのは1,281農場等（廃業（389）、農場名記入なし（1）を含む。以下「農場」という。）である。

※原則農場単位に回答していただくこととしているが、1経営体全体としての回答も多くみられた。

② 集計に使用したのは無効回答（経営中止、休業等の無効回答（6）、農場名記入なし（1））と廃業（389）を除く885農場である。

③ 農場責任者等の平均年齢は56.4歳である。地域別では、近畿60.8歳、北陸57.9歳、九州・沖縄57.2歳が全国平均を上回っている。

●回答数・子取り用雌豚飼養規模別

		全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
農場数等	(場)	786	68	83	158	145	190	78	64
	(%)	100.0	8.7	10.6	20.1	18.4	24.2	9.9	8.1

●回答数・肉豚出荷頭数規模別

		全規模	1～399頭	400～999頭	1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
農場数	(場)	803	98	83	146	153	181	73	69
	(%)	100.0	12.2	10.3	18.2	19.1	22.5	9.1	8.6

2. 経営関係

●経営形態（地域別）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1. 個人経営	(場)	368	76	111	21	35	12	22	91
	(%)	41.6	37.4	41.6	50.0	53.8	63.2	28.2	43.1
2. 農事組合法人	(場)	44	8	11	2	2	0	13	8
	(%)	5.0	3.9	4.1	4.8	3.1	0	16.7	3.8
3. 有限会社	(場)	289	62	103	17	23	2	20	62
	(%)	32.7	30.5	38.6	40.5	35.4	10.5	25.6	29.4
4. 合資会社・合名会社	(場)	4	0	1	0	0	0	1	2
	(%)	0.5	0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.3	0.9
5. 株式会社	(場)	135	48	29	2	3	3	16	34
	(%)	15.3	23.6	10.9	4.8	4.6	15.8	20.5	16.1
6. 農協の直営農場	(場)	4	3	1	0	0	0	0	0
	(%)	0.5	1.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0	0
7. 会社・農協等の契約・預託農場	(場)	19	2	5	0	1	0	1	10
	(%)	2.1	1.0	1.9	0.0	1.5	0.0	1.3	4.7
8. その他（公益法人、学校等）	(場)	22	4	6	0	1	2	5	4
	(%)	2.5	2.0	2.2	0	1.5	10.5	6.4	1.9
合計	(場)	885	203	267	42	65	19	78	211
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 個人経営の割合が41.6%と最も高く、次いで有限会社が32.7%と高い。

③ 地域別に見ると、個人経営の割合が高いのは近畿と東海で、低いのは中国・四国、北海道・東北である。

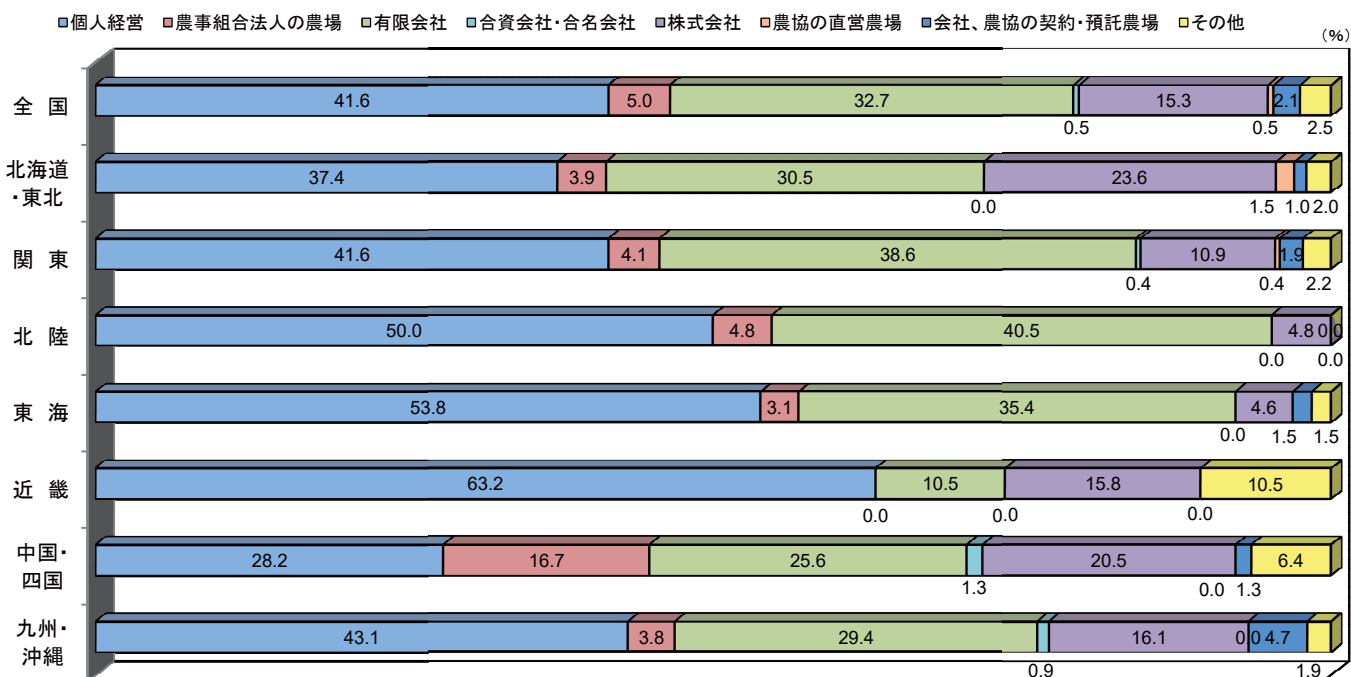
農事組合法人の割合が高いのは、中国・四国である。

有限会社の割合が高いのは北陸と関東で、低いのは近畿である。

株式会社の割合が高いのは北海道・東北、中国・四国で、低いのは北陸、東海である。

農協の直営農場の割合が高いのは北海道・東北である。

契約や預託の割合が高いのは九州・沖縄である。



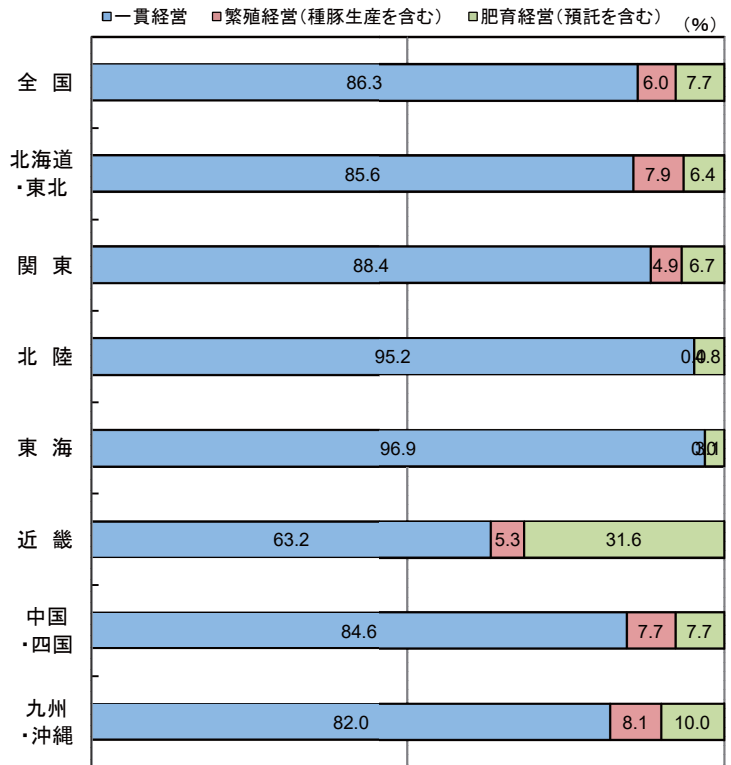
●経営タイプ（地域別）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
1. 一貫経営	(場)	763	173	236	40	63	12	66	173
	(%)	86.3	85.6	88.4	95.2	96.9	63.2	84.6	82.0
2. 繁殖経営	(場)	53	16	13	0	0	1	6	17
	(%)	6.0	7.9	4.9	0	0	5.3	7.7	8.1
3. 肥育経営	(場)	68	13	18	2	2	6	6	21
	(%)	7.7	6.4	6.7	4.8	3.1	31.6	7.7	10.0
合 計	(場)	884	202	267	42	65	19	78	211
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 経営タイプでは、一貫経営の農場数が763(86.3%)と最も多く、繁殖経営が53(6.0%)、肥育経営が68(7.7%)となっている。
- ② 地域別では、一貫経営は関東が236と最も多いが、地域内割合では東海96.9%、北陸95.2%、関東88.4%と続き、低いのは近畿の63.2%である。

繁殖経営では九州・沖縄が17、地域内割合も8.1%と高く、東海、北陸は主に繁殖経営を行っている農場数は0であった。

肥育経営では九州・沖縄が21と最も多いが、地域内割合では近畿31.6%が最も高く次いで九州・沖縄が10.0%となっている。



●養豚従事者数（複数回答、★回答農場数=868）

	回答数	農場数割合	従事者数計	1農場当たり従事者数
家族労働（常時）	609	70.2	1,599	2.6
常勤雇員（社員、契約職員、パート、アルバイト）	502	57.8	4,968	9.9
非常勤雇員（必要な日、必要な時間で雇用）	87	10.0	193	2.2
その他（豚肉加工、販売等）	32	3.7	271	8.5
合 計	1,230	141.7	7,031	8.1

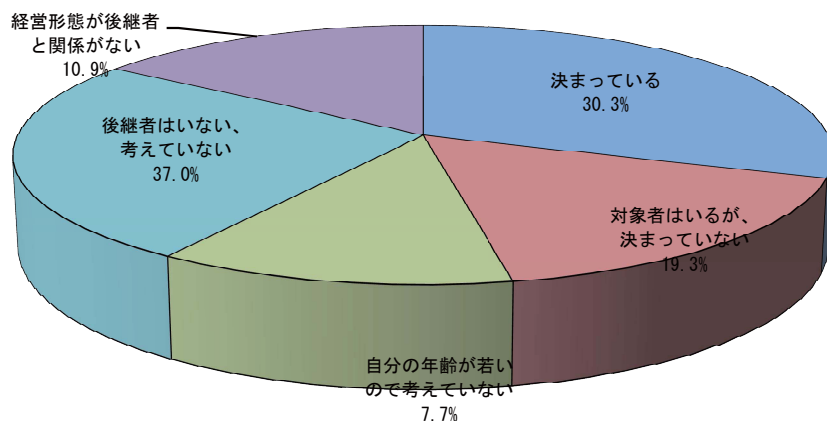
- ① 養豚従事者に回答のあったのは868農場で、常勤雇用が最も多く4,968人、次いで家族が1,599人、非常勤雇用が193人、その他271人で、全体で7,031人である。

- ② 1農場当たりの平均養豚従事者数は8.1人、常時雇用9.9人、その他8.5人、家族2.6人、非常勤雇用2.2人である。

●後継者（★回答農場数＝869）

	回答数	農場数割合	年齢回答農場数	平均年齢
決まっている	263	30.3	257	34.0
対象者はいるが、現在は決まっていない	145	16.7	134	27.5
自分の年齢が若いので考えていない	107	12.3	—	—
後継者はいない・考えていない	220	25.3	—	—
経営形態が後継者と関係がない	134	15.4	—	—
合 計	869	100.0	—	—

① 後継者に回答のあったのは869農場で、「決まっている」が30.3%で候補者の平均年齢は34.0歳、「対象者はいるが、現在は決まっていない」が16.7%で対象者の平均年齢は27.5歳で、「後継者はいない・考えていない」が25.3%である。



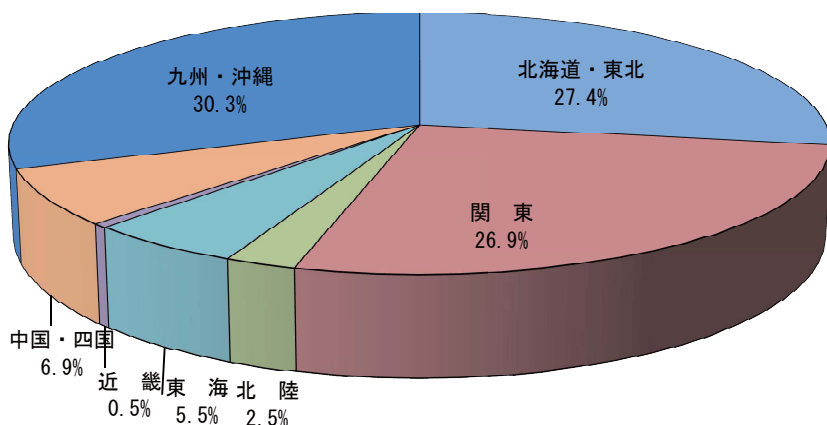
② これを、「自分の年齢が若いので考えていない」と「経営形態が後継者と関係がない」を除いて計算すると、「決まっている」が51.1%、「対象者はいるが、現在は決まっていない」が28.2%で合わせて79.2%となっている。

3. 飼養頭数

●子取り用雌豚（全体頭数、地域別、★回答農場数＝786）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	(頭)	34,290	7,906	7,148	383	2,236	59	1,641	14,917
	(%)	12.2	10.3	9.5	5.5	14.5	4.1	8.4	17.5
交雑種	(頭)	246,990	69,183	68,437	6,541	13,206	1,376	17,850	70,397
	(%)	87.8	89.7	90.5	94.5	85.5	95.9	91.6	82.5
合 計	(頭)	281,280	77,089	75,585	6,924	15,442	1,435	19,491	85,314
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域別割合	(%)	100.0	27.4	26.9	2.5	5.5	0.5	6.9	30.3

① 子取り用雌豚の全頭数は281,280頭で、そのうち純粋種は34,290頭（12.2%）、純粋種の割合が高いのは九州・沖縄17.5%で、これは次の品種割合で示すとおりパークシャーの割合が高いことによる。



② 地域別では、子取り用雌豚が多いのは九州・沖縄85,314頭、北海道・東北77,089頭、関東75,585頭の順で、この地域で全体の84.6%を占めている。

●子取り用雌豚（品種別割合、★回答農場数＝787）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
純 粹 種	ランドレース（L）	40.9	49.3	54.4	44.9	19.5	18.6	41.1	33.1
	大ヨークシャー（W）	22.1	24.5	33.1	37.6	16.1	54.2	21.9	15.9
	中ヨークシャー（Y）	0.2	0.1	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	パークシャー（B）	22.8	10.0	2.9	1.0	0.0	6.8	13.0	44.3
	デュロック（D）	5.7	7.9	5.7	10.7	10.7	20.3	2.9	3.9
	ハンプシャー（H）	3.3	1.5	2.8	0.0	35.8	0.0	0.2	0.0
	その他	5.0	6.7	0.2	5.2	17.9	0.0	20.9	2.8
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交 雑 種	LW	30.2	20.7	40.9	38.8	20.9	22.6	45.9	26.4
	WL	12.4	5.0	8.7	19.0	34.8	12.0	4.3	20.4
	LW、WLいずれか	19.0	19.5	31.2	3.8	10.6	15.5	21.6	9.1
	その他の組合せ	8.4	5.4	2.7	2.9	7.3	0.1	2.8	19.1
	海外ハイブリッド*	30.0	49.5	16.4	35.5	26.3	49.8	25.4	24.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 子取り用雌豚のうち、純粋種の品種別はランドレースが40.9%で最も割合が高く、次いでパークシャーが22.8%、大ヨークシャーが22.1%である。

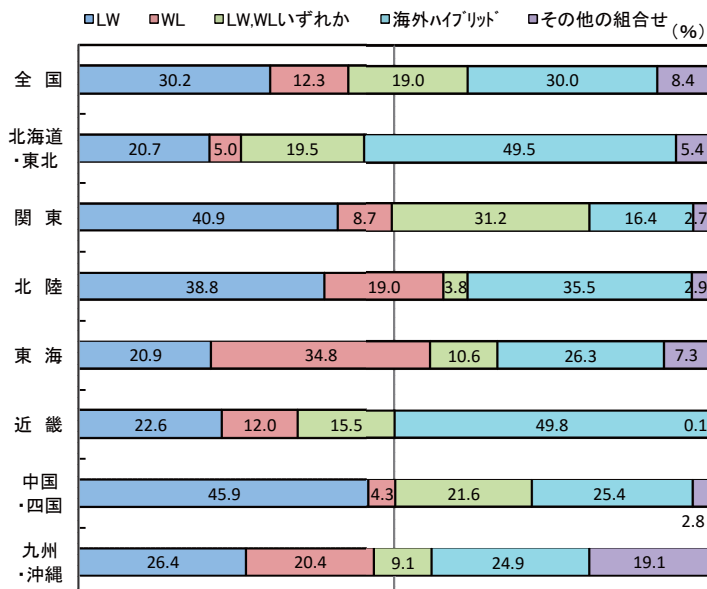
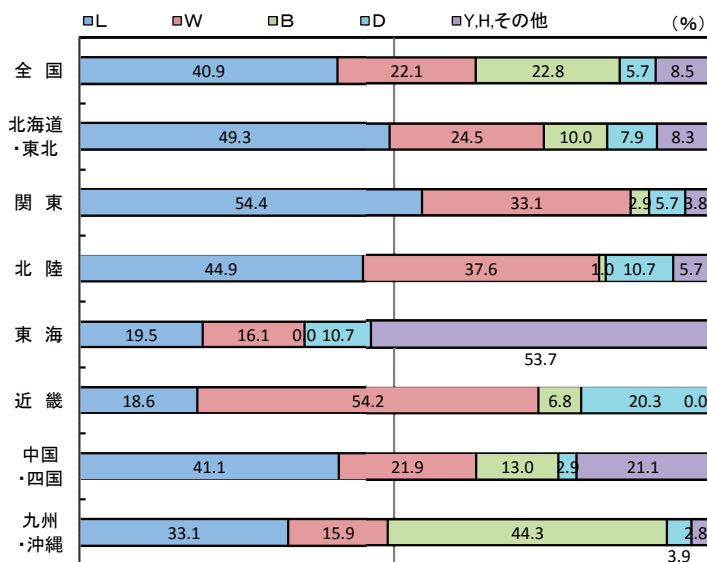
② 地域別では、北海道・東北、関東、北陸、中国・四国ではランドレースの割合が最も高く、次いで大ヨークシャーの順となっている。

九州・沖縄でパークシャーが最も割合が高く、次いでランドレースの割合が高くなっている。

東海はハンプシャー、近畿は大ヨークシャーの割合が最も高くなっている。

③ 子取り用雌豚のうち、交雑種はLW30.2%、WL12.4%、LW、WLいずれか19.0%で、LWとWLの合計は61.6%、海外ハイブリッド30.0%である。

④ 地域別では、海外ハイブリッドの割合が高いのは北海道・東北が49.5%、近畿が49.8%、北陸35.5%と高い。



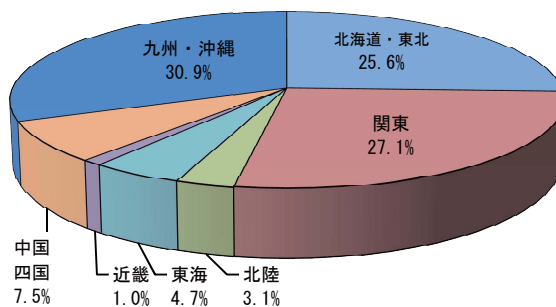
●子取り用雌豚（純粋種品種別、地域別割合、★回答農場数=787）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	ランドレース（L）	100.0	27.8	27.8	1.2	3.1	0.1	4.8	35.2
	大ヨークシャー（W）	100.0	25.5	31.2	1.9	4.8	0.4	4.8	31.4
	中ヨークシャー（Y）	100.0	5.7	88.6	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9
	パークシャー（B）	100.0	10.1	2.7	0.1	0.0	0.1	2.7	84.3
	デュロック（D）	100.0	31.9	21.0	2.1	12.2	0.6	2.4	29.8
	ハンブシャー（H）	100.0	10.7	17.8	0.0	70.9	0.0	0.3	0.3
	その他	100.0	30.9	0.6	1.2	23.2	0.0	19.9	24.3
	計	100.0	23.1	20.8	1.1	6.5	0.2	4.8	43.5

●種雄豚（全体頭数、地域別、★回答農場数=748）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	(頭)	9,011	2,014	2,641	320	461	52	715	2,808
	(%)	80.8	70.7	87.3	93.6	87.1	44.8	85.1	81.5
交雑種	(頭)	2,136	835	384	22	68	64	125	638
	(%)	19.2	29.3	12.7	6.4	12.9	55.2	14.9	18.5
合計	(頭)	11,147	2,849	3,025	342	529	116	840	3,446
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域別割合	(%)	100.0	25.6	27.1	3.1	4.7	1.0	7.5	30.9

- ① 種雄豚の全体頭数は11,147頭で、そのうち純粋種は9,011頭（80.8%）である。
- ② 地域別では、種雄豚が多いのは九州・沖縄3,446頭、関東3,025頭、北海道・東北2,849頭の順で、この地域で全体の83.6%を占めている。
- ③ 純粋種の割合の高い地域は、北陸93.6%、関東87.3%、東海87.1%である。



●種雄豚（品種別割合、★回答農場数=748）

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	ランドレース（L）	5.1	5.5	4.6	6.4	2.8	3.4	2.5	6.0
	大ヨークシャー（W）	5.8	6.1	6.5	4.4	2.1	6.0	7.1	5.3
	中ヨークシャー（Y）	0.3	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パークシャー（B）	7.7	5.9	2.9	3.2	0.0	0.0	4.2	16.0
	デュロック（D）	59.5	50.5	71.1	79.5	78.4	35.3	68.0	50.7
	ハンブシャー（H）	0.3	0.0	0.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.1
	その他	2.2	2.6	0.6	0.0	0.0	0.0	3.3	3.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交雑種	HD	0.2	0.2	0.2	0.0	1.5	6.9	0.0	0.0
	DH	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
	BD	0.9	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	DB	0.2	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	その他の組合せ	3.5	1.6	1.8	6.1	0.0	43.1	5.5	5.0
	海外ハイブリッド	14.3	27.3	6.9	0.3	11.3	3.4	9.2	13.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- ① 種雄豚の品種・品種組み合わせ別割合は、デュロックが59.5%と最も高く、次いで海外ハイブリッド14.3%、パークシャー7.7%である。
- ② 地域別では、近畿を除いていずれの地域でもデュロックの割合が最も高いが、近畿ではその他の組み合わせが43.1%と最も高い割合であり、次いで北海道・東北では海外ハイブリッドが27.3%、九州・沖縄ではパークシャーが16.0%と高い割合である。

4. 肉豚の出荷状況

●出荷頭数等（★回答農場数=846）

	回答数	頭数合計	1農場当たり平均
年間肉豚出荷頭数	803	5,996,578	7,467.7
繁殖豚（雄、雌）年間廃用頭数	675	109,934	162.9
年間肉用子豚出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	174	1,223,703	7,032.8
種豚候補豚（純粋・F1）出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	135	77,647	525.2

① 肉豚を出荷している農場は803農場で、年間（平成26年1～12月）の総出荷頭数は5,996,578頭で、1農場当たり平均7,467.7頭である。

② 子豚を出荷している農場は174農場で、年間（平成26年1～12月）の総出荷頭数は1,223,703頭で、1農場当たり平均7,032.8頭である。

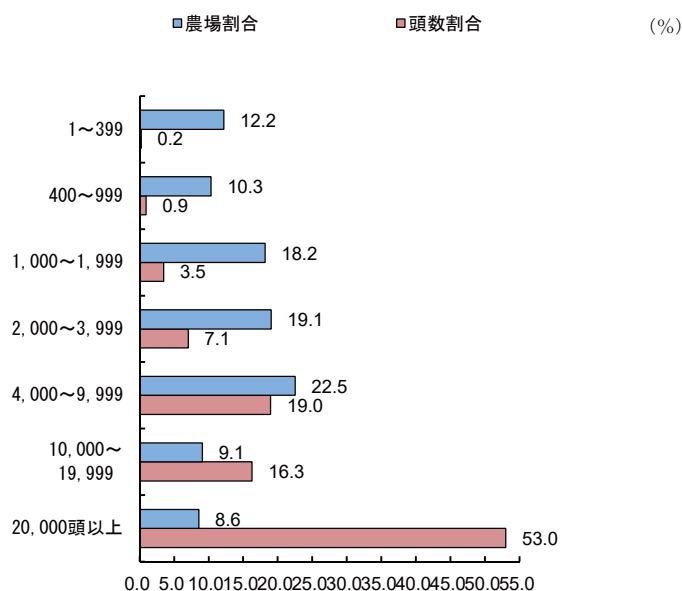
③ 種豚候補豚を出荷している農場は135農場で、年間（平成26年1～12月）の総出荷頭数は77,647頭で、1農場当たり平均525.2頭であり、繁殖豚年間廃用頭数109,934頭に比べて少ない。

●年間肉豚出荷頭数（平成26年1～12月の総頭数）規模別（★回答農場数=803）

	回答数	回答数割合	頭数	頭数割合
1～399頭	98	12.2	14,990	0.2
400～999頭	83	10.3	56,705	0.9
1,000～1,999頭	146	18.2	207,974	3.5
2,000～3,999頭	153	19.1	422,836	7.1
4,000～9,999頭	181	22.5	1,138,042	19.0
10,000～19,999頭	73	9.1	977,338	16.3
20,000頭以上	69	8.6	3,178,693	53.0
合計	803	100.0	5,996,578	100.0

① 年間肉豚出荷頭数（平成26年1～12月の総頭数）を規模別階層で見ると、4,000～9,999頭の農場割合が22.5%と最も高く、次いで2,000～3,999頭が19.1%、1,000～1,999頭が18.2%となっており、割合が低いのは20,000頭以上が8.6%、10,000～19,999頭が9.1%となっている。

② 一方、頭数割合では、20,000頭以上が53.0%、4,000～9,999頭が19.0%、10,000～19,999頭が16.3%で、この3階層の農場（40.2%）で出荷頭数の88.3%を占めている。



●年間肉豚出荷頭数規模別農場数割合（地域別、★回答農場数=803）

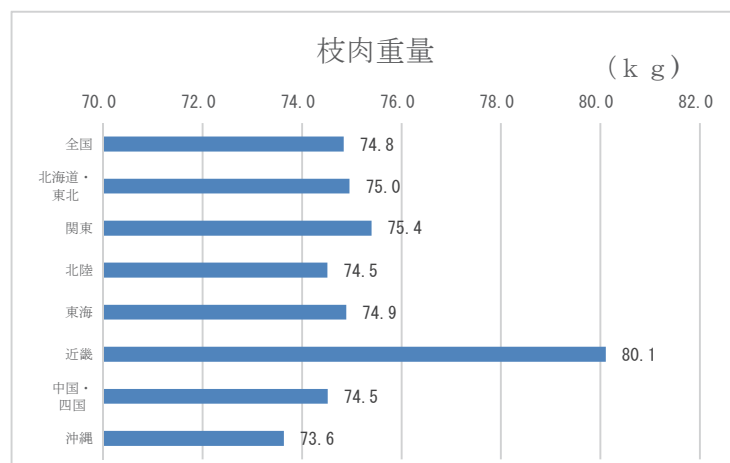
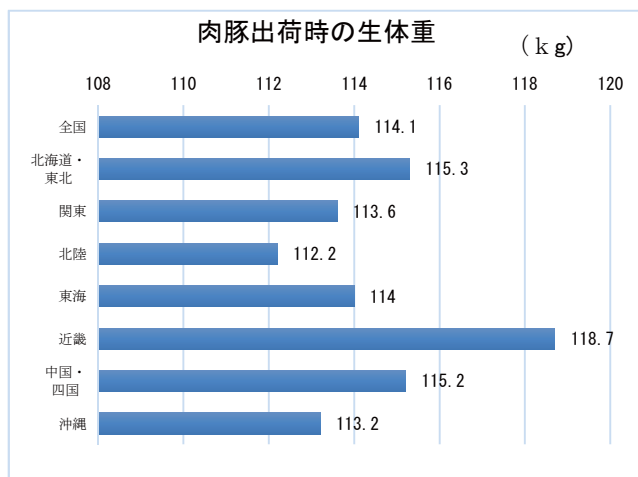
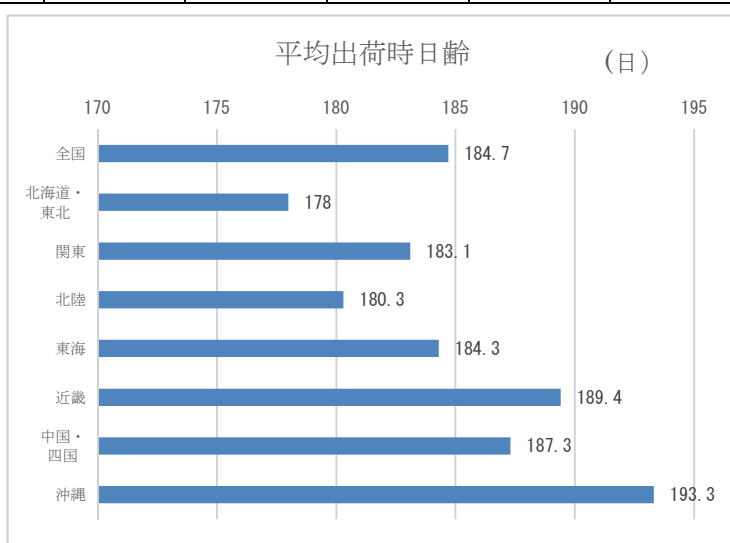
	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
1 ～ 399 頭	12.2	12.1	11.8	12.2	4.8	31.3	11.6	13.9
400 ～ 999 頭	10.3	8.8	10.6	7.3	8.1	18.8	11.6	11.8
1,000 ～ 1,999 頭	18.2	15.9	17.5	22.0	22.6	12.5	20.3	18.7
2,000 ～ 3,999 頭	19.1	14.3	22.0	26.8	29.0	25.0	13.0	16.6
4,000 ～ 9,999 頭	22.5	23.1	23.2	26.8	16.1	6.3	27.5	21.9
10,000 ～ 19,999 頭	9.1	12.6	7.3	2.4	16.1	6.3	7.2	8.0
20,000 頭以上	8.6	13.2	7.7	2.4	3.2	0.0	8.7	9.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 肉豚出荷頭数の規模別農場数割合を地域別で見ると、北海道・東北が大規模(10,000頭以上)の割合が高く、近畿、で小規模(2,000頭未満)の割合が高い。
- ② 北陸、東海は、中規模(2000～9,999頭)の割合が高い。

●肉豚の出荷状況（地域別、★回答農場数=679）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
肉豚出荷時日齢(日)	184.7	178.0	183.1	180.3	184.3	189.4	187.3	193.3
肉豚出荷時の生体重(kg)	114.1	115.3	113.6	112.2	114.0	118.7	115.2	113.2
枝肉重量(kg)	74.8	75.0	75.4	74.5	74.9	80.1	74.5	73.6

- ① 肉豚の平均出荷時日齢は184.7日齢、出荷時の生体重は114.1kg、平均枝肉重量は74.8kgである。
- ② 地域別で見ると、出荷日齢では九州・沖縄の193.3日が最も長い。出荷時の生体重が大きいのは北海道・東北115.3kgで、枝肉重量の大きいのは近畿の80.1kgである。



5. 繁殖・肉豚出荷等の成績

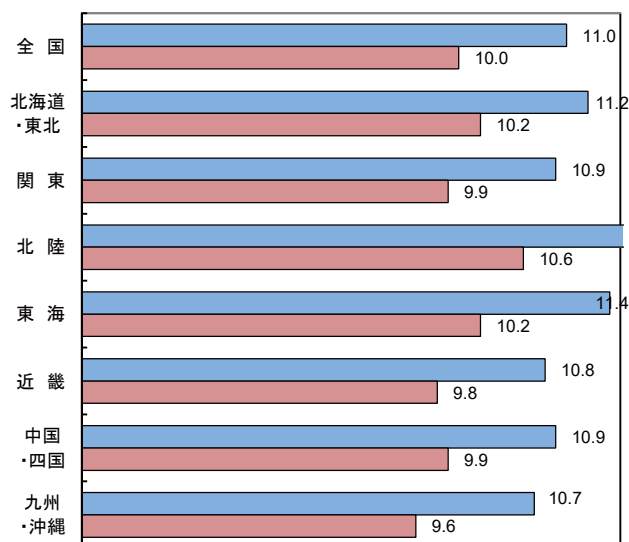
●繁殖成績（地域別、★回答農場数=738）

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1腹当たり平均哺乳開始頭数（頭）	11.0	11.2	10.9	11.7	11.4	10.8	10.9	10.7
1腹当たり平均離乳頭数（頭）	10.0	10.2	9.9	10.6	10.2	9.8	9.9	9.6
平均育成率（%）	89.9	90.4	89.7	88.8	90.2	88.7	90.3	89.6
平均受胎率（%）	88.2	88.0	88.3	86.9	87.3	83.5	89.6	88.1
平均分娩率（%）	86.0	87.2	85.8	84.4	84.6	83.5	87.1	85.4
母豚の分娩回転数（回/年）	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.2

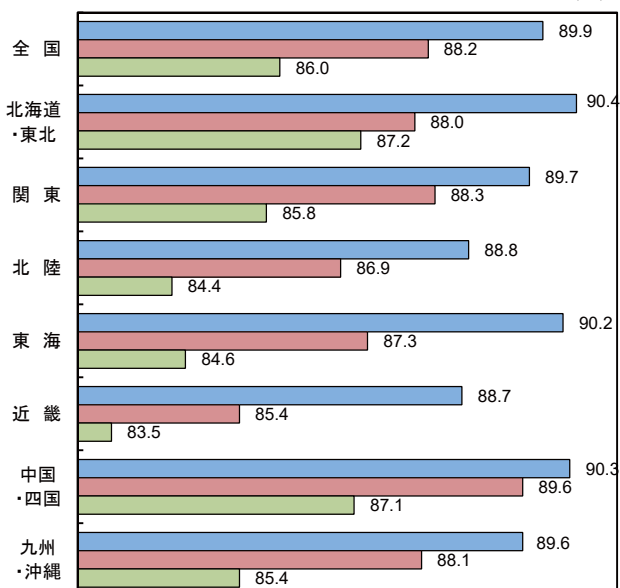
① 1腹当たりの平均哺乳開始頭数は11.0頭、平均離乳頭数は10.0頭、平均育成率は89.9%である。また、平均受胎率は88.2%、平均分娩率は86.0%、平均分娩回転数は2.2回である。

② 地域別では、北海道・東北、東海、中国・四国で全国平均を上回る項目が多く、近畿、九州・沖縄で全国平均を下回る項目が多い。

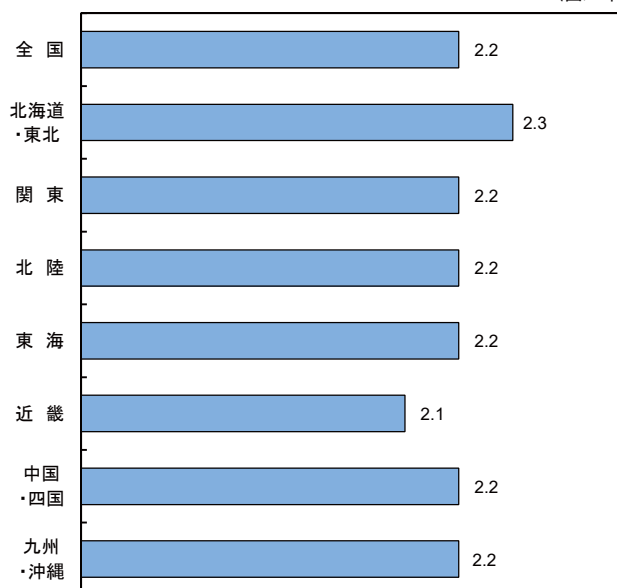
■1腹当たり平均哺乳開始頭数 ■1腹当たり平均離乳頭数（頭）



■平均育成率 ■平均受胎率 ■平均分娩率（%）



■母豚の分娩回転数（回/年）



●年間肉豚出荷頭数の格付方法（地域別、複数回答、割合、★回答農場数＝691）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
格付している	95.7	96.5	92.4	100.0	100.0	100.0	98.4	95.0
日格協の格付	84.1	91.2	70.6	91.7	96.6	100.0	98.4	80.7
自主格付	21.5	11.2	38.4	11.1	13.8	0.0	12.7	20.2
小計	105.6	102.4	109.0	102.8	110.3	100.0	111.1	101.4
格付していない	11.7	8.8	17.1	2.8	1.7	7.7	4.8	17.1
合 計	107.4	105.3	109.5	102.8	101.7	107.7	103.2	112.1

- ① 肉豚の格付方法については、単一の格付方法を用いている農場と複数の格付方法を用いている農場があり、その組み合わせは次表のとおりであるが、格付方法を延べ農場数で見ると、「格付している」肉豚を有する農場は95.7%で、そのうち「日格協の格付」は84.1%、「自主格付」は21.5%である。「格付けしていない」肉豚を有する農場は11.7%である。
- ② 地域別に見ると、「格付している」肉豚を有する農場の割合が最も高いのは北陸、東海、近畿100.0%、最も低いのは関東92.4%である。

●年間肉豚出荷頭数の格付割合（格付方法の組み合わせ別、★回答農場数＝691）

	回答		格付割合（平均値）		
	農場数	%	日格協の格付	自主格付	格付していない
全て日格協の格付	473	68.5	100.0	—	—
全て自主格付	74	10.7	—	100.0	—
全て格付していない	30	4.3	—	—	100.0
日格協の格付 + 自主格付	63	9.1	52.9	47.1	—
日格協の格付 + 格付していない	39	5.6	68.4	—	31.6
自主格付 + 格付していない	9	1.3	—	75.8	24.2
日格協の格付 + 自主格付 + 格付していない	3	0.4	46.1	24.5	29.4
合 計	691	100.0	92.5	74.7	55.3

- ① 格付方法の組み合わせ別に実農場数で見ると、格付割合にかかわらず、「日格協の格付」と「自主格付」の両方又はどちらか一方の方法で格付している農場は95.7%である。一方、「全て格付していない」農場は4.3%である。
- ② 「全て日格協の格付」とする農場の割合は68.5%で、「全て自主格付」する農場は10.7%であり、これを合わせると79.2%が単一の方法で格付している。
「日格協の格付」と「自主格付」を併用して全て格付している農場は9.1%である。
格付しているものと格付していないものが混在している農場の割合は7.4%である。
- ③ 格付割合にかかわらず、「日格協の格付」が行われている農場は83.6%である。

●肉豚出荷成績（地域別、★回答農場数＝663）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
「上」物率（%）	54.3	50.9	53.0	49.1	55.3	33.8	57.3	61.7

全国の「上」物率は54.3%で、地域別では、九州・沖縄61.7%、中国・四国57.3%が高く、近畿33.8%が低い。

●農場飼料要求率（地域別、★回答農場数＝408）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
農場飼料要求率（倍）	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.4	3.4	3.4

農場飼料要求率は3.3倍で、北海道・東北、関東、北陸が低い。

6. 事故率

●事故率（地域別、★回答農場数＝655）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
ア. 子豚舎・子豚豚房 (離乳後から肥育組入れまで)	4.8	3.6	5.0	5.4	4.6	5.0	5.1	5.8
イ. 肥育舎・肥育豚房 (肥育組入れから出荷まで)	3.8	3.2	3.9	4.5	3.4	3.4	3.9	4.0
ア・イ期間通算 (離乳後から出荷まで)	7.6	6.2	8.1	8.2	7.2	6.7	7.7	8.5

① 期間通算の算出方法

期間通算の事故率は各農場の記入数値を次の式で算出した結果の平均値で、アとイの事故率を足したものではない。

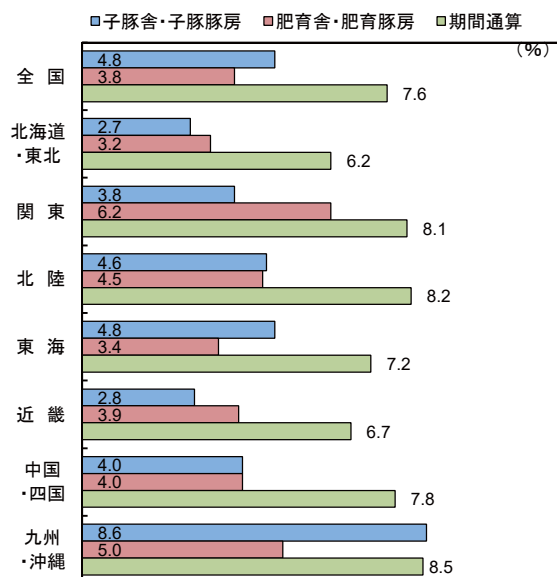
$$\text{期間通算事故率} = 100 - ((100 - \text{ア子豚事故率}) \times (100 - \text{イ肥育事故率}) \div 100)$$

② 回答農場数

ア. 子豚舎・子豚豚房 607農場
イ. 肥育舎・肥育豚房 588農場
ア・イ期間通算 655農場

③ 「ア・イ期間通算」の事故率の平均は7.6%，

「ア.子豚舎・子豚豚房」は4.8% 「イ.肥育舎・肥育豚房」は3.8%となっている。



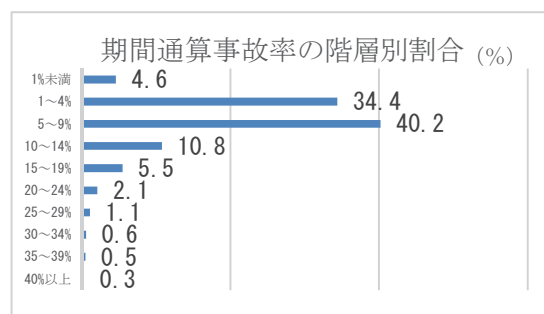
④ 地域別では、「期間通算」で九州・沖縄が8.5%、北陸8.2%、関東が8.1%、中国・四国が7.7%と全国より高く、北海道・東北が6.2%と最も低い。「子豚舎・子豚豚房」では、九州・沖縄が5.8%と最も高く、北海道・東北が3.6%と最も低い。「肥育舎・肥育豚房」では北陸4.5%と九州・沖縄4.0%、北陸4.5%、中国・四国、関東が3.9%と高く、その他の地域では全国を下回っている。

●事故率の回答割合（「期間通算」事故率、階級別、★回答農場数＝655）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
～ 1%未満	4.6	5.0	3.7	2.7	0.0	7.7	13.6	2.8
1～ 4%	34.4	44.4	25.1	43.2	42.6	53.8	25.8	32.4
5～ 9%	40.2	37.5	48.7	32.4	42.6	7.7	42.4	35.2
10～14%	10.8	9.4	11.8	8.1	0.0	23.1	10.6	14.5
15～19%	5.5	1.9	7.0	8.1	8.5	0.0	3.0	7.6
20～24%	2.1	0.0	1.1	2.7	4.3	7.7	1.5	4.8
25～29%	1.1	0.6	1.6	0.0	2.1	0.0	0.0	1.4
30～34%	0.6	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7
35～39%	0.5	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
40%以上	0.3	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	1.5	0.0
(20%以上小計)	4.6	1.9	3.7	5.4	6.4	7.7	4.5	7.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 5%刻みの階層別では、全国で「5～9%」40.2%、「1～4%」34.4%、「10～14%」10.8%に集中しており85.3%を占めている。また、地域別でも同様の傾向である。

② 「期間通算」の事故率の高い地域を事故率（20%以上）で見ると、近畿が7.7%（1農場）、九州・沖縄が7.6%（11農場）と高く、一方、最も低いのは北海道・東北で1.9%（4農場）である。



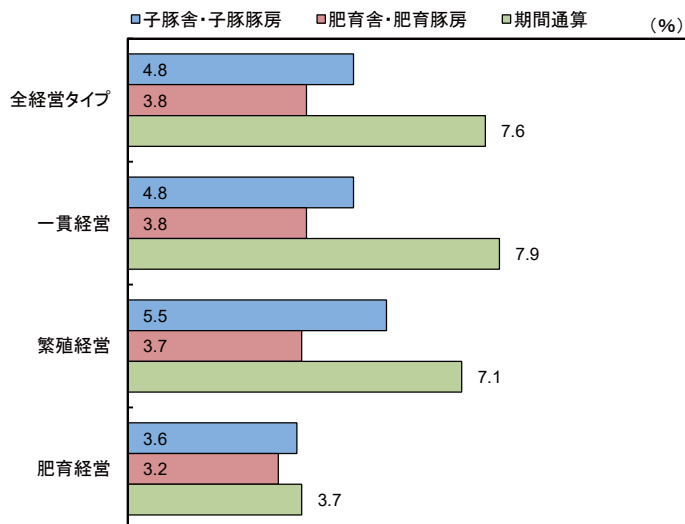
●事故率の平均（経営タイプ別、★回答農場数=655）

	全経営タイプ	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
ア. 子豚舎・子豚豚房	4.8	4.8	5.5	3.6
イ. 肥育舎・肥育豚房	3.8	3.8	3.7	3.2
ア・イ期間通算	7.6	7.9	7.1	3.7

① 回答農場数

- ア. 子豚舎・子豚豚房 607 農場
- イ. 肥育舎・肥育豚房 588 農場
- ア・イ期間通算 655 農場

② 繁殖経営の「肥育舎・肥育豚房」の事故率、肥育経営の「子豚舎・子豚豚房」の事故率については、繁殖経営であっても出荷までに肥育舎・肥育豚房で飼育する期間や肥育経営であっても子豚導入により一時子豚舎・子豚豚房で飼育する期間もあり、この期間の事故率が記入されたものとして集計した。



③ 「子豚舎・子豚豚房」の経営タイプ別事故率では、一貫経営が4.8%、繁殖経営が5.5%と繁殖経営が高かった。一方、「肥育舎・肥育豚房」は、一貫経営3.8%、繁殖経営3.7%と一貫経営が高かった。

●事故率（子取り用雌豚飼養頭数規模別、★回答農場数=595）

	全規模	1~19頭	20~49頭	50~99頭	100~199頭	200~499頭	500~999頭	1,000頭以上
ア. 子豚舎・子豚豚房	4.8	7.4	5.0	5.9	4.8	4.5	3.8	3.7
イ. 肥育舎・肥育豚房	3.8	4.9	3.1	3.5	3.2	4.3	3.5	4.2
ア・イ期間通算	7.9	10.0	7.6	8.5	7.4	8.0	6.8	7.5

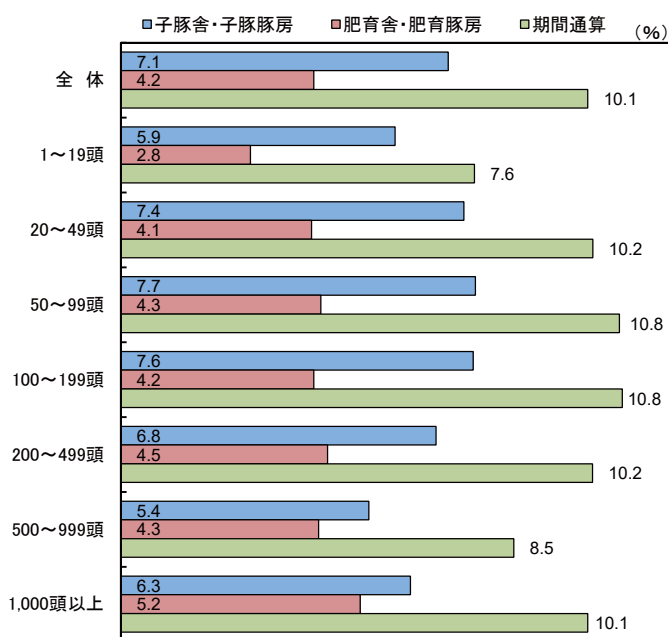
① 回答農場数

- ア. 子豚舎・子豚豚房 584 農場
- イ. 肥育舎・肥育豚房 528 農場
- ア・イ期間通算 595 農場

② 子取り用雌豚の規模別の「ア・イ期間通算」では、「1~19頭」10.0%、「50~99頭」が8.5%と高い。

③ 「子豚舎・子豚豚房」を見ると、「1~19頭」が7.4%と最も高く、次いで「50~99頭」が5.9%、「20~49頭」5.0%となっており、この3階層が全規模を上回っている。

④ 「肥育舎・肥育豚房」でも「1~19頭」が4.9%と最も高く、次いで「200~499頭」が4.3%、「1000頭以上」4.2%となっている。



●事故率（農場責任者年齢別、★回答農場数＝609）

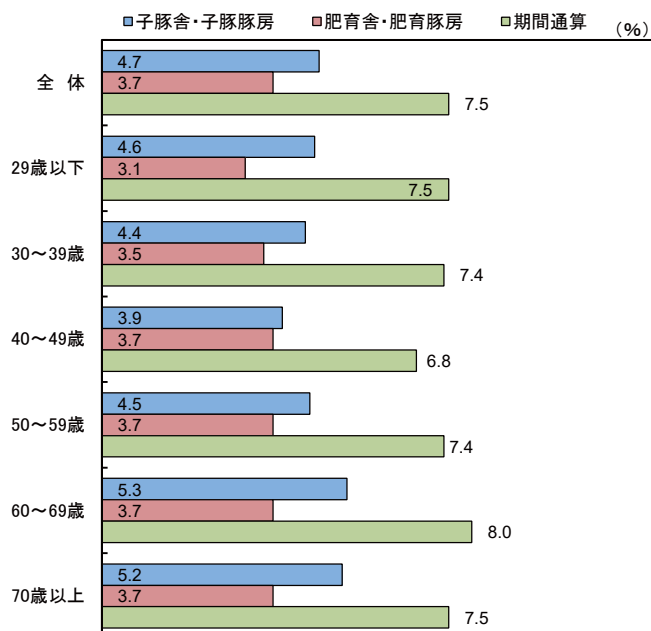
	全 体	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
ア. 子豚舎・子豚豚房	4.7	4.6	4.4	3.9	4.5	5.3	5.2
イ. 肥育舎・肥育豚房	3.7	3.1	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7
ア・イ期間通算	7.5	7.5	7.4	6.8	7.4	8.0	7.5

① 回答農場数

- ア. 子豚舎・子豚豚房 570農場
- イ. 肥育舎・肥育豚房 546農場
- ア・イ期間通算 609農場

② 農場責任者の階層別の事故率「ア・イ期間通算」を見ると、60歳代が8.0%と高く、40歳代が6.8%と低い、

これを子豚期（子豚舎・子豚豚房）と肥育期（肥育舎・肥育豚房）で分けて見ると、子豚期では60歳代が5.3%と高く、40歳代が3.9%と低い。肥育期では40歳以上が3.7%と高く、20歳代が3.1%と低い。



7. 交配方法

●発情期の基本交配方法（地域別、割合、★回答農場数＝799）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
1回	3.5	3.2	4.9	2.5	3.3	0.0	0.0	3.9
2～3回	93.9	94.2	92.3	97.5	95.1	92.3	97.2	93.3
4回以上	0.9	0.5	0.4	0.0	0.0	7.7	1.4	1.7
不明	1.8	2.1	2.4	0.0	1.6	0.0	1.4	1.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

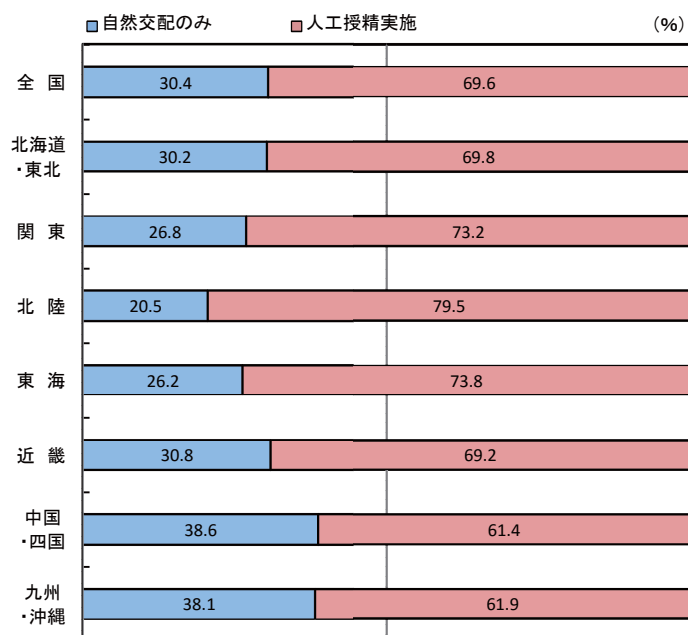
① 発情期の基本交配回数は2～3回が93.9%と最も高く、次いで1回の3.5%である。

② 地域別でも、同様の傾向にある。

●人工授精の実施状況（地域別、割合、★回答農場数＝792）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄	
自然交配のみ	30.4	30.2	26.8	20.5	26.2	30.8	38.6	38.1	
人工授精	自然交配を主とし、人工授精を従としている	30.2	30.1	35.0	48.7	27.9	38.5	28.6	21.0
	人工授精を主とし、自然交配を従としている	17.7	18.0	16.3	12.8	29.5	15.4	12.9	18.8
	人工授精のみ	21.7	21.6	22.0	17.9	16.4	15.4	20.0	22.0
	小 計	69.6	69.8	73.2	79.5	73.8	69.2	61.4	61.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

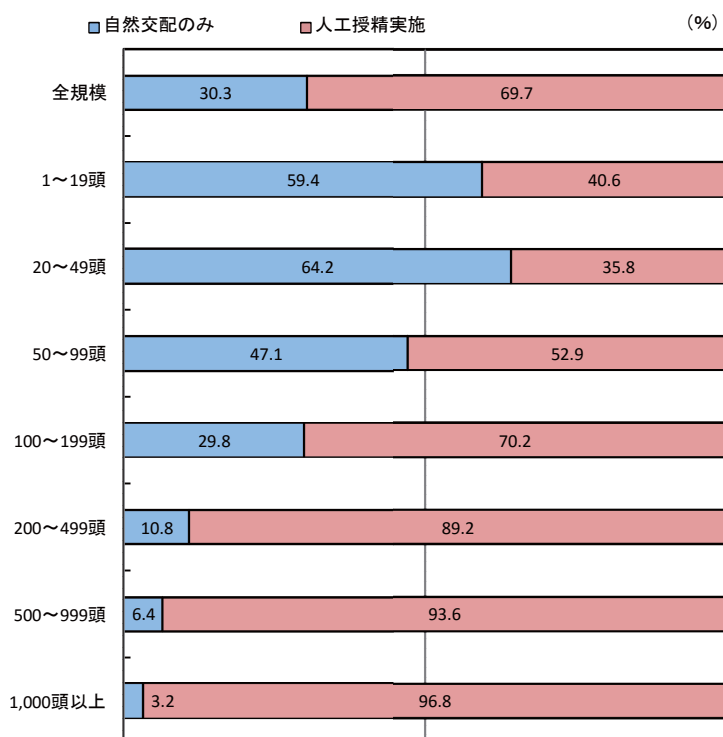
- ① 人工授精の実施農場割合は**69.6%**であり、また、「人工授精のみ」の割合**21.7%**となっている。
- ② 地域別では、北陸**79.5%**、東海**73.8%**、関東**73.2%**と全国平均を大きく上回っており、九州・沖縄**61.9%**と中国・四国**61.4%**は全国平均を大きく下回っている。



●人工授精の実施状況（子取り用雌豚飼養規模別、割合、★回答農場数=770）

		全規模	1~19頭	20~49頭	50~99頭	100~199頭	200~499頭	500~999頭	1,000頭以上
自然交配のみ		30.3	59.4	64.2	47.1	29.8	10.8	6.4	3.2
人工授精	自然交配を主とし、人工授精を従としている	30.3	20.3	27.2	35.0	41.1	36.0	20.5	3.2
	人工授精を主とし、自然交配を従としている	17.8	4.7	6.2	9.6	14.9	26.3	30.8	31.7
	人工授精のみ	21.7	15.6	2.5	8.3	14.2	26.9	42.3	61.9
小計		69.7	40.6	35.8	52.9	70.2	89.2	93.6	96.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 子取り用雌豚飼養頭数規模別の人工授精の実施農場割合は、「1~19頭」では**40.6%**、「20~49頭」では**35.8%**と低いが、50頭以上から規模が大きくなるに従って割合が増加し、「200~499頭」の階層から急に増加しており、「1,000頭以上」では**96.8%**とほとんどが人工授精を実施している。
- ② 「人工授精を主とし自然交配を従とする」と「人工授精のみ」の割合も「200~499頭」の階層から急に増加している。

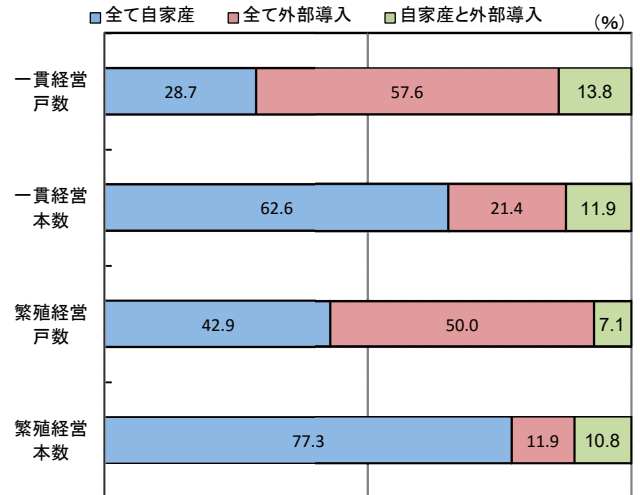


●精液の入手方法（経営タイプ別、★回答農場数=551）

	一貫経営		繁殖経営		一貫経営			繁殖経営		
	農場	%	農場	%	農場	本	%	農場	本	%
全て自家産	150	28.7	12	42.9	150	761,368	62.9	12	90,096	77.3
全て外部導入	301	57.6	14	50.0	301	258,952	21.4	14	13,884	11.9
自家産と外部導入併用	72	13.8	2	7.1	72	190,579	15.7	2	12,559	10.8
合計	523	100.0	28	100.0	523	1,210,899	100.0	28	116,489	100.0

① 精液の入手方法は、農場別で見ると「全て外部導入」が一貫経営で57.6%、繁殖経営で50.0%と最も高く、次いで「全て自家産」が一貫経営で28.7%、繁殖経営で42.9%、「自家産と外部導入の併用」が一貫経営で13.8%、繁殖経営が7.1%である。

② 精液の本数で見ると、一貫経営では「全て自家産」が62.9%と最も高く、次いで「全て外部導入」21.4%と続いており、繁殖経営でも「全て自家産」が77.3%と最も高く、次いで「全て外部導入」11.9%と続いている。

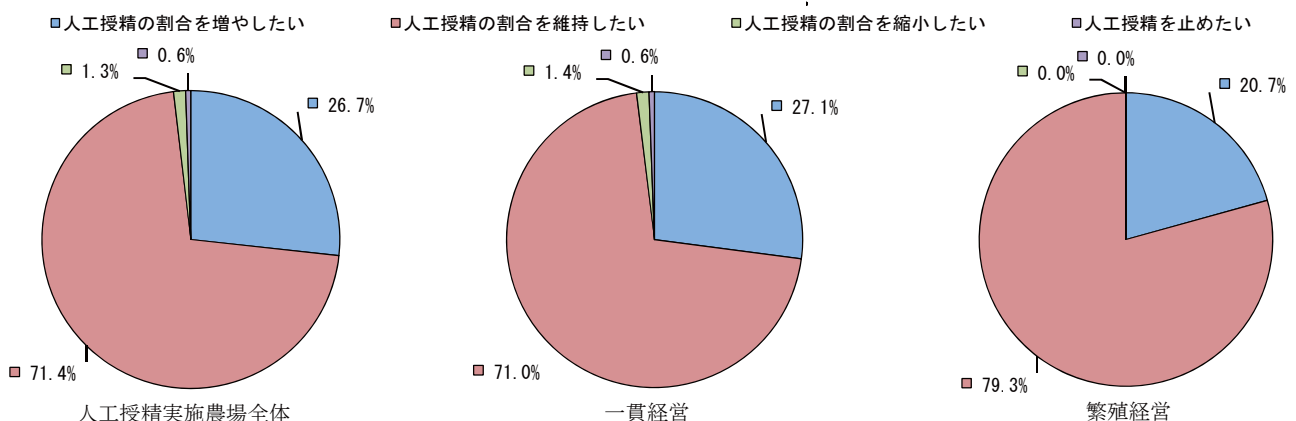


●人工授精実施農場の今後の意向（経営タイプ別、★回答農場数=539）

	人工授精実施農場全体		一貫経営		繁殖経営		肥育経営	
	農場	%	農場	%	農場	%	農場	%
人工授精の割合を増やしたい	144	26.7	138	27.1	6	20.7	0	—
人工授精の割合を維持したい	385	71.4	362	71.0	23	79.3	0	—
人工授精の割合を縮小したい	7	1.3	7	1.4	0	0	0	—
人工授精をやめたい	3	0.6	3	0.6	0	0	0	—
合計	539	100.0	510	100.0	29	100.0	0	—

① 人工授精を現在実施している農場の今後の意向は、「維持」が71.4%と最も高く、次いで「増やしたい」が26.7%で、「維持」と合わせて98.1%を占めている。一方、「縮小したい」は1.3%、「やめたい」は0.6%と低い。

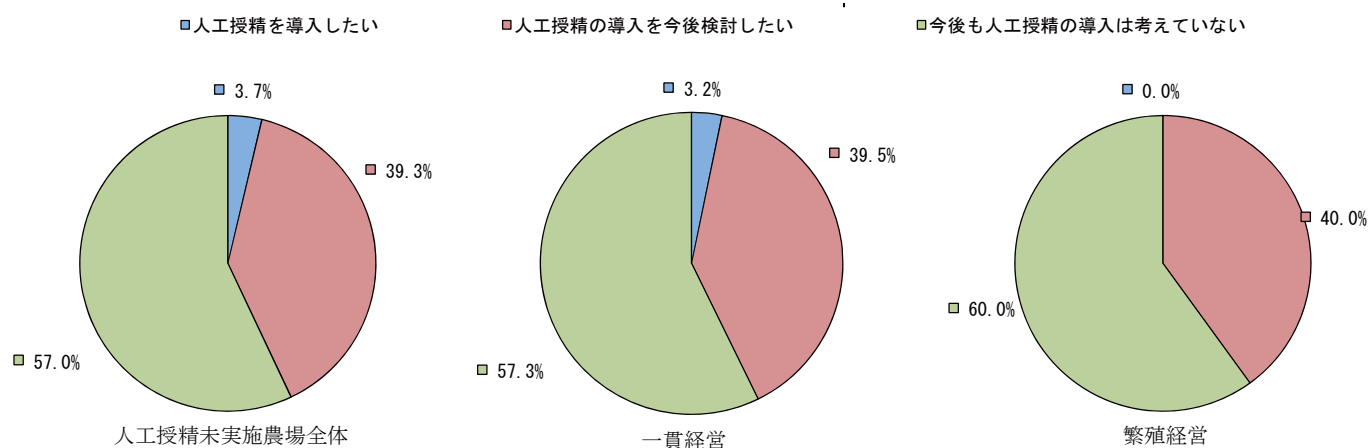
② 経営タイプ別に見ると、「増やしたい」と「維持」の割合は、「一貫経営」98.0%、「繁殖経営」100%である。



●人工授精未実施農場の今後の意向（経営タイプ別、★回答農場数=135）

	人工授精実施農場全体		一貫経営		繁殖経営		肥育経営	
	農場	%	農場	%	農場	%	農場	%
人工授精を導入したい	5	3.7	4	3.2	0	0	1	100.0
人工授精の導入を今後検討したい	53	39.3	49	39.5	4	40.0	0	—
今後も人工授精の導入は考えていない	77	57.0	71	57.3	6	60.0	0	—
合 計	135	100.0	124	100.0	10	100.0	1	100.0

- ① 人工授精を現在実施していない農場の今後の人工授精導入意向は、「導入したい」は3.7%と低く、「導入を検討したい」も39.3%で、「導入は考えない」が57.0%と最も高い。
- ② 経営タイプ別に見ると、「導入したい」と「導入を検討したい」の割合は、「一貫経営」が42.7%、「繁殖経営」が40.0%である。



8. 経営の推移と今後の意向

(1) 飼養頭数の推移

●繁殖豚飼養頭数の推移（前年同期と比較して）（地域別、★回答農場数=777）

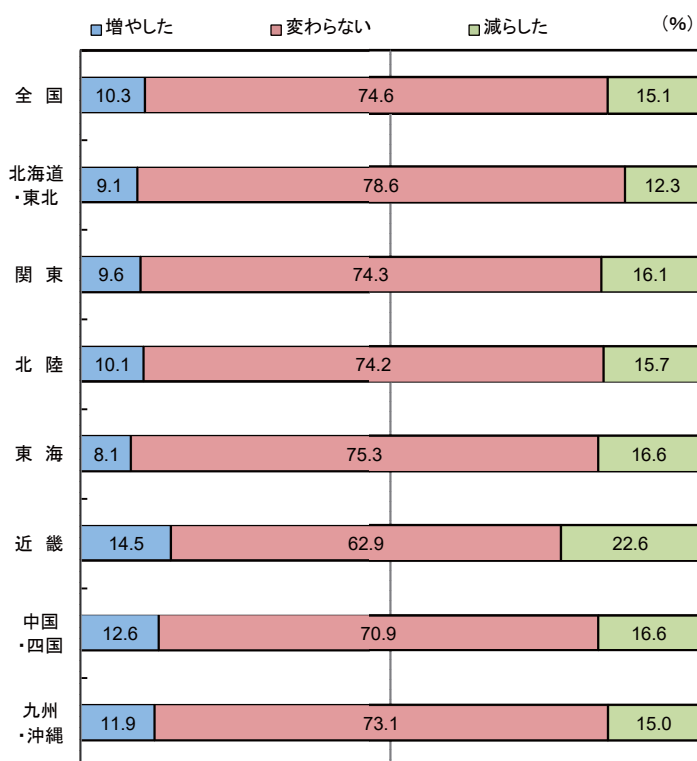
		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(場)	83	17	25	2	7	2	9	21
	(%)	10.7	9.2	10.3	5.4	11.9	14.3	12.7	12.4
変わらない	(場)	582	150	187	31	35	11	49	119
	(%)	74.9	81.5	77.0	83.8	59.3	78.6	69.0	70.4
減らした	(場)	112	17	31	4	17	1	13	29
	(%)	14.4	9.2	12.8	10.8	28.8	7.1	18.3	17.2
合 計	(場)	777	184	243	37	59	14	71	169
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(頭)	6,621	882	1,872	159	695	2	852	2,159
減らした	(頭)	4,219	376	1,541	80	490	0	287	1,445
「増やした」－「減らした」	(頭)	2,402	506	331	79	205	2	565	714

① 繁殖豚飼養頭数を前年同期と比較して、「増やした」が83農場10.7%、「変わらない」が582農場74.9%、「減らした」が112農場14.4%で、減らした割合が増やした割合を上回っている。

これを頭数で見ると、「増やした」が6,621頭、「減らした」が4,219頭で、増やした頭数の方が減らした頭数に比べて2,402頭多い。

② 地域別では、増やした頭数の方が多いのは九州・沖縄で714頭多く、中国・四国では565頭、北海道・東北では506頭多い。



●肥育豚飼養頭数の推移（前年同期と比較して）（地域別、★回答農場数=749）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(場)	87	20	24	1	9	3	9	21
	(%)	11.6	11.0	10.3	2.9	17.0	16.7	13.4	12.9
変わらない	(場)	576	146	184	31	36	14	47	118
	(%)	76.9	80.7	79.3	88.6	67.9	77.8	70.1	72.4
減らした	(場)	86	15	24	3	8	1	11	24
	(%)	11.5	8.3	10.3	8.6	15.1	5.6	16.4	14.7
合 計	(場)	749	181	232	35	53	18	67	163
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(頭)	101,639	13,997	28,157	100	8,894	70	7,107	43,314
減らした	(頭)	32,891	8,396	8,094	1,200	2,307	0	4,366	8,528
「増やした」－「減らした」	(頭)	68,748	5,601	20,063	-1,100	6,587	70	2,741	34,786

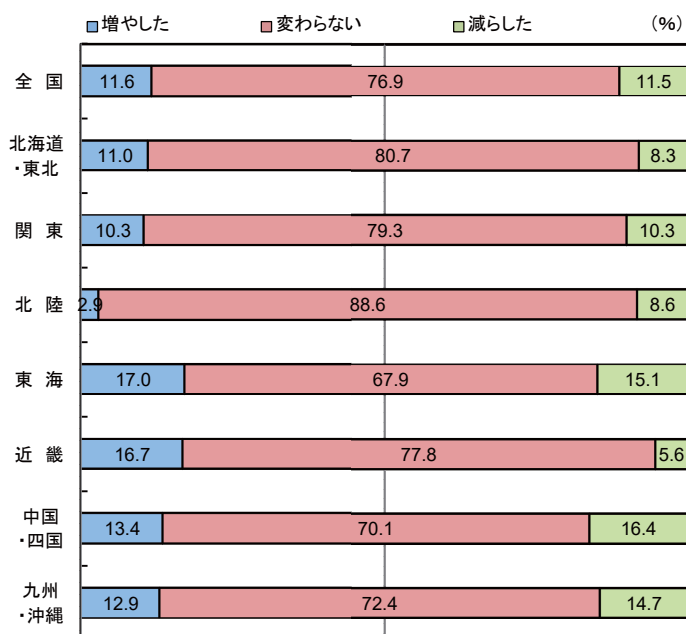
① 肥育豚飼養頭数を前年同期と比較して、「増やした」が87農場11.6%、「変わらない」が576農場76.9%、「減らした」が86農場11.5%で、「増やした」と「減らした」割合がほぼ同じである。

これを頭数で見ると、「増やした」が101,639頭、「減らした」が32,891頭で、増やした頭数の方が減らした頭数より68,748頭多い。

② 地域別では、農場数で見ると「減らした」割合に比べて「増やした」割合の方が高いのは北海道・東北、近畿、東海であり、北陸、中国・四国、九州・沖縄は「減らした割合」の方が高い。

頭数で見ると、増やした頭数の方が多いのは九州・沖縄で34,786頭多く、関東では20,063頭、東海6,587頭、北海道・東北では5,601頭となっている。

一方、増やした頭数の方が少ないのは北陸で1,100頭少ない。



●頭数を増やした理由（複数回答、割合、★回答農場数＝110）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
計画していた豚舎が完成した	29.1	26.9	35.5	0.0	33.3	0.0	0.0	44.0
後継者が経営に参加した	9.1	7.7	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0
1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るため	17.3	11.5	9.7	0.0	44.4	33.3	28.6	16.0
委託、預託農場を増やした	2.7	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	7.1	4.0
出荷元から増頭の要請があった	14.5	15.4	12.9	0.0	11.1	0.0	14.3	20.0
養豚生産者が減少し将来儲かりそう	5.5	3.8	9.7	0.0	0.0	33.3	0.0	4.0
事情により縮小していたのを元に戻した	12.7	11.5	9.7	100.0	11.1	0.0	14.3	12.0
その他	27.3	34.6	29.0	50.0	11.1	33.3	42.9	12.0
合 計	118.2	111.5	116.1	150.0	111.1	100.0	107.1	136.0

① 頭数を増やした理由で最も高い（「その他」には、理由未回答も含めているので「その他」は除外。減らした理由も同じ。）のは、「計画していた豚舎が完成したので」が29.1%で、次いで「1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るため」17.3%と続いている。

② 地域別で見ると、北陸を除く各地域は上記の2つの理由のいずれかが多い。

●頭数を減らした理由（複数回答、割合、★回答農場数＝118）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
疾病対策で豚を入れ替えるため	13.6	0.0	20.6	0.0	5.9	0.0	0.0	25.8
生産資材の高騰で儲からないから	8.5	10.5	5.9	0.0	5.9	0.0	8.3	12.9
高齢化で労働が厳しいから	23.7	15.8	26.5	0.0	23.5	0.0	33.3	25.8
労働力が確保できなくなったから	5.9	5.3	2.9	25.0	11.8	0.0	0.0	6.5
委託、預託農場となるため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
廃業するため	7.6	5.3	8.8	0.0	11.8	0.0	0.0	6.5
飼養システム、経営形態の変更	11.9	5.3	11.8	0.0	11.8	0.0	16.7	16.1
環境対策	10.2	0.0	20.6	25.0	11.8	0.0	0.0	6.5
その他	43.2	63.2	35.3	75.0	47.1	0.0	58.3	27.0
合 計	111.0	105.3	111.8	125.0	123.5	100.0	116.7	103.2

① 頭数を減らした理由で最も高いのは、「高齢化で労働が厳しくなったから」23.7%で、次いで「疾病対策で豚をいれかえるから」が13.6%となっている。

② 地域別で見ると、北陸、近畿を除くどの地域でも「高齢化で労働が厳しくなった」の理由が最も多いが、関東、九州・沖縄では「疾病対策で豚を入れ替えるため」も20%以上になっている。

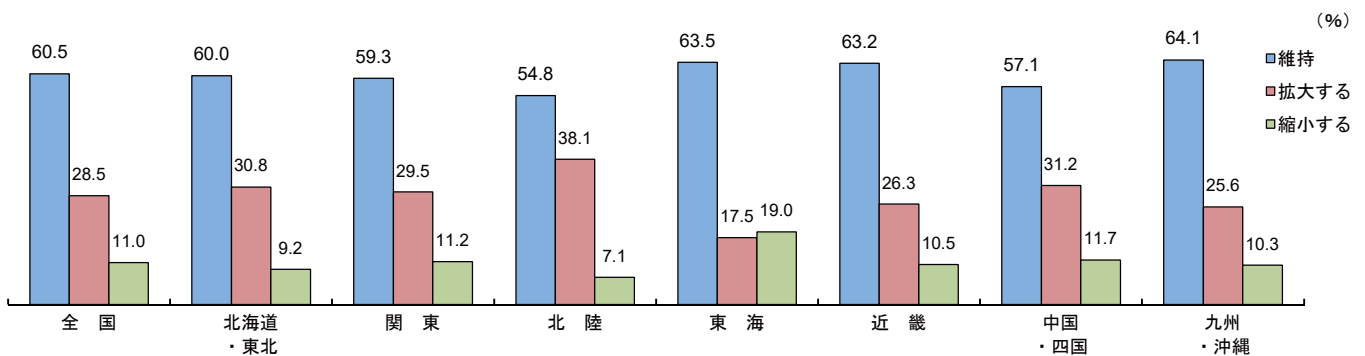
(2) 今後の意向

●経営の今後の意向（地域別、★回答農場数=849）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
経営を拡大する	(場)	242	60	76	16	11	5	24	50
	(%)	28.5	30.8	29.5	38.1	17.5	26.3	31.2	25.6
現状維持	(場)	514	117	153	23	40	12	44	125
	(%)	60.5	60.0	59.3	54.8	63.5	63.2	57.1	64.1
経営を縮小する	(場)	93	18	29	3	12	2	9	20
	(%)	11.0	9.2	11.2	7.1	19.0	10.5	11.7	10.3
合 計	(場)	849	195	258	42	63	19	77	195
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営の今後の意向は、「現状維持」が60.5%を占めている。「経営を拡大する」は28.5%、「経営を縮小する」は11.0%で、経営を拡大する意向が大きく上回っている。

② 地域別で見ると、東海を除くすべての地域において「経営を縮小する」割合に比べて「経営を拡大する」割合の方が高い。



●「経営を拡大する」内訳

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
今年中に規模拡大する計画がある	(場)	33	7	12	3	0	1	6	4
	(%)	13.6	11.7	15.8	18.8	0.0	20.0	25.0	8.0
3年以内に規模拡大する計画がある	(場)	74	20	23	4	5	1	7	14
	(%)	30.6	33.3	30.3	25.0	45.5	20.0	29.2	28.0
今後規模拡大を検討したい	(場)	135	33	41	9	6	3	11	32
	(%)	55.8	55.0	53.9	56.3	54.5	60.0	45.8	64.0
合 計	(場)	242	60	76	16	11	5	24	50
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営を拡大する意向の内訳を回答のあった242農場で見ると、「今年中に規模を拡大する計画がある」が13.6%、「3年以内に規模拡大する計画がある」が30.6%ある一方、「今後規模拡大を検討したい」が55.8%と最も高くなっている。

② 地域別では、「今年中に規模拡大する計画がある」及び「3年以内に規模拡大する計画がある」と具体的な計画がある合計割合が高い地域は、中国・四国が54.2%、関東が46.1%である。

● 「経営を縮小する」内訳

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
今年中に縮小する計画がある	(場)	6	1	2	1	0	1	0	1
	(%)	6.5	5.6	6.9	33.3	0.0	50.0	0	5.0
3年以内に縮小する計画がある	(場)	16	3	2	0	3	0	4	4
	(%)	17.2	16.7	6.9	0.0	25.0	0	44.4	20.0
今後縮小を検討したい	(場)	31	7	10	0	5	0	4	5
	(%)	33.3	38.9	34.5	0.0	41.7	0	44.4	25.0
今年中に廃業する計画がある	(場)	3	1	0	0	0	0	0	2
	(%)	3.2	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
近く廃業したいと考えている	(場)	37	6	15	2	4	1	1	8
	(%)	39.8	33.3	51.7	66.7	33.3	50.0	11.1	40.0
合 計	(場)	93	18	29	3	12	2	9	20
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営を縮小する意向の内訳を回答のあった93農場で見ると、「近く廃業したいと考えている」が39.8%と高く、「今年中に廃業する計画がある」3.2%を合わせた40農場が廃業を考えている。

② 地域別に見ると、「近く廃業したいと考えている」割合が最も高いのは北陸66.7%で、次いで関東51.7%である。

● 「廃業したい」「廃業する計画がある」理由

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
後継者がいない	(場)	17	5	6	2	0	0	1	3
	(%)	42.5	71.4	40.0	100.0	0.0	0.0	100.0	30.0
労働力が確保できない	(場)	3	0	0	0	1	0	0	2
	(%)	7.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0	20.0
環境問題	(場)	3	0	1	0	1	0	0	1
	(%)	7.5	0.0	6.7	0.0	25.0	0.0	0	10.0
負債がある	(場)	1	0	1	0	0	0	0	0
	(%)	2.5	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0	0.0
生産資材（飼料等）の高騰で儲からない	(場)	7	1	2	0	1	1	0	1
	(%)	17.5	14.3	13.3	0.0	25.0	100.0	0	10.0
その他	(場)	8	0	5	0	1	0	0	2
	(%)	20.0	0	33.3	0.0	25.0	0.0	0	20.0
合 計	(場)	40	7	15	2	4	1	1	10
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 「廃業したいと考えている」又は「廃業する計画がある」として、その理由を回答した40農場で見ると、「後継者がいない」が42.5%と最も高く、次いで「生産資材の高騰で儲からない」が17.5%と続き、この2つの理由で約6割以上を占めている。

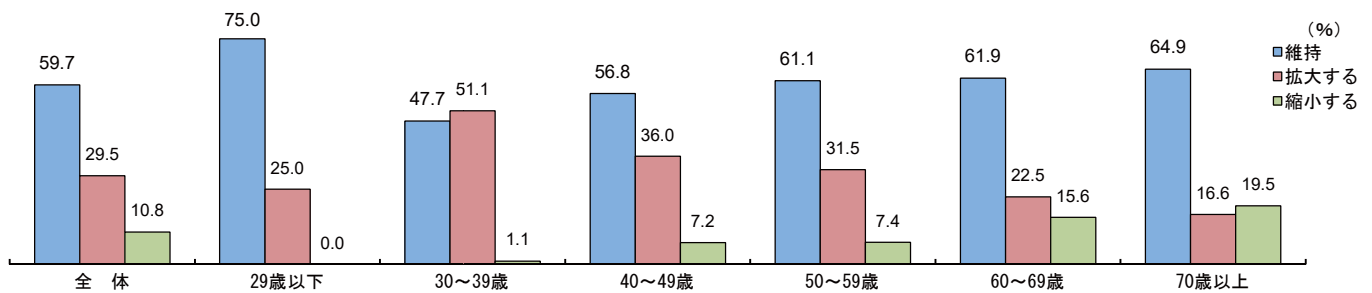
② 地域別で見ると、東海、近畿を除くいずれの地域も「後継者がいないため」の割合が最も高い。

●経営の今後の意向と農場責任者年齢階層別

		全 体	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
経営を拡大する	(場)	232	1	45	45	64	65	12
	(%)	29.5	25.0	51.1	36.0	31.5	22.5	15.6
現状維持	(場)	469	3	42	71	124	179	50
	(%)	59.7	75.0	47.7	56.8	61.1	61.9	64.9
経営を縮小する	(場)	85	0	1	9	15	45	15
	(%)	10.8	0.0	1.1	7.2	7.4	15.6	19.5
合 計	(場)	786	4	88	125	203	289	77
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 「現状維持」の割合が高いのは「29歳以下」75.0%の階層である。

② 「経営を拡大する」の割合が最も高いのは「30～39歳」51.1%であり、その割合は年齢が上がるほど減少し、「70歳以上」15.6%である。一方、「経営を縮小する」の割合が最も高いのは「70歳以上」19.5%であり、年齢が低くなるほど低くなる傾向にある。

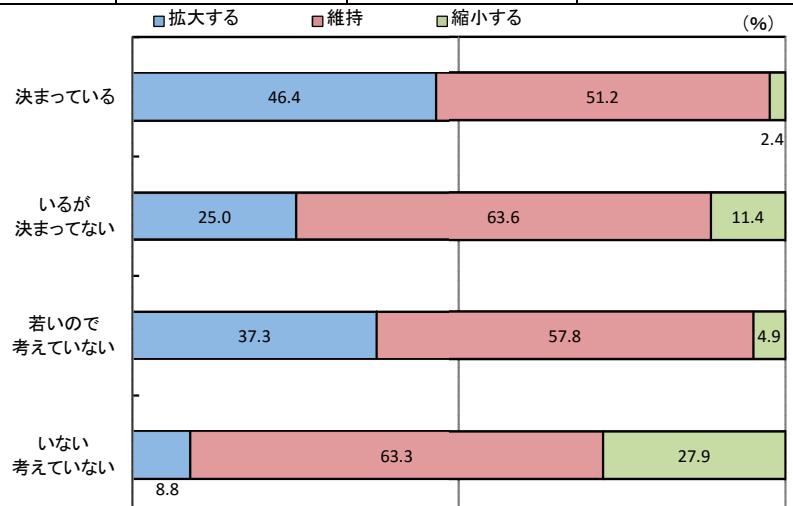


●経営の今後の意向と後継者の有無 (★回答農場数=707)

		全 体	後継者は決まっている	対象者はいるが、現在は決まっていない	自分の年齢が若いので考えていない	後継者はいないと考えていない
経営を拡大する	(場)	208	116	35	38	19
	(%)	29.4	46.4	25.0	37.3	8.8
現状維持	(場)	412	128	89	59	136
	(%)	58.3	51.2	63.6	57.8	63.3
経営を縮小する	(場)	87	6	16	5	60
	(%)	12.3	2.4	11.4	4.9	27.9
合 計	(場)	707	250	140	102	215
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 後継者と関係がある農場について、経営の今後の意向と後継者の有無の関係をみると、「経営を拡大する」意向が強い農場では、「後継者は決まっている」とする割合が46.4%、「自分の年齢が若いので考えていない」とする割合が37.3%である。

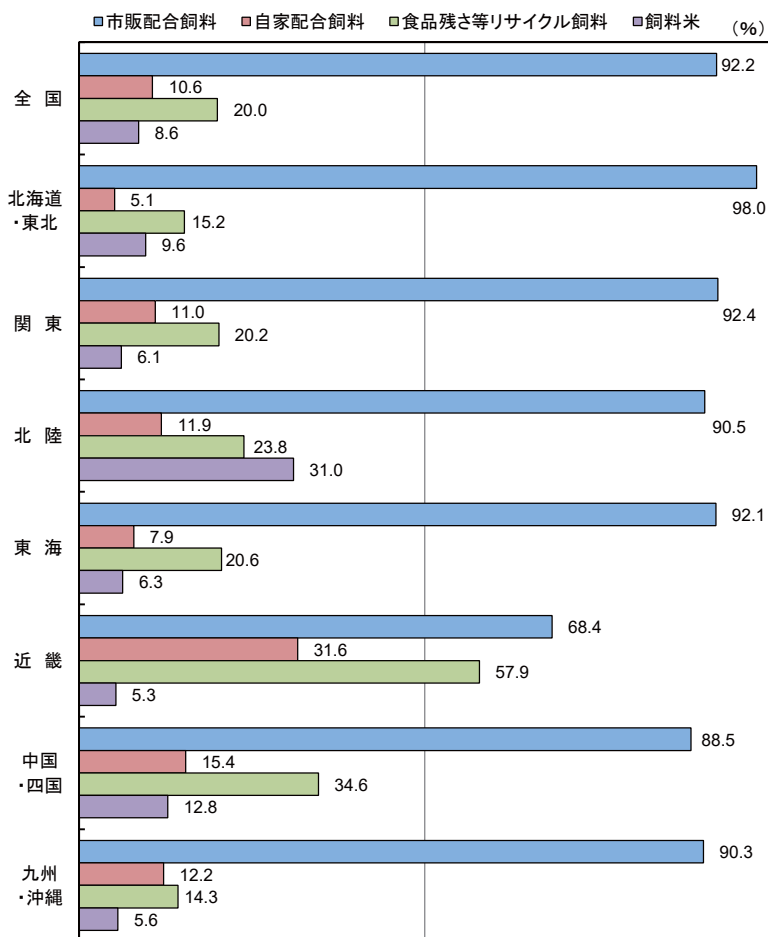
② 一方、「経営を縮小する」意向が強い農場では、「後継者はいない・考えていない」とする割合が27.9%となっている。



9. 給与飼料

●現在使用している飼料（複数回答、地域別、★回答農場数=859）

		全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
市販配合飼料	(場)	792	194	243	38	58	13	69	177
	(%)	92.2	98.0	92.4	90.5	92.1	68.4	88.5	90.3
自家配合飼料	(場)	91	10	29	5	5	6	12	24
	(%)	10.6	5.1	11.0	11.9	7.9	31.6	15.4	12.2
食品残さ等 リサイクル飼料	(場)	172	30	53	10	13	11	27	28
	(%)	20.0	15.2	20.2	23.8	20.6	57.9	34.6	14.3
飼料米	(場)	74	19	16	13	4	1	10	11
	(%)	8.6	9.6	6.1	31.0	6.3	5.3	12.8	5.6
合 計	(場)	1,129	253	341	66	80	31	118	240
	(%)	131.4	127.8	129.7	157.1	127.0	163.2	151.3	122.4
回答農場数	(場)	859	198	263	42	63	19	78	196



① 養豚経営者が使用している飼料は、複数回答で「市販配合飼料」が92.2%と最も使用割合が高く、次いで「リサイクル飼料」20.0%、「自家配合飼料」10.6%、「飼料米」8.6%の順となっている。

② 地域別にみると、すべての地域で市販配合飼料の割合が最も高く、次いで「リサイクル飼料」が北陸を除いた地域で高い。北陸は2番目に高い使用割合は「飼料米」の31.0%である。

10. 衛生レベル・防疫対策

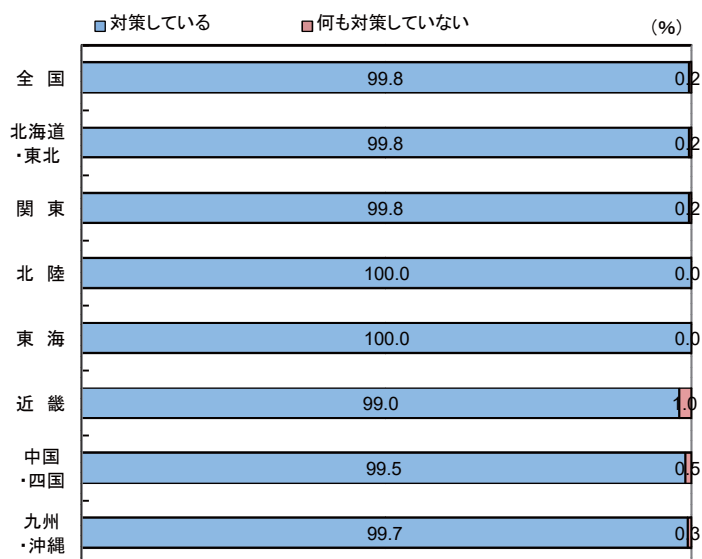
●農場における人の入退場（地域別、複数回答、割合、★回答農場数＝864）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
対策をしている	99.8	99.8	99.8	100.0	100.0	99.0	99.5	99.7
管理地域を示す看板の設置	79.4	82.5	75.8	88.1	87.5	83.3	78.2	76.8
シャワーイン・シャワーアウトの実施	24.2	37.5	15.9	11.9	31.3	5.6	26.9	22.7
農場専用の衣服への交換	62.3	74.0	59.5	59.5	68.8	44.4	53.8	57.6
農場専用の履物への交換	78.9	82.0	78.8	83.3	89.1	83.3	71.8	74.2
豚舎専用の衣服への交換	31.7	44.5	27.3	33.3	26.6	22.2	28.2	28.3
豚舎専用の履物への交換	51.5	62.0	42.4	45.2	53.1	33.3	53.8	54.5
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	72.2	74.0	70.1	76.2	79.7	77.8	60.3	74.2
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	75.3	82.0	72.3	71.4	73.4	77.8	70.5	75.8
来場者名簿の設置	54.3	55.0	44.3	50.0	82.8	61.1	56.4	57.1
一定期間の入場制限	47.9	58.5	39.0	54.8	46.9	55.6	56.4	43.9
小 計	577.8	652.0	525.4	573.8	639.1	544.4	556.4	565.2
何も対策していない	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	1.0	0.5	0.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	864	200	264	42	64	18	78	198

① 農場における人の入退場について、「対策をしている」のは99.8%で、「何も対策をしていない」のは0.2%である。

対策の内訳で最も割合が高いのは「管理地域を示す看板の設置」79.4%、次いで「農場専用の履物への交換」78.9%、「豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置」75.3%、「農場専用踏み込み消毒槽の設置」72.2%と続き、最も割合が低いのは「シャワーイン・シャワーアウトの実施」24.2%である。また、1農場で上記10対策のうち平均5.8の対策を実施している。

② 地域別に見ると、「対策をしている」割合が最も高いのは北陸と東海がそれぞれ100.0%である。他の地域も99%以上がなんらかの対策を実施している。



●農場における人の入退場（子取り用雌豚飼養頭数規模別、複数回答、割合、★回答農場数＝771）

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
対策をしている	99.8	98.5	98.8	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0
管理地域を示す看板の設置	80.7	68.2	78.0	72.7	82.4	87.6	84.6	87.3
シャワーイン・シャワーアウトの実施	23.9	4.5	4.9	6.5	15.5	31.2	53.8	71.4
農場専用の衣服への交換	63.4	34.8	35.4	52.6	56.3	79.0	87.2	96.8
農場専用の履物への交換	79.5	62.1	62.2	72.1	80.3	86.6	92.3	100.0
豚舎専用の衣服への交換	31.8	16.7	20.7	16.9	30.3	39.8	50.0	55.6
豚舎専用の履物への交換	52.0	25.8	32.9	38.3	46.5	65.1	73.1	85.7
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	72.8	54.5	62.2	63.6	72.5	78.5	89.7	90.5
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	75.6	69.7	57.3	70.1	76.1	80.1	82.1	96.8
来場者名簿の設置	54.6	33.3	31.7	46.1	50.7	60.2	82.1	85.7
一定期間の入場制限	48.9	27.3	30.5	40.3	43.0	55.9	71.8	81.0
小計	583.1	397.0	415.9	479.2	553.5	664.0	766.7	850.8
何も対策していない	0.2	1.5	1.2	0.3	0	0	0	0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場	771	66	82	154	142	186	78	63

① 子取り用雌豚飼養頭数規模別にみると、「対策をしている」は100頭以上の階層は100%実施しており、「何も対策をしていない」は100頭未満の階層にみられる。また、「対策をしている」農場で1農場上記10対策のうちいくつ実施しているかみると、「1～19頭」が平均4対策、頭数が多い階層ほど対策数が多くなり、「1000頭以上」では平均8.5の対策を実施している。

●農場における人の入退場（経営形態別、複数回答、割合、★回答農場数＝864）

	全体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
対策をしている	99.8	99.4	100.0	99.9	100.0	96.6	100.0	100.0
管理地域を示す看板の設置	79.4	73.2	88.6	82.7	87.2	75.0	73.7	77.3
シャワーイン・シャワーアウトの実施	24.2	5.0	31.8	33.5	54.1	50.0	15.8	22.7
農場専用の衣服への交換	62.3	46.1	72.7	71.5	82.0	75.0	63.2	63.6
農場専用の履物への交換	78.9	68.4	81.8	86.6	89.5	75.0	78.9	81.8
豚舎専用の衣服への交換	31.7	20.7	29.5	37.0	53.4	50.0	31.6	13.6
豚舎専用の履物への交換	51.5	39.1	43.2	60.2	72.2	75.0	52.6	27.3
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	72.2	67.0	79.5	73.2	85.7	75.0	57.9	59.1
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	75.3	64.5	84.1	80.3	85.7	75.0	84.2	100.0
来場者名簿の設置	54.3	40.2	59.1	60.6	71.4	75.0	68.4	72.7
一定期間の入場制限	47.9	31.3	56.8	54.6	73.7	75.0	36.8	63.6
小計	577.8	455.6	627.3	640.1	754.9	700.9	563.2	581.8
何も対策していない	0.2	0.6	0.0	0.1	0.0	3.4	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場	864	358	44	284	133	4	19	22

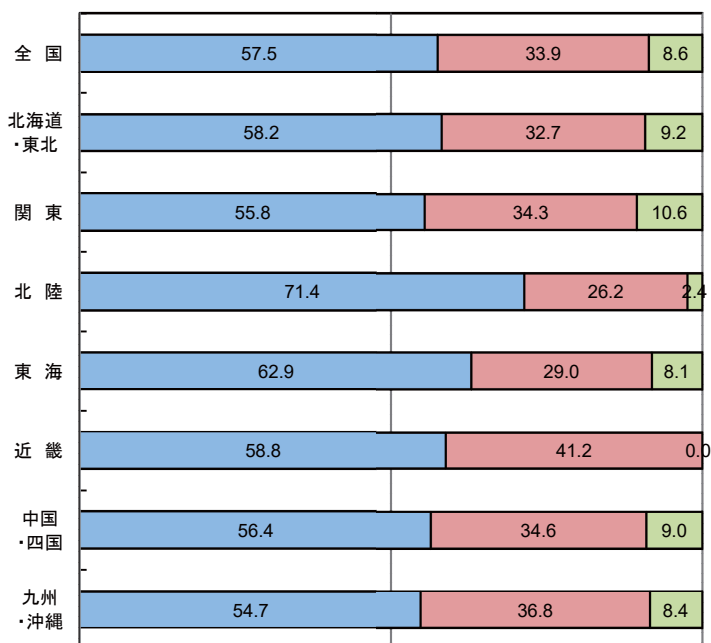
① 経営形態別にみると、「何も対策をしていない」は「個人経営」、「有限会社・合資・合名会社」、「農協直営」にわずかではあるが見られる。また、「対策をしている」農場で1農場上記10対策のうちいくつ実施しているかみると、「個人経営」が4.6と少なく、最も多いのは株式会社の7.5となっている。

●豚の導入時の対応（地域別、割合、★回答農場数=836）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
隔離検査を実施している	57.5	58.2	55.8	71.4	62.9	58.8	56.4	54.7
実施していない	33.9	32.7	34.3	26.2	29.0	41.2	34.6	36.8
外部からの生体導入は一切していない	8.6	9.2	10.0	2.4	8.1	0.0	9.0	8.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 豚の導入時の対応について、隔離検査を要する農場は91.4%で、「外部からの生体導入は一切していない」農場8.6%は隔離検査を要しない農場である。

■隔離検査を実施している ■実施していない ■外部からの生体導入は一切していない（%）



●豚の導入時の対応の有無（地域別、割合、★回答農場数=764）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
隔離検査を実施している	63.0	64.0	61.9	73.2	68.4	58.8	62.0	59.8
農場から離れた隔離検査施設で	8.6	10.1	4.9	34.1	7.0	17.6	4.2	7.5
農場内の隔離検査施設で	31.5	33.7	32.7	22.0	38.6	11.8	33.8	28.7
豚舎内の隔離検査施設で	22.8	20.2	24.3	17.1	22.8	29.4	23.9	23.6
実施していない	37.0	36.0	38.1	26.8	31.6	41.2	38.0	40.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

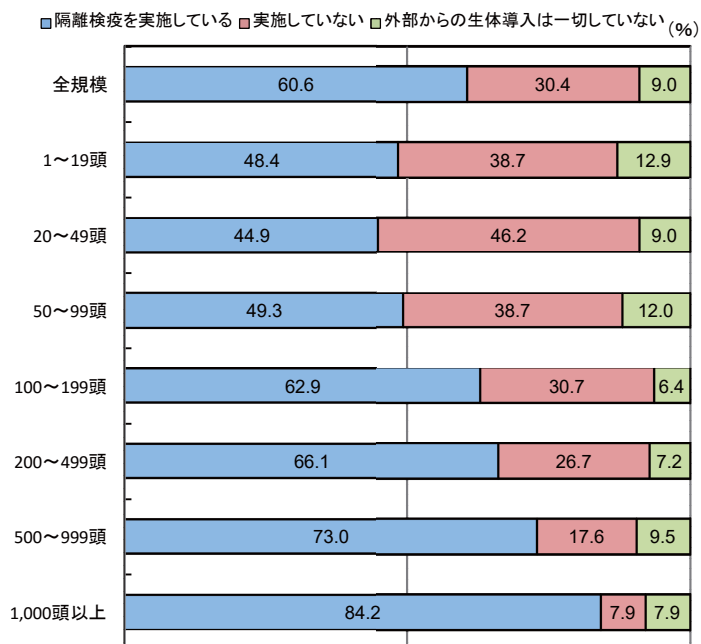
① 隔離検査を要する764農場における「隔離検査を実施している」割合は63.0%である。そのうち、「農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」が31.5%、「豚舎内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」が22.8%、「農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」8.6%である。

② 地域別では、「隔離検査を実施している」割合が高いのは北陸73.2%、東海68.4%である。「隔離検査を実施していない」割合が高いのは近畿41.2%、九州・沖縄40.2%である。

●豚の導入時の対応（子取り用雌豚飼養頭数規模別、割合、★回答農場数=747）

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
隔離検査を実施している	60.6	48.4	44.9	49.3	62.9	66.1	73.0	84.2
実施していない	30.4	38.7	46.2	38.7	30.7	26.7	17.6	7.9
外部からの生体導入は一切していない	9.0	12.9	9.0	12.0	6.4	7.2	9.5	7.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 子取り用雌豚飼養頭数規模別に見ると、隔離検査を要する農場は91.0%で、「外部からの生体導入は一切していない」農場9.0%は隔離検査を要しない農場である。



●豚の導入時の対応の有無（子取り用雌豚飼養頭数規模別、割合、★回答農場数=680）

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
隔離検査を実施している	66.6	55.6	49.3	56.1	67.2	71.3	80.6	91.4
農場から離れた隔離検査施設で	9.1	9.3	4.2	5.3	12.2	9.6	6.0	19.0
農場内の隔離検査施設で	33.4	20.4	21.1	25.8	23.7	37.7	56.7	60.3
豚舎内の隔離検査施設で	24.1	25.9	23.9	25.0	31.3	24.0	17.9	12.1
実施していない	33.4	44.4	50.7	43.9	32.8	28.7	19.4	8.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

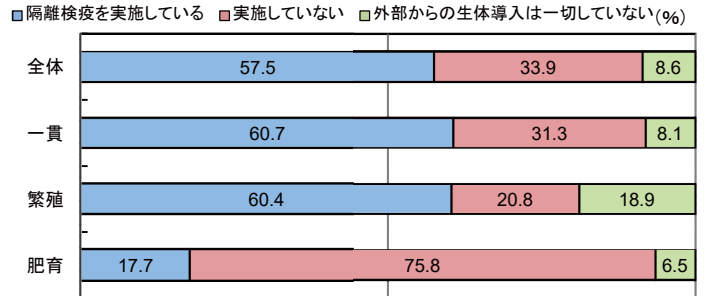
① 隔離検査を要する680農場で「隔離検査を実施している」割合は66.6%である。そのうち「農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」のは33.4%、「豚舎内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」のは24.1%、「農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」のは9.1%である。

② 子取り用雌豚飼養頭数規模別では、「隔離検査を実施している」割合が高いのは「1000頭以上」91.4%、次いで「500～999頭」80.6%で規模が大きくなるほど実施率が高い傾向がある。「隔離検査を実施していない」割合は「20～49頭」50.7%が最も高い。

●豚の導入時の対応（経営タイプ別、割合、★回答農場数＝835）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
隔離検査を実施している	57.5	60.7	60.4	17.7
実施していない	33.9	31.3	20.8	75.8
外部からの生体導入は一切していない	8.6	8.1	18.9	6.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営タイプ別に見ると、「外部からの生体導入は一切していない」割合は繁殖経営18.9%が最も高い。



●豚の導入時の対応の有無（経営タイプ別、割合、★回答農場数＝763）

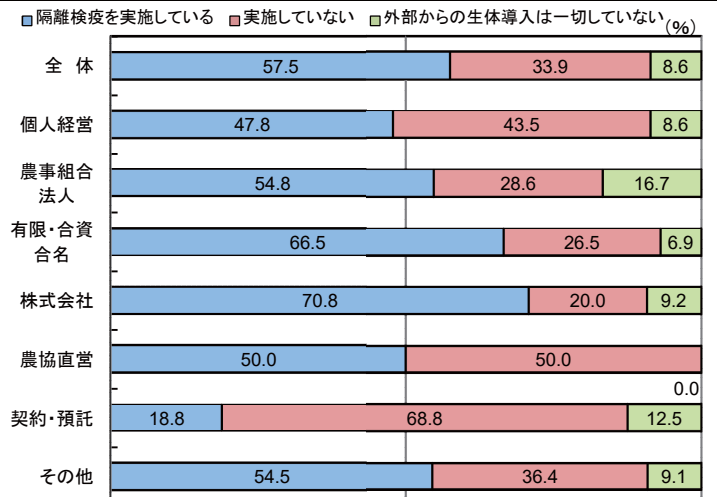
	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
隔離検査を実施している	62.9	66.0	74.4	19.0
農場から離れた隔離検査施設で	8.5	8.6	16.3	1.7
農場内の隔離検査施設で	31.6	34.0	25.6	8.6
畜舎内の隔離検査施設で	22.8	23.4	32.6	8.6
実施していない	37.1	34.0	25.6	81.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

① 隔離検査を要する763農場について、経営タイプ別に見ると、「隔離検査を実施している」割合が最も高いのは繁殖経営74.4%であり、「隔離検査を実施していない」割合が高いのは肥育経営81.0%である。

●豚の導入時の対応（経営形態別、割合、★回答農場数＝763）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
隔離検査を実施している	57.5	47.8	54.8	66.5	70.8	50.0	18.8	54.5
実施していない	33.9	43.5	28.6	26.5	20.0	50.0	68.8	36.4
外部からの生体導入は一切していない	8.6	8.6	16.7	6.9	9.2	0.0	12.5	9.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営形態別に見ると、「外部からの生体導入は一切していない」割合は農事組合法人16.7%が最も高い。



●豚の導入時の対応の有無（経営形態別、割合、★回答農場数＝764）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
隔離検疫を実施している	63.0	52.4	65.7	71.5	78.0	50.0	21.4	60.0
農場から離れた隔離 検疫施設で	8.6	6.6	5.7	10.5	10.2	25.0	7.1	10.0
農場内の隔離検疫施 設で	31.5	21.8	28.6	39.8	44.9	0.0	14.3	25.0
豚舎に野隔離検疫施 設で	22.8	24.0	31.4	21.1	22.9	25.0	0.0	25.0
実施していない	37.0	47.6	34.3	28.5	22.0	50.0	78.6	40.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

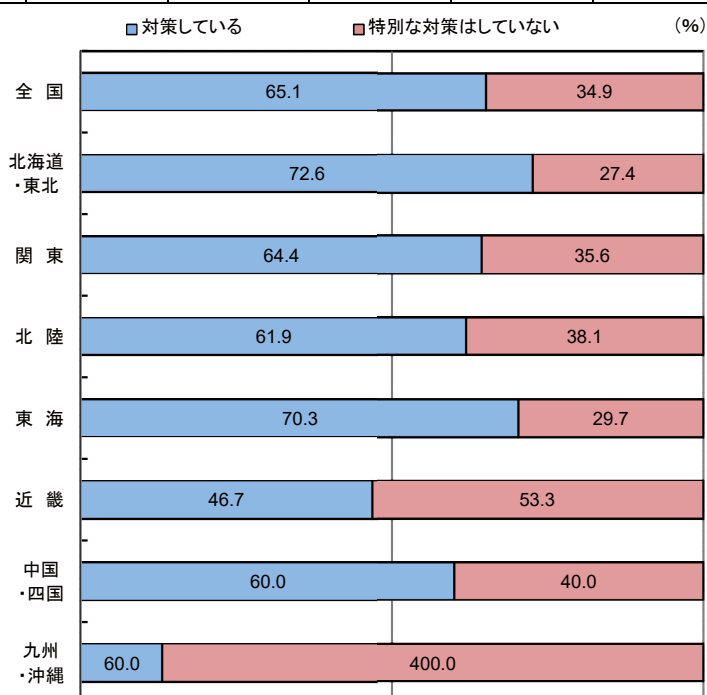
① 隔離検疫を要する764農場について、経営形態別に見ると、「隔離検疫を実施している」割合が最も高いのは株式会社の78.0%、次いで有限会社、合資・合名会社71.5%となっており、一方、「隔離検疫を実施していない」割合が高いのは契約農場・預託農場78.6%である。

●農場内への資材の搬入時の対策（地域別、割合、★回答農場数＝839）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
対策をしている	65.1	72.6	64.4	61.9	70.3	46.7	60.0	60.6
倉庫等に一定期間置 いてから消毒し搬入	11.8	18.8	11.1	11.9	14.1	0.0	5.3	8.3
消毒し搬入	29.8	31.0	22.5	23.8	26.6	33.3	40.0	36.3
倉庫等に一定期間置 いてから搬入	23.5	22.8	30.8	26.2	29.7	13.3	14.7	16.1
特別な対策はしていない	34.9	27.4	35.6	38.1	29.7	53.3	40.0	39.4
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 農場内への資材の搬入時に「対策をしている」割合は65.1%で、対策の内容で最も割合が高いのは「消毒してから搬入している」が29.8%、次いで「倉庫等に一定期間置いてから搬入している」が23.5%である。

② 地域別では、「対策をしている」割合が最も高いのは北海道・東北72.6%である。対策の内容の地域内割合では、関東、北陸、東海では「倉庫等に一定期間置いてから搬入している」割合が最も高く、その他の地域では「消毒してから搬入している」割合が最も高い。「特別な対策はしていない」割合が最も高いのは近畿53.3%である。

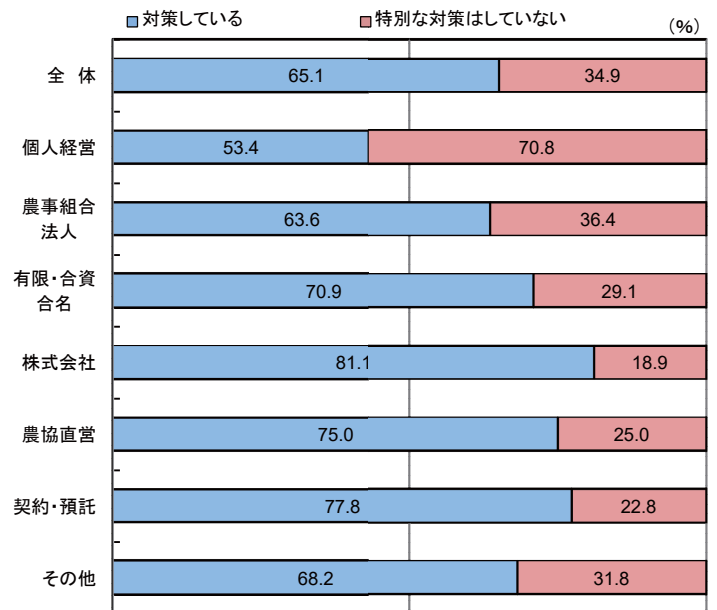


●農場内への資材の搬入時の対策（経営形態別、割合、★回答農場数＝839）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
対策をしている	65.1	53.4	63.6	70.9	81.1	75.0	77.8	68.2
倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入	11.8	5.0	2.3	15.8	20.5	25.0	27.8	18.2
消毒し搬入	29.8	28.4	43.2	23.7	41.7	25.0	33.3	27.3
倉庫等に一定期間置いてから搬入	23.5	19.9	18.2	31.3	18.9	25.0	16.7	22.7
特別な対策はしていない	34.9	46.6	36.4	29.1	18.9	25.0	22.2	31.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 経営形態別に見ると、「対策をしている」割合が高いのは株式会社81.1%、次いで契約農場・預託農場77.8%である。「特別な対策はしていない」割合が高いのは個人経営46.6%、次いで農事組合法人36.4%である。

② 「倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している」割合の高いのは契約農場・預託農場27.8%、農協直営25.0%である。

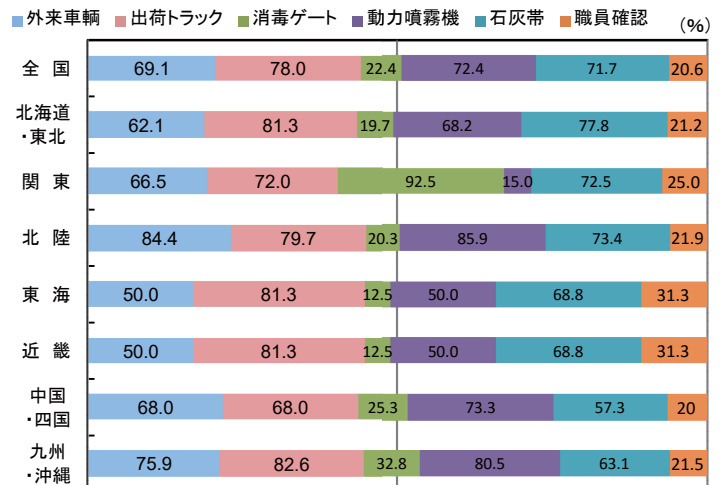


●車両の入退場の対応（地域別、複数回答、割合、★回答農場数＝845）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
外来車両の消毒実施	69.1	62.1	66.5	72.5	84.4	50.0	68.0	75.9
出荷トラックの消毒実施	78.0	81.3	72.0	92.5	79.7	81.3	68.0	82.6
消毒ゲートの設置	22.4	19.7	17.9	15.0	20.3	12.5	25.3	32.8
動力噴霧機の設置	72.4	68.2	67.3	72.5	85.9	50.0	73.3	80.5
石灰帯の設置	71.7	77.8	77.4	72.5	73.4	68.8	57.3	63.1
職員が消毒の実施又は確認	20.6	21.2	17.9	25.0	21.9	31.3	20.0	21.5
合 計	334.2	330.3	319.1	350.0	365.6	293.8	312.0	356.4
回答農場数	845	198	257	40	64	16	75	195

① 車両の入退場の際に最も多く対策を実施しているのは、「出荷トラックの消毒実施」78.0%で、次いで「動力噴霧機の設置」72.4%、「石灰帯の設置」71.7%と続いており、1農場平均3.3と複数の対策を実施している。

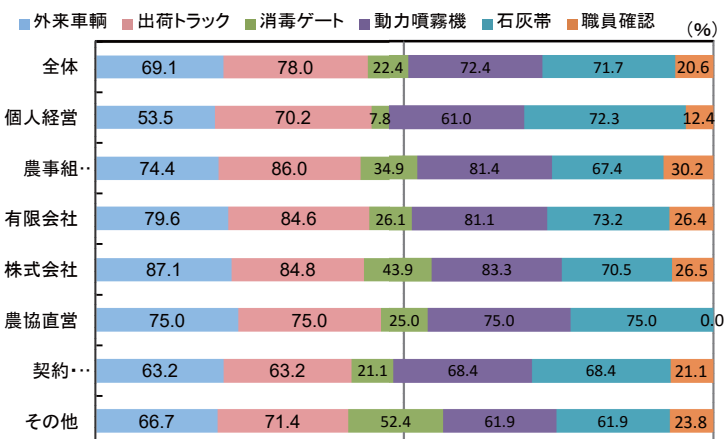
② 地域別では、東海が1農場3.7と最も多くの対策を実施している。対策の内容の地域内割合では、北海道・東北、北陸、近畿、九州・沖縄では「出荷トラックの消毒実施」の割合が最も高く、東海、中国・四国は「動力噴霧機の設置」、関東は「石灰帯」の割合が高い。



● 車両の入退場の対応（経営形態別、複数回答、割合、★回答農場数＝845）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
外来車両の消毒実施	69.1	53.5	74.4	79.6	87.1	75.0	63.2	66.7
出荷トラックの消毒実施	78.0	70.2	86.0	84.6	84.8	75.0	63.2	71.4
消毒ゲートの設置	22.4	7.8	34.9	26.1	43.9	25.0	21.1	52.4
動力噴霧機の設置	72.4	61.0	81.4	81.1	83.3	75.0	68.4	61.9
石灰帯の設置	71.7	72.3	67.4	73.2	70.5	75.0	68.4	61.9
職員が消毒の実施又は確認	20.6	12.4	30.2	26.4	26.5	0.0	21.1	23.8
合 計	334.2	277.2	374.4	371.1	396.2	325.0	305.3	338.1
回答農場数	845	346	43	280	132	4	19	12

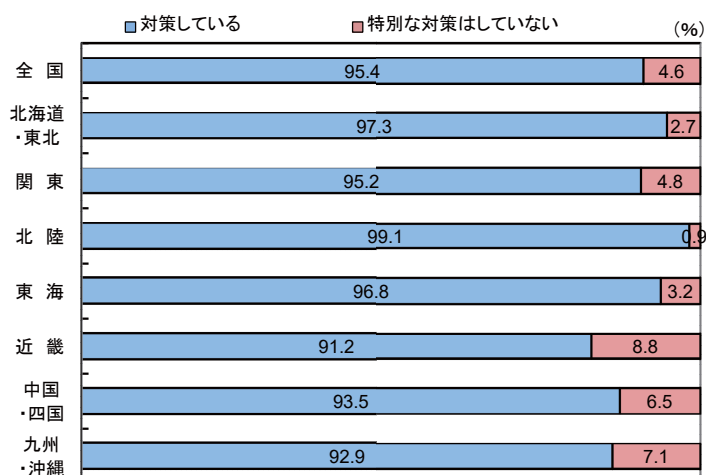
① 経営形態別の車両の入退場の対応をみると、株式会社が1農場4.0と最も多くの対策を実施している。対策の内容の経営形態別内割合は、農事組合法人、有限会社・合資・合名会社、株式会社は「出荷トラックの消毒実施」の割合が最も高く、個人経営は「石灰帯の設置」が最も割合が高い。
個人経営で「消毒ゲートの設置」は7.8%と少ない、



● 野生動物の侵入防止策（地域別、複数回答、割合、★回答農場数＝845）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
対策をしている	95.4	97.3	95.2	99.1	96.8	91.2	93.5	92.9
畜舎の破損の修繕	61.1	73.1	58.3	73.8	60.7	50.0	66.2	49.0
農場周囲に金網	20.0	22.8	20.5	19.0	11.5	16.7	20.8	19.4
開放部に防鳥ネット	56.1	58.9	52.0	83.3	60.7	66.7	48.1	53.6
ネズミ駆除	74.2	81.7	78.0	85.7	62.3	38.9	64.9	69.9
その他	2.2	1.5	1.6	0.0	4.9	0.0	6.5	2.0
小 計	213.6	238.1	210.2	261.9	200.0	172.2	206.5	193.9
特別な対策はしていない	4.6	2.7	4.8	0.9	3.2	8.8	6.5	7.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	845	197	254	42	61	18	77	196

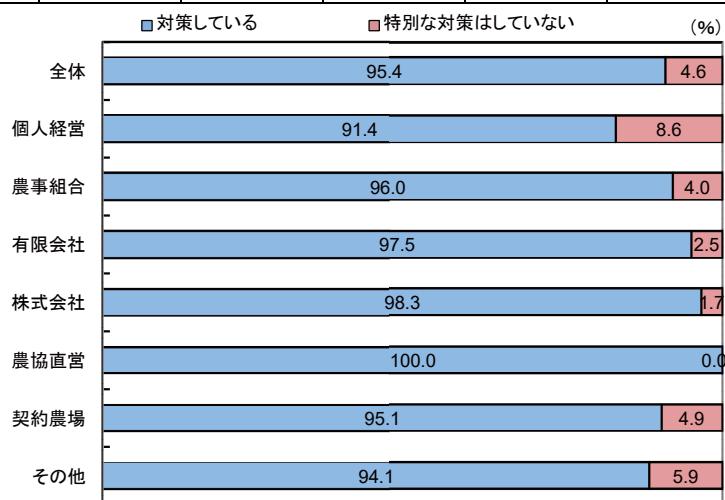
① 野生動物の侵入防止策について、「対策をしている」割合は95.4%で、対策の内容で最も割合が高いのは、「ネズミ駆除を実施している」が74.2%であり、次いで「畜舎破損の修理」61.1%、「開放部に防鳥ネットを張っている」56.1%となっている。
② 地域別では、「対策をしている」割合が最も高いのは北陸99.1%、次いで北海道・東北97.3%である。対策の内容では、近畿、中国・四国を除く地域で「ネズミ駆除等を実施している」割合が高い。「特別な対策はしていない」割合が最も高いのは近畿8.8%である。



●野生動物の侵入防止策(経営形態別、割合、★回答農場数=845)

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
対策をしている	95.4	91.4	96.0	97.5	98.3	100.0	95.1	94.1
畜舎の破損の修繕	61.1	48.0	72.1	69.6	72.2	75.0	68.4	59.1
農場周囲に金網	20.0	11.6	23.3	23.6	29.3	75.0	15.8	36.4
開放部に防鳥ネット	56.1	43.6	55.8	66.1	68.4	75.0	57.9	45.5
ネズミ駆除	74.2	66.9	67.4	79.6	84.2	100.0	63.2	77.3
その他	2.2	2.6	7.0	2.1	0.8	0.0	0.0	0.0
小 計	213.6	172.7	225.6	241.1	254.9	325.0	205.3	218.2
特別な対策はしていない	4.6	8.6	4.0	2.5	1.7	0.0	4.9	5.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	845	344	43	280	133	4	19	22

① 経営形態別では、「対策をしている」割合が最も高いのは農協直営100.0%、次いで株式会社98.3%である。農事組合法人、委託・契約農場を除く経営形態では「ネズミ駆除等を実施している」割合が高い。「特別な対策はしていない」割合が最も高いのは個人経営8.6%である。



11. 環境対策

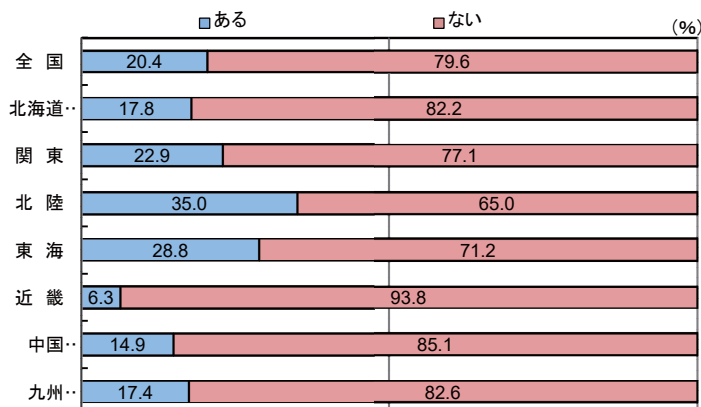
(1) 畜産関係の悪臭苦情の対応

●住民等からの悪臭苦情の有無(過去1年以内)(地域別、割合、★回答農場数=830)

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
ある	20.4	17.8	22.9	35.0	28.8	6.3	14.9	17.4
近隣の住民より直接	40.8	34.3	43.9	28.6	47.1	100.0	54.5	38.2
公的機関を通して	55.6	62.9	54.4	71.4	41.2	0.0	45.5	55.9
その他	3.6	2.9	1.8	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9
小 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	79.6	82.2	77.1	65.0	71.2	93.8	85.1	82.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 住民等からの悪臭苦情が寄せられたことが「ある」割合は20.4%で、そのうち最も割合が高いのは、県・市町村の「公的機関を通して」が55.6%である。

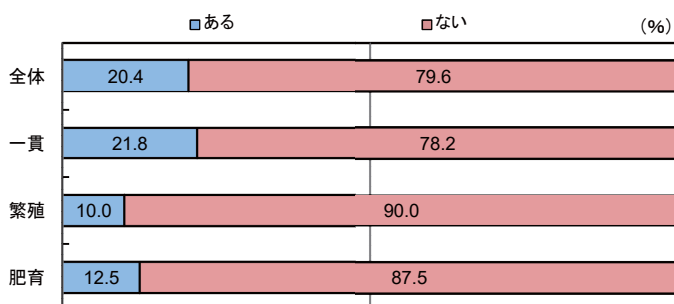
② 地域別に見ると、「ある」の割合が最も高いのは北陸35.0%である。「ない」の割合が最も高いのは近畿93.8%である。「ある」の内訳では、東海、近畿、中国・四国が「近隣の住民より直接」の割合が高く、それ以外の地域では「公的機関を通して」の割合が高い。



●住民等からの悪臭苦情の有無（過去1年以内）（経営タイプ別、割合、★回答農場数=829）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
ある	20.4	21.8	10.0	12.5
近隣の住民より直接	40.8	41.7	60.0	12.5
公的機関を通して	55.6	54.5	40.0	87.5
その他	3.6	3.8	0.0	0.0
小 計	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	79.6	78.2	90.0	87.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

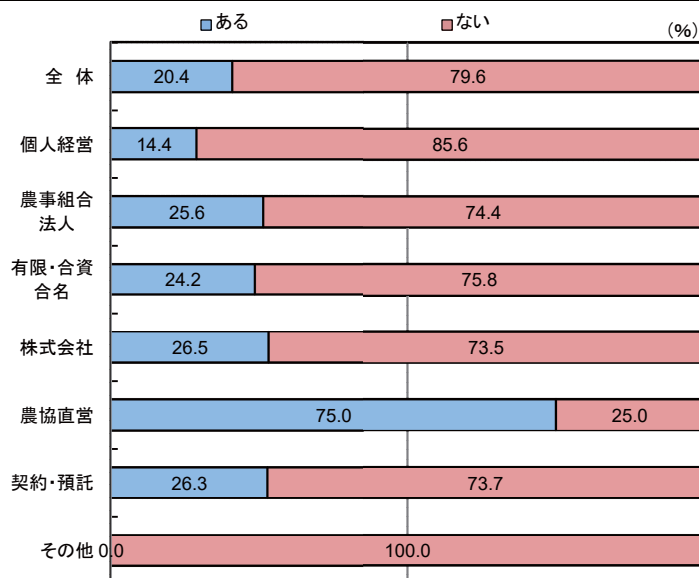
- ① 経営タイプ別に見ると、「ある」の割合は一貫経営 21.8%と最も高く、次いで肥育経営 12.5%であり、繁殖経営 10.0%が最も低い。
- ② 繁殖経営を除く経営タイプは「公的機関を通して」の割合が最も高い。



●住民等からの悪臭苦情の有無（過去1年以内）（経営形態別、割合、★回答農場数=830）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
ある	20.4	14.4	25.6	24.2	26.5	75.0	26.3	0.0
近隣の住民より直接	40.8	46.9	45.5	37.9	42.9	0.0	20.0	0.0
公的機関を通して	55.6	51.0	45.5	59.1	57.1	33.0	80.0	0.0
その他	3.6	2.0	9.1	3.0	0.0	66.7	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
ない	79.6	85.6	74.4	75.8	73.5	25.0	73.7	100.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 経営形態別に見ると、「ある」の割合の高いのは農協直営75.0%が最も高く、次いで株式会社26.1%で、割合が低いのは個人経営14.4%となっている。
- ② 農協直営では「その他」の割合が高く、他の経営形態では「公的機関を通して」が割合が高い。

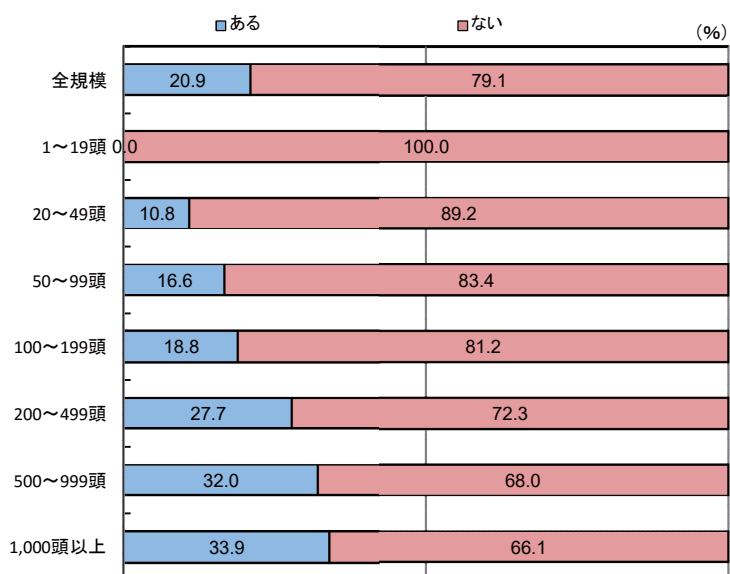


●住民等からの悪臭苦情の有無（過去1年以内）（子取り用雌豚頭数規模別、割合、★回答農場数＝738）

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
ある	20.9	0.0	10.8	16.6	18.8	27.7	32.0	33.9
近隣の住民より直接	42.2	0.0	37.5	46.2	45.8	41.2	37.5	42.9
公的機関を通して	53.9	0.0	62.5	50.0	54.2	51.0	62.5	52.4
その他	3.9	0.0	0.0	3.8	0.0	7.8	0.0	4.8
小計	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	79.1	100.0	89.2	83.4	81.2	72.3	68.0	66.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 子取り用雌豚飼養頭数規模別に見ると、「ある」の割合が高いのは「1,000頭以上」33.9%で、割合が低いのは規模が小さいほど割合は低くなっている。

② すべての規模で「公的機関を通して」の割合が高い。

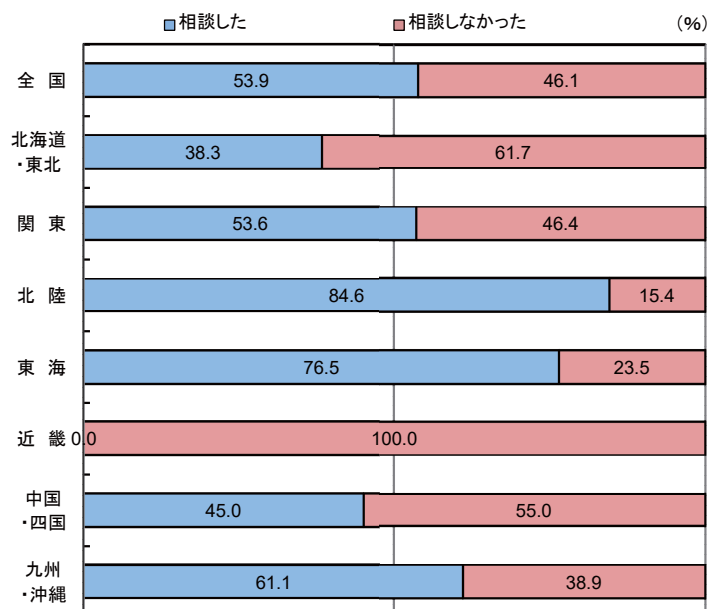


●公的機関への相談の有無（地域別、割合、★回答農場数＝204）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
相談した	53.9	38.3	53.6	84.6	76.5	0.0	45.0	61.1
相談しなかった	46.1	61.7	46.4	15.4	23.5	100.0	55.0	38.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	204	47	69	13	17	2	20	36

① 公的機関に「相談した」割合は53.9%である。

② 地域別に見ると、「相談した」割合が高いのは北陸84.6%であり、回答数が少ないこともあるが「相談しなかった」割合が高いのは近畿100.0%である。



●公的機関に「相談した」内訳（地域別、割合、★回答農場数＝93）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
アドバイスを試した	90.3	82.4	78.6	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
有効であった	41.7	14.3	63.6	36.4	20.0	0.0	71.4	40.0
有効でなかった	15.5	28.6	0.0	18.2	40.0	0.0	14.3	10.0
まだ効果があったかわからない	42.9	57.1	36.4	45.5	40.0	0.0	14.3	50.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
アドバイスを試さなかった	6.5	11.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
参考にならないから	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コストが高いから	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
まだアドバイスを受けてない	3.3	5.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
回答農場数	93	17	28	11	10	0	7	20

- ① 苦情を減らすための方法等を公的機関に相談したと回答した110農場のうち理由の回答があった93農場についてみると、「アドバイスを試した」割合は90.3%である。そのうち、アドバイスを試した結果が「有効であった」とする割合は41.7%、「有効でなかった」は15.5%であるが、「まだ効果があったかわからない」が42.9%ある。
- ② 「アドバイスを試さなかった」割合は6.5%である。そのうち、アドバイスを試さなかった理由としては、「参考にならなかった」とする割合は50.0%、「コストが高いから」は50.0%である。
- ③ 地域別に見ると、「アドバイスを試した」割合が高いのは北陸、東海、中国・四国、九州・沖縄で100%試しており、「アドバイスを試さなかった」割合が高いのは関東14.3%である。

●公的機関に「相談しなかった」内訳（地域別、割合、★回答農場数＝70）

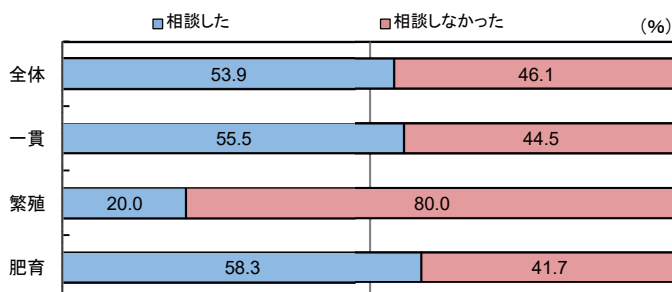
	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
どこの公的機関に相談して良いかわからない	11.4	5.0	16.0	50.0	0.0	50.0	0.0	9.1
アドバイスは必要ない	44.3	45.0	36.0	0.0	100.0	50.0	42.9	54.5
公的機関以外に相談	18.6	20.0	16.0	50.0	0.0	0.0	28.6	18.2
その他	25.7	30.0	32.0	0.0	0.0	0.0	28.6	18.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	70	20	25	13	17	2	20	36

- ① 公的機関に相談しなかったと回答した94農場のうち理由の回答があった農場は70農場であり、「アドバイスは必要ないと感じたから」44.3%が最も割合が高く、次いで「その他」が25.7%となっている。
- ② 地域別に見ると、「アドバイスは必要ないと感じたから」の割合が高いのは東海100.0%、次いで九州・沖縄54.5%であり、「公的機関以外に相談しているから」の割合が高いのは北陸50.0%である。

●公的機関への相談の有無（経営タイプ別、割合、★回答農場数=204）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
相談した	53.9	55.5	20.0	58.3
相談しなかった	46.1	44.5	80.0	41.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	204	182	10	127

- ① 経営タイプ別に見ると、公的機関に「相談した」割合が高いのは肥育経営58.3%であり、「相談しなかった」割合が高いのは繁殖経営80.0%である。



●公的機関に「相談した」内訳（経営タイプ別、割合、★回答農場数=93）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
アドバイスを試した	90.3	89.4	100.0	100.0
有効であった	41.7	39.5	0.0	71.4
有効でなかった	15.5	15.8	0.0	14.3
まだ効果があったかわからない	42.9	44.7	100.0	14.3
小計	100.0	100.0	100.0	100.0
アドバイスを試さなかった	6.5	7.1	0.0	0.0
参考にならないから	50.0	50.0	0.0	0.0
コストが高いから	50.0	50.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	0.0	0.0
まだアドバイスを受けてない	3.2	3.5	0.0	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	93	85	1	7

- ① 「アドバイスを試した」割合が高いのは繁殖経営、肥育経営は100.0%で、その結果は肥育経営は「有効であった」が71.4%であった。一方、「アドバイスを試さなかった」割合が高いのは一貫経営7.1%で、「参考にならない」「コストが高いから」であった。

●公的機関に「相談しなかった」内訳（経営タイプ別、割合、★回答農場数=70）

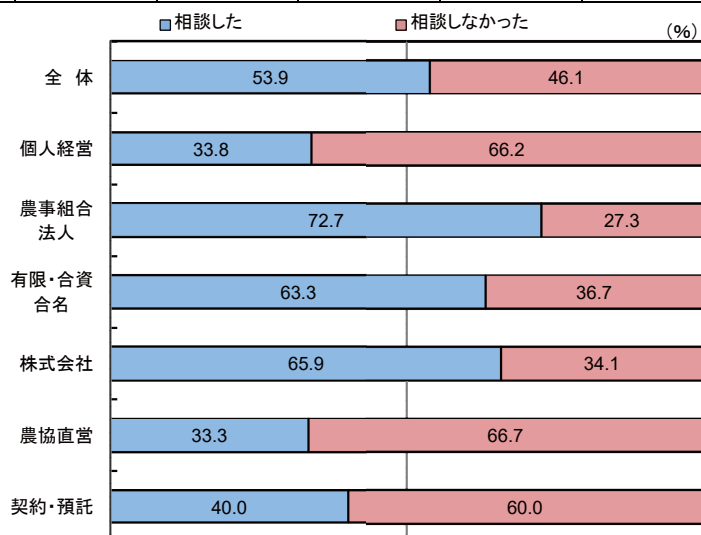
	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
どこの公的機関に相談して良いかわからない	11.4	12.1	0.0	0.0
アドバイスは必要ない	44.3	42.4	100.0	50.0
公的機関以外に相談	18.6	19.7	0.0	0.0
その他	25.7	25.8	0.0	50.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	70	66	2	2

- ① 「アドバイスは必要ないと感じたから」の割合が高いのは繁殖経営100.0%である。

●公的機関への相談の有無（経営形態別、割合、★回答農場数=204）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
相談した	53.9	33.8	72.7	63.3	65.9	33.3	40.0	0.0
相談しなかった	46.1	66.2	27.3	36.7	34.1	66.7	60.0	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
回答農場数	204	65	11	79	41	3	5	0

① 経営形態別に見ると、公的機関に「相談した」割合が高いのは農事組合法人72.7%であり、「相談しなかった」割合が高いのは、農協直営66.7%、次いで個人経営66.2%である。



●公的機関に「相談した」内訳（経営形態別、割合、★回答農場数=93）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
アドバイスを試した	90.3	100.0	100.0	86.0	88.0	100.0	100.0	0.0
有効であった	41.7	50.0	33.3	40.5	36.4	0.0	100.0	0.0
有効でなかった	15.5	18.8	50.0	10.8	13.6	0.0	0.0	0.0
まだ効果があったかわからない	42.9	31.3	16.7	48.6	50.0	100.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
アドバイスを試さなかった	6.5	0.0	0.0	9.3	8.0	0.0	0.0	0.0
参考にならないから	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
コストが高いから	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
まだアドバイスを受けてない	3.2	0.0	0.0	4.7	4.0	0.0	0.0	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
回答農場数	93	16	6	43	25	1	2	0

① 「アドバイスを試した」割合が高いのは個人経営、農事組合法人、農協直営、預託農場が100%であり、「アドバイスを試さなかった」割合が高いのは有限会社・合資・合名会社9.3%である。

●公的機関に「相談しなかった」内訳（経営形態別、割合、★回答農場数=70）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
どこの公的機関に相談して良いかわからない	11.4	9.7	50.0	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0
アドバイスは必要ない	44.3	48.4	0.0	36.4	54.5	100.0	0.0	0.0
公的機関以外に相談	18.6	22.6	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
その他	25.7	19.4	50.0	31.8	18.2	0.0	100.0	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
回答農場数	70	31	22	22	11	2	2	0

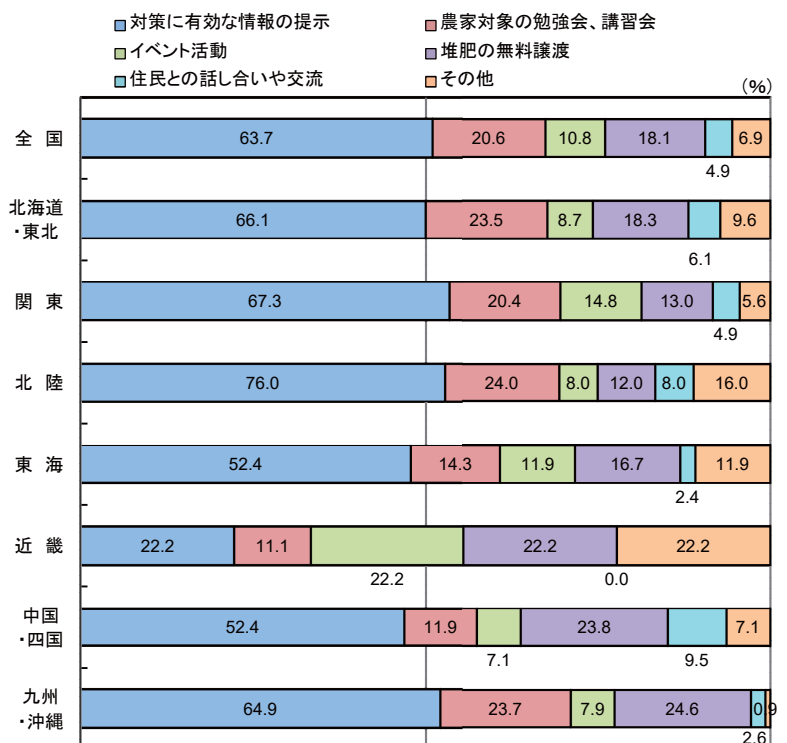
- ① 「どこの公的機関に相談して良いかわからなかったから」の割合が高いのは農事組合法人50.0%で、「アドバイスは必要ないと感じたから」の割合が高いのは農協直営100.0%で、「公的機関以外に相談しているから」の割合が高いのは個人経営22.6%である。

●公的機関へ期待する役割（地域別、複数回答、割合、★回答農場数=509）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
対策に有効な情報の提示	63.7	66.1	67.3	76.0	52.4	22.2	52.4	64.9
農家対象の勉強会、講習会	20.6	23.5	20.4	24.0	14.3	11.1	11.9	23.7
イベント活動	10.8	8.7	14.8	8.0	11.9	22.2	7.1	7.9
堆肥の無料譲渡	18.1	18.3	13.0	12.0	16.7	22.2	23.8	24.6
住民との話し合いや交流	4.9	6.1	4.9	8.0	2.4	0.0	9.5	2.6
その他	6.9	9.6	5.6	16.0	11.9	22.2	7.1	0.9
合 計	125.0	132.2	125.9	144.0	109.5	100.0	111.9	124.6
回答農場数	509	115	162	25	42	9	42	114

- ① 悪臭苦情の対策として公的機関に期待する役割については、「対策に有効な情報の提示」63.7%が最も割合が高く、次いで「農家対象の勉強会や講習会の開催」20.6%、「市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みづくり」18.1%と続いている。

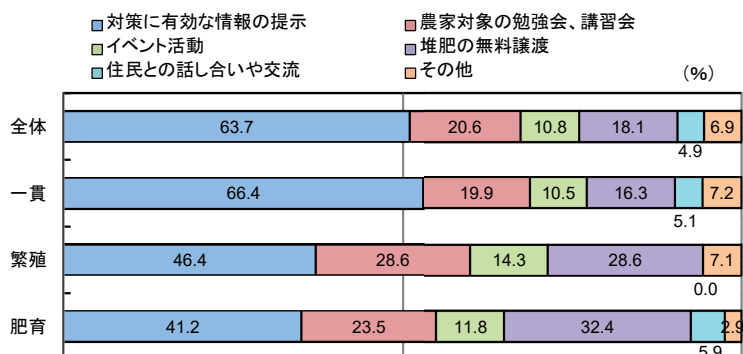
- ② 地域別に見ると、いずれの地域でも「対策に有効な情報の提示」の割合が最も高い。「農家対象の勉強会や講習会の開催」の割合が高いのは、九州・沖縄23.7%であり、「堆肥の無料譲渡の仕組みづくり」の割合が高いのは、中国・四国23.8%である。



公的機関へ期待する役割（経営タイプ別、割合、★回答農場数＝509）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
対策に有効な情報の提示	63.7	66.4	49.4	41.2
農家対象の勉強会、講習会	20.6	19.9	28.6	23.5
イベント活動	10.8	10.5	14.3	11.8
堆肥の無料譲渡	18.1	16.3	28.6	32.4
住民との話し合いや交流	4.9	5.1	0.0	5.9
その他	6.9	7.2	7.1	2.9
合 計	125.0	125.5	125.0	117.6
回答農場数	509	447	28	34

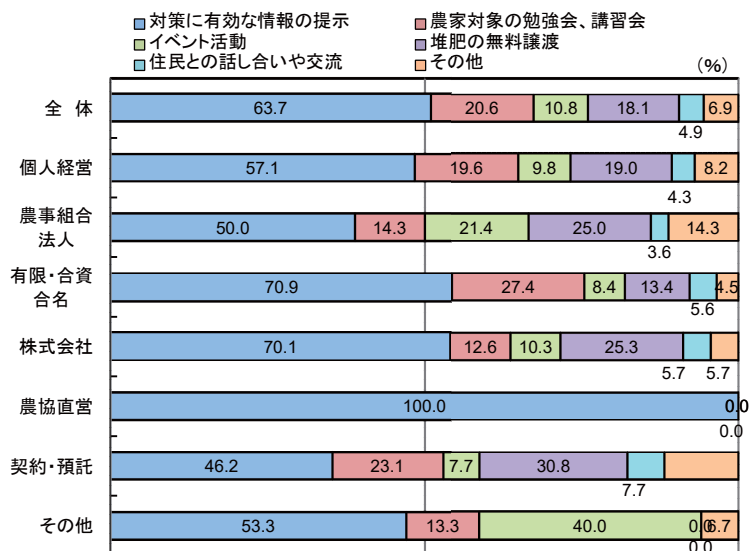
① いずれの経営タイプでも「対策に有効な情報の提示」の割合が最も高い。



●公的機関へ期待する役割（経営形態別、割合、★回答農場数＝509）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
対策に有効な情報の提示	63.7	57.1	50.0	70.9	70.1	100.0	46.2	53.3
農家対象の勉強会、講習会	20.6	19.6	14.3	27.4	12.6	0.0	23.1	13.3
イベント活動	10.8	9.8	21.4	8.4	10.3	0.0	7.7	40.0
堆肥の無料譲渡	18.1	19.0	25.0	13.4	25.3	0.0	30.8	0.0
住民との話し合いや交流	4.9	4.3	3.6	5.6	5.7	0.0	7.7	0.0
その他	6.9	8.2	14.3	4.5	5.7	0.0	15.4	6.7
合 計	125.0	117.9	128.6	130.2	129.9	100.0	130.8	113.3
回答農場数	509	184	28	179	87	3	13	15

① いずれの経営形態でも、「対策に有効な情報の提示」の割合が最も高い。「農家対象の勉強会や講習会の開催」の割合が高いのは有限会社、合資・合名会社27.4%であり、「堆肥の無料譲渡の仕組みづくり」の割合が高いのも契約農場・預託農場30.8%である。



(2) ふん尿の処理状況 (平成 26 年 1~12 月)

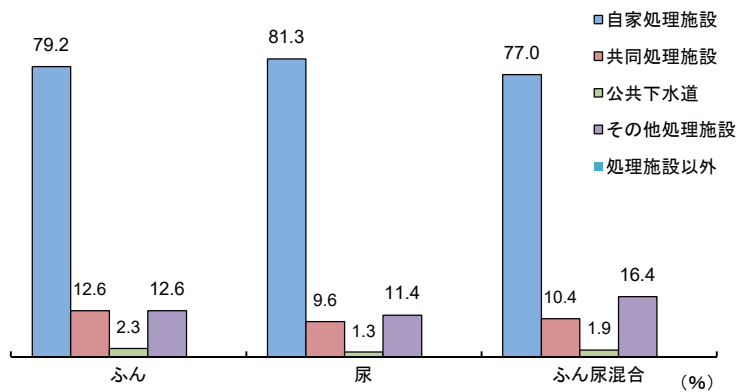
● 処理状況別のふん尿の処理量割合 (放牧した期間は除く) (全国、複数回答、回答農場数 845)

	回答割合			処理量割合 (平均値)		
	ふん	尿	ふん尿混合	ふん	尿	ふん尿混合
自家処理施設	87.2	84.4	79.7	95.4	98.9	98.3
共同処理施設※	12.3	8.3	8.5	78.3	88.2	88.0
公共下水道処理施設	0.3	1.5	3.4	75.0	95.0	89.6
その他の処理施設※※	1.7	1.4	1.1	72.9	80.6	100.0
処理施設以外	7.4	7.2	11.6	50.0	93.8	86.7
合計	108.8	102.7	104.2	—	—	—
回答農場数	702	666	354	—	—	—

※ 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう

※※ その他の処理施設とは、「個人の施設に処理を委託・譲渡した場合」をいう

① ふん尿の処理状況について回答のあった 845農場のうち、「ふん」、「尿」、「ふん尿混合」のいずれも「自家処理施設」を利用して処理している農場の割合が最も高く、「ふん」87.2%、「尿」84.4%、「ふん尿混合」79.7%である。次いで「ふん」「尿」は共同処理施設の割合が高く、「ふん尿混合」は処理施設以外の割合が高い。



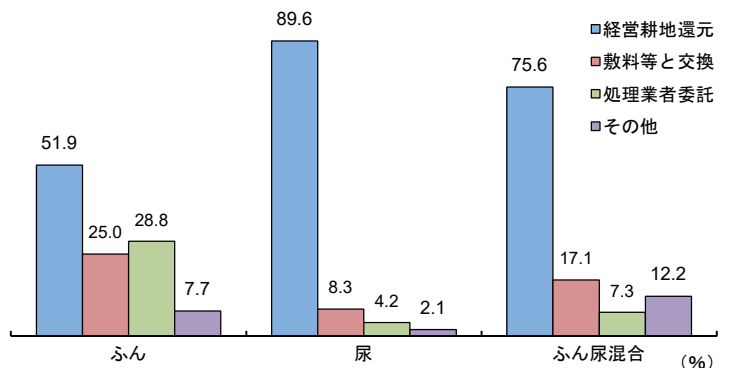
② 自家・共同・公共、処理施設以外とも、「尿」の処理量割合が最も高く、その他の処理施設以外は「ふん尿混合」の処理量割合が最も高い。

● 「処理施設以外」の内訳 (全国、複数回答)

	回答割合			処理量割合 (平均値)		
	ふん	尿	ふん尿混合	ふん	尿	ふん尿混合
経営耕地還元※	51.9	89.6	75.6	73.1	93.2	82.7
敷料等と交換	25.0	8.3	17.1	70.8	83.3	78.6
処理業者委託	28.8	4.2	7.3	73.3	75.0	53.3
その他	7.7	2.1	12.2	17.5	10.0	56.0
合計	113.5	104.2	112.2	—	—	—
回答農場数	52	48	41	—	—	—

※ 経営耕地還元とは、「生ふん尿を未処理で還元した場合」をいう

① 処理施設以外での処理方法の内訳を見ると、「ふん」、「尿」、「ふん尿混合」のいずれも、「経営耕地還元」を利用して処理している農場の割合が最も高い。



●処理状況別のふん尿の処理量割合（ふん処理方法の組み合わせ別、★回答農場数=701）

	回答		処理量割合（平均値）				
	農場数	%	自家処理施設	共同処理施設	公共下水道処理	その他	処理施設以外
自家処理施設	555	79.2	100.0	—	—	—	—
自家処理施設＋共同処理施設	36	5.1	47.4	52.6	—	—	—
自家処理施設＋共同処理施設＋その他	1	0.1	80.0	15.0	—	5.0	—
自家処理施設＋その他 処理施設以外	1	0.1	30.0	—	—	30.0	40.0
自家処理施設＋その他	3	0.4	43.3	—	—	56.7	—
自家処理施設＋ 処理施設以外	16	2.3	57.8	—	—	—	42.2
共同処理施設＋ 処理施設以外	1	0.1	—	80.0	—	—	20.0
共同処理施設＋	47	6.7	—	100.0	—	—	—
公共下水道処理＋	1	0.1	—	—	100.0	—	—
その他 処理施設以外	1	0.1	—	—	—	70.0	30.0
その他	6	0.9	—	—	—	100.0	—
処理施設以外	33	4.7	—	—	—	—	100.0
合 計	701	100.0	95.4	78.3	75.0	72.9	5.8

① 「ふん」について、単一の処理方法だけで処理している農場をみると、「自家処理施設」だけで処理している農場が555農場79.2%で最も割合が高い。「共同処理施設」が47農場6.7%、「処理施設以外」33農場4.7%、「その他の処理施設」6農場0.9%、「公共下水道処理」1農場0.1%となっている。

② 複数の処理方法を併用して処理している農場をみると、「自家処理施設＋共同処理施設」36農場5.1%、「自家処理施設＋処理施設以外」16農場2.3%などとなっている。処理方法で単一、複数を問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」612農場87.3%となっている。

●処理状況別のふん尿の処理量割合（尿処理方法の組み合わせ別、★回答農場数=666）

	回答		処理量割合（平均値）				
	農場数	%	自家処理施設	共同施設		その他	処理施設以外
自家処理施設	546	82.0	100.0	—	—	—	—
自家処理施設＋共同処理施設	10	1.5	56.5	43.5	—	—	—
自家処理施設＋共同処理施設＋その他	1	0.2	80.0	15.0	—	5.0	—
自家処理施設＋公共下水道施設	1	0.2	50.0	—	—	—	—
自家処理施設＋処理施設以外	4	0.6	70.0	—	—	—	30.0
共同処理施設＋	44	6.6	—	100.0	—	—	—
公共下水道施設	9	1.4	—	—	—	—	—
その他＋処理施設以外	1	0.2	—	—	—	20.0	80.0
その他	7	1.1	—	—	—	100.0	—
処理施設以外	43	6.5	—	—	—	—	100.0
合計	666	100.0	98.9	88.2	95.0	80.6	6.8

① 「尿」について、単一の処理方法だけで処理している農場をみると、「自家処理施設」だけで処理している農場が546農場82.0%で最も割合が高い。次いで「共同処理施設」だけが44農場6.6%で、「処理施設以外」だけが43農場6.5%で、「公共下水道処理」だけが9農場1.4%、「その他の処理施設」だけ7農場1.1%である。これら単一の処理方法だけで処理している農場が全体の97.4%を占めている。

② 複数の処理方法を併用して処理している農場では、「自家処理施設＋共同処理施設」10農場1.5%、次いで「自家処理施設＋処理施設以外」4農場0.6%と続いている。処理方法で単一、複数を問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」562農場84.4%となっている。

●処理状況別のふん尿の処理量割合（ふん尿混合処理法の組み合わせ別、★回答農場数＝354）

	回答		処理量割合（平均値）				
	農場数	%	自家処理施設	共同施設		その他	処理施設以外
自家処理施設	272	76.8	100.0	—	—	—	—
自家処理施設＋共同処理施設	6	1.7	43.3	56.7	—	—	—
自家処理施設＋処理施設以外	4	1.1	67.5	—	—	—	32.5
共同処理施設	21	5.9	—	100.0	—	—	—
共同処理施設＋公共下水道施設	1	0.3	—	50.0	50.0	—	—
共同処理施設＋処理施設以外	2	0.6	—	75.0	—	—	25.0
公共下水道施設＋処理施設以外	2	0.6	—	—	62.5	—	37.5
公共下水道施設	9	2.5	—	—	100.0	—	—
その他	4	1.1	—	—	—	100.0	—
処理施設以外	33	9.3	—	—	—	—	100.0
合計	354	100.0	98.3	88.0	89.6	100.0	10.0

① 「ふん尿混合」について、処理方法の組み合わせ別にみると、「自家処理施設」だけで処理している農場が272農場76.8%で最も割合が高い。次いで「処理施設以外」だけが33農場9.3%で、「共同処理施設」だけが21農場5.9%で、「その他の処理施設」だけ4農場1.1%である。これら単一の処理方法だけで処理している農場が全体の93.2%を占めている。

② 複数の処理方法を併用して処理している農場では、「自家処理施設＋共同処理施設」が6農場1.7%、「自家処理施設＋処理施設以外」4農場1.1%と続いている。処理方法で単一、複数を問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」282農場79.7%となっている。

「自家処理施設利用」処理方法の内訳（全国、複数回答）

	回答割合			処理量割合（平均値）		
	ふん	尿	ふん尿混合	ふん	尿	ふん尿混合
天日乾燥	4.2		5.3	85.2		80.6
火力乾燥	0.3		0.0	75.0		0.0
強制発酵※	60.9	14.6	25.3	95.4	92.5	82.2
堆積発酵※※	41.8		31.3	89.3		89.9
焼却	4.2			60.0		
浄化		68.9	34.9		99.2	90.2
貯留		7.2	3.3		89.3	100.0
その他	0.7	9.9	12.5	75.0	97.5	97.5
合計	112.1	100.7	112.5	—	—	—
回答農場数	594	594	304	—	—	—

※ 強制発酵とは、「開放型または密閉型の攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風装置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう

※※ 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながらか発酵させる場合」をいう

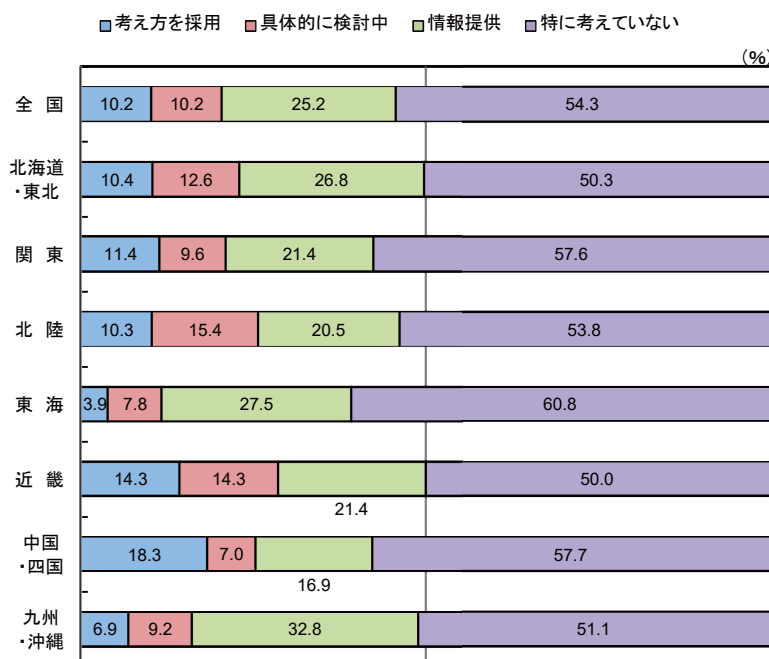
① 自家処理施設を利用している農場での処理方法では、「ふん」については、「強制発酵」で処理している農場の割合が60.9%で最も高く、次いで「堆積発酵」41.8%と続いている。「尿」については、「浄化」68.9%が最も高く、次いで「堆積発酵」14.6%と続いている。「ふん尿混合」については、「浄化」34.9%が最も高く、次いで「堆積発酵」31.3%と続いている。

●農場におけるアニマルウェルフェアの取組み（地域別、割合、★回答農場数=761）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
飼養管理に考え方を採用	10.2	10.4	11.4	10.3	3.9	14.3	18.3	6.9
具体的に検討中	10.2	12.6	9.6	15.4	7.8	14.3	7.0	9.2
十分理解していないので情報が欲しい	25.2	26.8	21.4	20.5	27.5	21.4	16.9	32.8
特に考えていない	54.3	50.3	57.6	53.8	60.8	50.0	57.7	51.1
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	761	183	229	39	51	14	71	174

① 農場におけるアニマルウェルフェアの取組みの状況については、「特に考えていない」54.3%が最も割合が高く、次いで「十分理解していないので情報が欲しい」25.2%となっている。「飼養管理に考え方を採用」、「具体的に検討中」がそれぞれ10.2%にとどまっている。

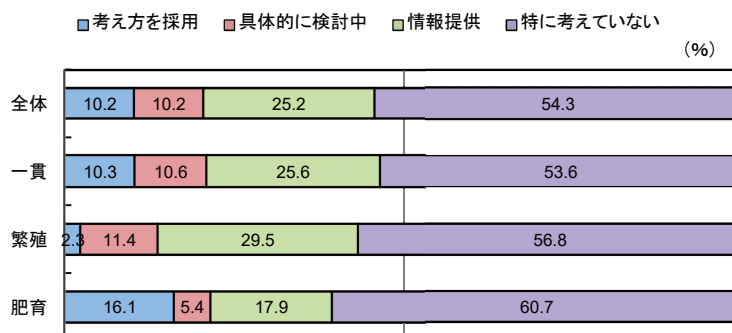
② 地域別に見ると、いずれの地域でも「特に考えていない」の割合が最も高い。「飼養管理に考え方を採用」の割合が高いのは、中国・四国の18.3%であり、「具体的に検討中」の割合が高いのは、北陸15.4%である。



●農場におけるアニマルウェルフェアの取組み（経営タイプ別、割合、★回答農場数=761）

	全 体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
飼養管理に考え方を採用	10.2	10.3	2.3	16.1
具体的に検討中	10.2	10.6	11.4	5.4
十分理解していないので情報が欲しい	25.2	25.6	29.5	17.9
特に考えていない	54.3	53.6	56.8	60.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	761	661	44	56

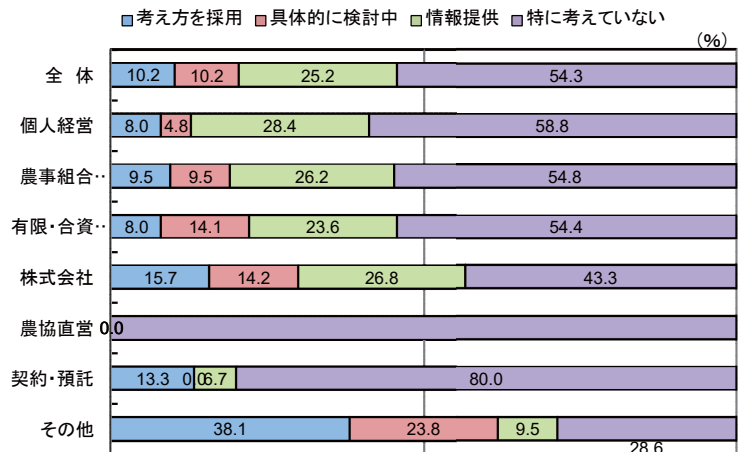
① いずれの経営タイプでも「特に考えていない」の割合が最も高い。「飼養管理の考え方を採用」の割合が高いのは肥育経営16.1%、「具体的に検討中」の割合が高いのは繁殖経営11.4%となっている。



●農場におけるアニマルウェルフェアの取組み（経営形態別、割合、★回答農場数=761）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
飼養管理に考え方を採用	10.2	8.0	9.5	8.0	15.7	0.0	13.3	38.1
具体的に検討中	10.2	4.8	9.5	14.1	14.2	0.0	0.0	23.8
十分理解していないので 情報が欲しい	25.2	28.4	26.2	23.6	26.8	0.0	6.7	9.5
特に考えていない	54.3	58.8	54.8	54.4	43.3	100.0	80.0	28.6
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	761	288	42	263	127	4	15	21

① 学校等のその他を除きいずれの経営形態でも、「特に考えていない」の割合が最も高い。「飼養管理に考え方を採用」、「具体的に検討中」の割合が高いのはその他を除き株式会社（それぞれ15.7%、14.2%）であり、「十分理解していないので情報が欲しい」の割合が高いのは個人経営28.4%である。



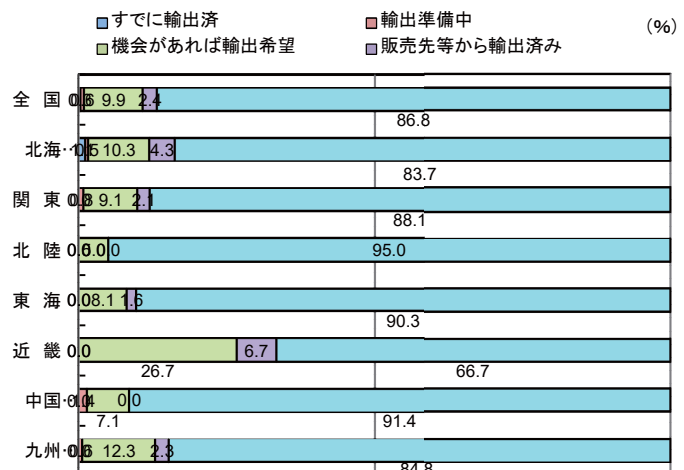
1 2 豚肉輸出

●生産している豚肉に係る海外輸出の取組み（地域別、割合、★回答農場数=785）

	全 国	北海道・東北	関 東	北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
すでに輸出済	0.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸出準備中	0.6	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	1.4	0.6
機会があれば輸出希望	9.9	10.3	9.1	5.0	8.1	26.7	7.1	12.3
販売先等から輸出済	2.4	4.3	2.1	0.0	1.6	6.7	0.0	2.3
特に考えていない	86.8	83.7	88.1	95.0	90.3	66.7	91.4	84.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	785	184	243	40	62	15	70	171

① 生産している豚肉に係る海外輸出取組について、「特に考えていない」が86.8%と大多数を占めているが、「すでに輸出済」0.3%（2農場）、「販売先等から輸出済」2.4%（19農場）、輸出準備中0.6%（5農場）ある。また、「機会があれば輸出希望」は9.9%ある。

② 地域別に見ると、いずれの地域でも「特に考えていない」の割合が最も高い。また、「機会があれば輸出希望」は近畿の26.7%が高い



前頁の記述内容

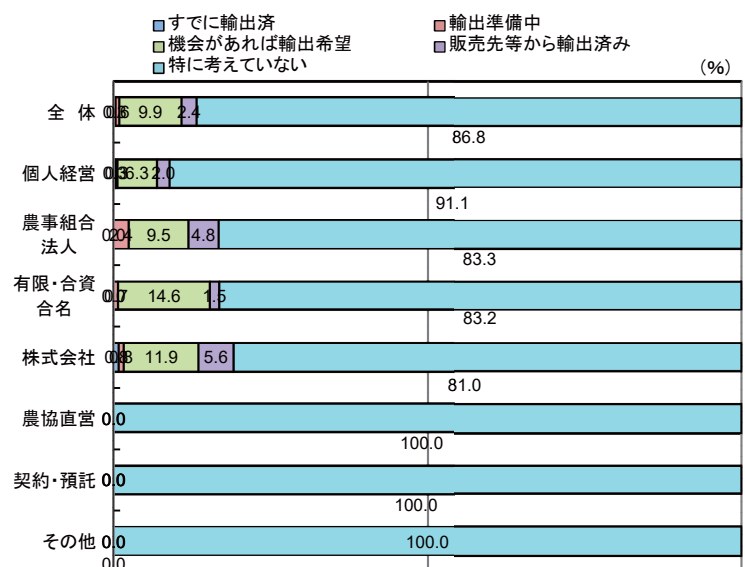
- 輸出済国 中国（1農場）
- 輸出準備中の内訳
自らの輸出ルートを構築（2農場）、農協系ルートを利用（2農場）、大手ハムメーカーを利用（1農場）
- 輸出希望の国
アジア、各国、東南アジア、シンガポール、台湾、香港、インドネシア、中国、マカオ
- 輸出したと聞いている国
中国（1農場）、香港（1農場）
- 課題
と畜場が輸出食肉検定がされていない（1農場）。

●生産している豚肉に係る海外輸出の取組み（経営形態別、割合、★回答農場数=785）

	全 体	個人経営	農事組合法人	有限会社 合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約農場 預託農場	その他
すでに輸出済	0.3	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
輸出準備中	0.6	0.3	2.4	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0
機会があれば輸出希望	9.9	6.3	9.5	14.6	11.9	0.0	0.0	0.0
販売先等から輸出済	2.4	2.0	4.8	1.5	5.6	0.0	0.0	0.0
特に考えていない	86.8	91.1	83.3	83.2	81.0	100.0	100.0	100.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答農場数	785	303	42	274	126	4	14	22

① いずれの経営形態でも、「特に考えていない」の割合が最も高い。「機会があれば輸出希望」は、有限会社・合資・合名会社が14.6%と最も高い。

② 「すでに輸出済」は、株式会社（1農場）、個人経営（1農場）である。「輸出準備中」は、個人経営（1農場）、農事組合法人（1農場）、有限会社（2農場）、株式会社（1農場）である。また、「販売先等から輸出済」は、個人経営（6農場）、農事組合法人（2農場）、有限会社（4農場）、株式会社（7農場）となっている。



集計表

15. 集計表
1. 全国集計

合計提出数	有効	無効	廃棄
1,281	885	7	389

農場責任者の年齢

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
29歳以下		4	0.5	26.3	29	22
30～39歳		89	10.1	35.6	39	30
40～49歳		130	14.7	44.5	49	40
50～59歳		206	23.3	55.1	59	50
60～69歳		302	34.1	64.0	69	60
70歳以上		60	9.0	75.0	69	70
不明		74	8.4			
合 計	885	885	100.0	56.4	89	22

性別

	回答農場数	回答数	割合 (%)
男		854	96.5
女		13	1.5
不明		18	2.0
合 計	885	885	100.0

II. 経営形態

	回答農場数	回答数	割合 (%)
1. 個人経営 (家族労働主体) (契約農場、預託農場を除く)		368	41.6
2. 農事組合法人の農場		44	5.0
3. 有限会社 (LLG法人を含む)		289	32.7
ア 有限会社〇〇養豚等	289	37	12.8
イ 有限会社〇〇〇養豚の△△農場等		37	12.8
4. 合資会社・合名会社		4	0.5
ア 合資会社・合名会社 〇〇養豚等	4	0	0.0
イ 合資会社・合名会社 〇〇〇養豚の△△農場等		0	0.0
5. 株式会社		135	15.3
ア 株式会社 〇〇養豚等	135	52	38.5
イ 株式会社 〇〇〇養豚の△△農場等		52	38.5
6. 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場		4	0.5
7. 会社、農協、民間養豚場等の契約農場・預託農場 (又は法人)		19	2.1
8		22	2.5
合 計	885	885	100.0

III. 経営タイプ

	回答農場数	回答数	割合 (%)	子取り用雌豚飼養頭数計	頭数割合
1 一貫経営		763	86.8	265,208	94.3
ア 一貫経営の繁殖農場	727	10	1.4	6,442	1,840
A 純粋種豚生産農場	97	10	10.3		2,698
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		14	14.4		2,168
C 子取り用雌豚生産農場		11	11.3		23,448
D 肉用子豚の生産農場		64	66.0		
イ 一貫経営の子豚育成農場		10	1.4	6,442	
ウ 一貫経営の肥育農場		71	9.8	10,670	
エ 一貫経営の一貫生産農場		572	78.7	213,960	
オ 一貫経営の豚人工授精所		7	1.0	3,861	
2 繁殖経営		53	6.0	15,892	5.7
ア 純粋種豚生産農場	55	5	9.1	252	
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		6	10.9	3,952	
ウ 子取り用雌豚生産農場		9	16.4	2,774	
エ 肉用子豚の生産農場		34	61.8	8,757	
オ 豚人工授精所		0	0.0	0	
3 肥育経営		68	7.7	0	0.0
合 計	879	884	100.6	281,100	100.0

IV. 養豚従事者数

	回答農場数	回答数	割合 (%)	従事者合計	従事者割合	平均値	最大値	最小値
1. 家族労働 (経営者本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	人	609	70.2	1,599	22.7	2.6	20	1
2. 常勤従業員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	人	502	57.8	4,968	70.7	9.9	200	1
3. 非常勤従業員 (必要な日、必要な時間で雇用)	人	87	10.0	183	2.7	2.2	40	1
4. その他 (豚肉加工・販売など担当)	人	32	3.7	271	3.9	8.5	45	1
合 計	868	1,230	141.7	7,031	100.0	8.1	200	1

V. 後継者 (○は1つだけ、1と2に○の場合は年齢を記入)

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
1 決まっている		263	30.3	—	—	—
後継者年齢	歳	257		34.0	59	7
2 対象者はいるが、現在は決っていない		145	16.7	—	—	—
対象者年齢	歳	134		27.5	60	2
3 自分の年齢が若いので考えていない		107	12.3	—	—	—
4 後継者はいない・考えていない		220	25.3	—	—	—
5 経営形態が後継者と関係がない (株式会社等)		134	15.4	—	—	—
合 計	869	869	100.0	—	—	—

VI. 飼養頭数 (平成27年8月1日現在)

1 子取り用雌豚 (育成豚を除く) 品種・品種組み合わせ別頭数

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	頭数割合	全頭数割合	平均値	最大値	最小値
純粋種		243	30.9	14,011	40.9	5.0	58	1,250	1
ランドレス/L	頭	170	21.6	7,572	22.1	2.7	45	937	1
大ヨークシャー/W	頭	8	1.0	70	0.2	0.0	9	20	2
中ヨークシャー/Y	頭	72	9.2	7,827	22.8	2.8	109	2,400	1
バーカー/B	頭	162	20.6	1,955	5.7	0.7	12	200	1
テウワ/D	頭	7	0.9	1,128	3.3	0.4	161	800	1
ハプター/H	頭	25	3.2	1,727	5.0	0.6	69	400	0
その他	頭								
小 計	398	687	87.4	34,290	100.0	12.2	86	2,400	1
交雑種		355	45.2	74,711	30.2	26.6	210	2,591	1
LW	頭	130	16.5	30,493	12.3	10.8	235	7,738	1
WL	頭	110	14.0	46,981	19.0	16.7	427	8,300	1
LW・WL何れか	頭	78	9.9	20,766	8.4	7.4	266	8,000	1
その他の組合せ	頭	140	17.8	74,039	30.0	26.3	529	4,800	1
海外ハイブリッド	頭								
小 計	679	813	103.4	246,990	100.0	87.8	364	8,906	1
合 計	786	1,500	190.8	281,280	—	100.0	358	10,105	1
子取り用雌豚数別		68	8.7	623	—	0.2	9	19	1
1～19頭		83	10.6	2,701	—	1.0	33	48	20
20～49頭		158	20.1	11,454	—	4.1	72	99	50
50～99頭		145	18.4	19,981	—	7.1	138	199	100
100～199頭		190	24.2	57,248	—	20.4	301	488	200
200～499頭		78	9.9	51,288	—	18.2	658	976	500
500～999頭		64	8.1	623	—	0.2	2,156	10,105	1,000
1,000頭以上					—				
合 計	786	786	100.0	281,280	—	100.0	391	10,105	0

2 み利用中の種雄豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	頭数割合	全頭数割合	平均値	最大値	最小値
純粋種	ランドレース/L	頭	150	23.3	564	6.3	5.1	4	35
	ランドレース/H	頭	192	29.9	646	7.2	5.8	3	45
	中ヨークシャー/Y	頭	5	0.8	37	0.4	0.3	7	17
	ヨークシャー/B	頭	79	12.3	855	9.5	7.7	11	150
	デュロック/D	頭	556	86.5	6,636	73.6	59.6	12	223
	ハンツシャー/H	頭	5	0.8	32	0.4	0.3	6	20
	その他	頭	22	3.4	241	2.7	2.2	11	50
	小計	643	1,009	156.9	9,011	100.0	80.9	14	350
交雑種	HD	頭	4	2.7	27	1.3	0.2	7	8
	DH	頭	1	0.7	2	0.1	0.0	2	2
	BD	頭	3	2.0	103	4.8	0.9	34	100
	DB	頭	6	4.0	21	1.0	0.2	4	10
	その他の組合せ	頭	32	21.3	389	18.2	3.5	12	90
	海外ハイブリッド	頭	107	71.3	1,590	74.6	14.3	15	100
	小計	150	153	102.0	2,132	100.0	19.1	14	100
合計	748	1,162	155.3	11,143	-	100.0	15	350	

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
3 育成豚（繁殖利用予定で未交配（雌、雄）のもの）	頭	589	-	59,043	100	11,391	1
4 子豚（子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの）	頭	601	-	1,269,159	2,112	80,000	3
5 肥育豚（肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの）	頭	607	-	1,608,073	2,649	60,000	3
合計	-	843	-	3,217,673	3,817	123,900	1

Ⅶ. 出荷頭数等（平成26年1～12月の総頭数）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
1 年間肉豚出荷頭数	頭	803	-	5,996,578	7,467.7	199,932	1
2 繁殖豚（雄、雌）年間廃用頭数	頭	675	-	109,934	162.9	5,200	1
3 年間肉用子豚出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	頭	174	-	1,223,703	7,032.8	133,560	1
4 種豚候補豚（純粋・F1等）の出荷（同一経営の農場間移動含む）頭数	頭	135	-	77,647	575.2	6,200	1
合計	846	-	-	-	-	-	-
年間肉豚出荷頭数規模別	1～399頭	98	12.2	14,990	153.0	396	2
	400～999頭	83	10.3	56,705	683.2	994	400
	1,000～1,999頭	146	18.2	207,974	1,424.5	1,950	1,000
	2,000～3,999頭	153	19.1	422,836	2,763.6	3,849	2,000
	4,000～9,999頭	181	22.5	1,138,042	6,287.5	9,920	4,000
	10,000～19,999頭	73	9.1	977,338	13,388.2	19,831	10,000
	20,000頭以上	69	8.6	3,178,693	46,068.0	199,932	20,000
	合計	803	803	100.0	5,996,578	7,467.7	199,932

Ⅶ. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量（平成26年1～12月の平均）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
1 肉豚出荷日齢平均（生後日齢）	日齢	741	-	184.7	330.0	60.0
2 肉豚出荷生体重平均	kg	696	-	114.1	175.0	11.0
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	kg	749	-	74.8	98.0	50.0
1日平均増体重（出荷体重÷出荷日齢）	kg/日	778	-	0.63	1.26	0.06
合計	679	-	-	-	-	-

Ⅸ. 繁殖・肥育等の成績

1 繁殖成績（平成26年1～12月の平均）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア 1腹当たり（1分娩当たり）平均哺乳開始頭数	頭	729	98.8	11.0	15.0	5.8
イ 1腹当たり（1分娩当たり）平均離乳頭数	頭	703	95.3	10.0	15.0	5.4
ウ 平均育成率（イ÷ア×100）	%	662	89.7	89.9	100.0	8.0
エ 平均受胎率（受胎頭数÷種付頭数×100）	%	541	73.3	88.3	100.0	35.7
オ 平均分娩率（分娩頭数÷種付頭数×100）	%	612	82.9	86.0	100.0	32.3
カ 母豚の年間平均分娩回数（年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数）	回	661	89.6	2.2	3.2	0.7
合計	738	738	100.0	-	-	-

2 年間肉豚出荷頭数の格付割合

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア 格付している割合		661	581	95.7	97.7	100.0
A 日格協の格付（年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100）	%	661	581	87.9	92.5	100.0
B 自主格付（年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100）	%	-	149	22.5	74.7	100.0
イ 格付していない（生体出荷）割合（年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100）	%	81	11.7	56.0	100.0	0.1
合計	691	742	107.4	-	-	-

3 「上」物率

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
格付している肉豚の上物率（年間「極上」+「上」頭数）÷年間出荷頭数×100	%	663	-	54.3	100.0	1.0

4 農場飼料要求率（平成26年）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
期間飼料消費量÷期間増体重	%	408	-	3.3	5.8	0.7

5 事故率（平成26年1～12月の平均）

子豚舎・子豚豚房の事故率（期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組み入れまで）	%	607	-	4.8	40.0	0.1
A 前年より良くなった		161	24.7	4.0	25.4	0.1
B 前年と変わらない		353	54.1	4.0	31.5	0.1
C 前年より悪くなった		139	21.3	7.3	40.0	0.5
合計	653	653	100.0	4.8	40.0	0.1
事故率階級別	～1%未満	49	8.1	0.5	0.9	0.1
	1～4%	346	57.0	2.6	4.9	1.0
	5～9%	133	21.9	6.2	9.9	5.0
	10～14%	45	7.4	10.7	14.8	10.0
	15～19%	15	2.5	15.8	19.8	15.0
	20～24%	12	2.0	21.5	24.6	20.0
	25～29%	2	0.3	25.7	26.0	25.4
	30～34%	4	0.7	30.4	31.5	30.0
	35～39%	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40%以上	1	0.2	40.0	40.0	40.0
	合計	607	607	100.0	4.8	40.0

肥育舎・肥育豚房の事故率（期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100）

	回答農場数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組み入れから出荷時まで）	%	588		3.8	60.0	0.0
A 前年より良くなった		158	24.2	2.9	10.5	0.1
B 前年と変わらない		390	59.7	3.2	15.0	0.0
C 前年より悪くなった		127	19.4	5.9	60.0	0.8
合 計	675	675	100.0	3.7	60.0	0.0
事故率階級別	～1%未満	56	9.5	0.4	0.9	0.0
	1～4%	372	63.3	2.5	4.8	1.0
	5～9%	126	21.4	6.3	9.9	5.0
	10～14%	29	4.9	11.0	14.6	10.0
	15～19%	3	0.5	16.1	18.3	15.0
	20～24%	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25～29%	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34%	1	0.2	30.0	30.0	30.0
	35～39%	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40%以上	1	0.2	60.0	60.0	60.0
合 計	588	588	100.0	3.7	60.0	0.0

子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率（100-（（100-子豚事故率）×（100-イ肥育事故率）÷100）

	回答農場数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
★ 通算算出	%	655		7.6	76.0	0.1
～1%未満		30	4.6	0.5	1.0	0.1
1～4%		225	34.4	3.4	5.0	1.0
5～9%		263	40.2	7.0	10.0	5.0
10～14%		71	10.8	12.2	14.9	10.0
15～19%		36	5.5	17.3	20.0	15.0
20～24%		14	2.1	22.4	24.8	20.4
25～29%		7	1.1	27.3	28.4	25.3
30～34%		4	0.6	31.3	32.2	30.0
35～39%		3	0.5	35.4	35.6	35.0
40%以上		2	0.3	63.5	76.0	51.0
合 計	655	655	100.0	7.6	76.0	0.1

X. 交配方法

1 発情期の基本交配（授精）回数（○は1つだけ）

	回答農場数	回答数	割合（％）
ア 1回		28	3.5
イ 2回～3回		750	93.9
ウ 4回以上		7	0.9
エ 不明		14	1.8
合 計	799	799	100.0

2 交配方法（○は1つだけ）

	回答農場数	回答数	割合（％）
ア 自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）		241	30.4
イ 自然交配を主とし、人工授精を従としている		239	30.2
ウ 人工授精を主とし、自然交配を従としている		140	17.7
エ 人工授精のみ		172	21.7
合 計	792	792	100.0
自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）		241	30.4
人工授精を行っている（人工授精のみ、自然交配と併用）		551	69.6
合 計	792	792	100.0

3 交配方法の対象雌豚割合

	回答農場数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
ア 自然交配のみで交配している雌豚	%	422	55.3	78.2	100.0	0.1
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚	%	310	40.6	59.3	100.0	0.1
ウ 人工授精のみで交配している雌豚	%	369	48.4	67.6	100.0	0.2
合 計	763	1,101	144.3	—	—	—

4 人工授精を実施している方（前頁の2でイ、ウと回答した方）

ア 精液の入手方法について（○は1つだけ）

	回答農場数	回答数	割合（％）
A 全て自家産（同一経営の別農場も含む）		162	29.4
B 全て外部（都道府県試験場、民間人工授精所等）から導入		315	57.2
C 自家産と外部導入の併用		74	13.4
合 計	551	551	100.0

イ 生産、導入本数とボトルの容量

	回答農場数	回答数	数値合計	平均値	最大値	最小値
A 年間自家生産本数	本	185	986,895	5,334.6	92,000	2
1本の容量	cc	185	—	90.0	1,000	10
B 年間外部導入本数	本	304	407,321	1,339.9	58,000	2
1本の容量	cc	251	—	82.2	700	10
合 計	451	—	—	—	—	—

5 人工授精の今後の意向を伺います（アからオの中から1つだけ○）

	回答農場数	回答数	割合（％）
ア 人工授精を今後も実施する（A～C ○は1つ）		536	79.5
A 人工授精の割合を増やしたい		144	26.9
B 人工授精の割合を維持したい		385	71.8
C 人工授精の割合を縮小したい		7	1.3
イ 人工授精を止めたい		3	0.4
ウ 人工授精を直ぐに導入する予定（導入したい）		5	0.7
エ 人工授精の導入を今後検討してみたい		53	7.9
オ 今後も人工授精の導入は考えていない		77	11.4
合 計	674	674	100.0

X I. 経営の推移と今後の意向

1 飼養頭数の推移

ア 前年8月1日と比較して

繁殖豚頭数	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
A 増やした	頭増	83	10.7	6,621	82.8	1,000	1
B 変更していない		582	74.9	—	—	—	—
C 減らした	頭減	112	14.4	4,219	40.2	700	1
合 計	777	777	100.0	—	—	—	—

肥育豚頭数	回答農場数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
A 増やした	頭増	87	11.6	60,593	1,195.8	19,900	2
B 変更していない		576	76.9	—	—	—	—
C 減らした	頭減	86	11.5	32,891	421.7	3,000	7
合 計	749	749	100.0	—	—	—	—

イ 頭数を増やした理由は (○は2つ以内)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A 計画していた豚舎が完成したので増頭した		32	29.1
B 後継者が経営に参加したので増頭した		10	9.1
C 1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した		19	17.3
D 委託、預託の農場を増やした		3	2.7
E 出荷元から増頭の要請があった		16	14.5
F 養豚生産者が減少しているため特養飼料をそろえるので増頭した		6	5.5
G 事情により生産を縮小していたのを元に戻した		14	12.7
H その他		30	27.3
合 計	110	130	118.2

ウ 減らした理由は (○は2つ以内)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A 疾病対策で豚を入れ替えるため		16	13.6
B 生産資材 (飼料、光熱水料、薬品費等) の高騰で儲からないから		10	8.5
C 高齢化で労働が厳しくなったから		28	23.7
D 労働力が確保できなくなったから		7	5.9
E 委託、預託農場となるため		0	0.0
F 廃業するため		9	7.6
G 飼養システム・経営形態の変更		14	11.9
H 環境対策		12	10.2
I その他		51	43.2
合 計	118	147	124.6

2 養豚経営の今後の意向 (アからウの中から○は1つだけ)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 経営を拡大する (A~C ○は1つ)		242	28.5
A 今年中に規模拡大する計画がある	242	33	13.6
B 3年以内に規模拡大する計画がある		74	30.6
C 今後規模拡大を検討したい		135	55.8
イ 現状維持		514	60.5
ウ 経営を縮小 (A~E ○は1つ)		93	11.0
A 今年中に縮小する計画がある	93	6	6.5
B 3年以内に縮小する計画がある		16	17.2
C 今後縮小を検討したい		31	33.3
D 今年中に廃業する計画がある		3	3.2
E 近く廃業したいと考えている (a~f ○は1つ)		37	39.8
a 後継者がいないため	39	17	43.6
b 労働力が確保できないため		3	7.7
c 環境問題のため		3	7.7
d 負債があるため		1	2.6
e 生産資材 (飼料等) の高騰で儲からないから		7	17.9
f その他		8	20.5
合 計	849	849	100.0

X II. 給与飼料

1 現在使用している飼料について (アからエの中から○はいくつでも)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 市販配合飼料※1		792	92.2
イ 自家配合飼料※2		91	10.6
ウ 食品残さ等リサイクル飼料※3		172	20.0
エ 飼料米※4		74	8.6
合 計	859	1,129	131.4

※1 配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む

※2 単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの

※3 食品製造粕、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液化 (リキッド) 等の処理により飼料化したもの。なお、市販飼料に含まれているものを使用している場合を除く

※4 市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く

X III. 衛生レベル、現在、取り組んでいる防疫対策について

1 農場における人の入退場について (アからクの中から○はいくつでも)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 衛生管理地域であることをしめす看板等の設置		686	79.4
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施		209	24.2
ウ 農場専用の衣服への交換		538	62.3
エ 農場専用の履物への交換		682	78.9
オ 豚舎専用の衣服への交換		274	31.7
カ 豚舎専用の履物への交換		445	51.5
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置		624	72.2
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置		651	75.3
ケ 来場者名簿の設置		469	54.3
コ 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限		414	47.9
サ 何も対策していない		12	1.4
合 計	864	5,004	579.2

2 豚の導入時の対応について (○は1つだけ)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している		66	7.9
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している		241	28.8
ウ 豚舎内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している		174	20.8
エ 隔離検査は特に実施していない		283	33.9
オ 外部からの生体導入は一切していない		72	8.6
合 計	836	764	91.4

3 農場内への資材 (農場内で使用する器具・機材等) の搬入時の対応について (○は1つだけ)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している		99	11.8
イ 消毒をしてから搬入している		250	29.8
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している		197	23.5
エ 特別な対策はせずに直接搬入している		293	34.9
合 計	839	839	100.0

4 車輛の入場者の対応について

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 外車車輛の消毒を実施している		584	69.6
イ 出回トラックの消毒を実施している		659	78.5
ウ 消毒ゲートを設置している		189	22.5
エ 動力噴霧器を設置している		612	72.9
オ 石灰帯を設置している		606	72.2
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している		174	20.7
合 計	845	2,824	336.6

5 野生動物の侵入防止策について (アからエの中から○はいくつでも)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している		516	61.1
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している		169	20.0
ウ 豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕も実施している		474	56.1
エ 水まき駆除等を実施している		627	74.2
オ 特別な対策はしていない		88	10.4
カ その他の対策		19	2.2
合 計	845	1,874	221.8

XIV. 環境対策

1 畜産関係の悪臭苦情の対応について

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか (A、Bのどちらかに○)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A ある (a~c ○は1つ)		169	20.4
a 近隣の住民より直接	830	69	8.3
b 県・市・町・村の公的機関を通して		94	11.3
c その他		6	0.7
B ない		661	79.6
合 計	830	830	100.0

イ (前頁1のAでAと回答した方) 苦情を減らすための方法を公的機関に相談しましたか (A、Bのどちらかに○)

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A 相談した (a~f ○は1つ)		110	53.9
a アドバイスを試したところ、有効であった	98	35	35.7
b アドバイスを試したが、有効でなかった		13	13.3
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない		36	36.7
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから		3	3.1
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから		3	3.1
f まだアドバイスを受けていない		7	7.1
B 相談しなかった (a~d ○は1つ)		94	46.1
a どの公的機関に相談しても良いかわからなかったから	70	8	11.4
b アドバイスは必要ないと感じたから		31	44.3
c 公的機関以外に相談しているから		13	18.6
d その他		18	25.7
合 計	204	204	100.0

ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後どのような役割を期待しますか

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい		324	63.7
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい		105	20.6
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい		55	10.8
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい		92	18.1
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい		25	4.9
F その他		35	6.9
合 計	509	636	125.0

2 ふん尿の処理状況（平成26年1～12月）

ア 自家で飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入して下さい（放り全体の場合の回答農場数）

① ふん	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	612	87.2	95.4	100	10
B 共同処理施設	%	86	12.3	78.3	100	10
C 公共下水道	%	2	0.3	75.0	100	50
D その他の処理施設	%	12	1.7	72.9	100	5
E 処理施設以外	%	52	7.4	113.5	100	5
a 経営耕地還元	%	27	51.9	73.1	100	10
b 敷料等と交換	%	13	25.0	70.8	100	20
c 処理業者委託	%	15	28.8	73.3	100	5
d その他	%	4	7.7	17.5	30	10
合 計	702	764	108.8	—	—	—

② 尿	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	562	84.4	98.9	100	10
B 共同処理施設※1	%	55	8.3	88.2	100	5
C 公共下水道	%	10	1.5	95.0	100	0
D その他の処理施設※2	%	9	1.4	80.6	100	0
E 処理施設以外	%	48	7.2	104.2	100	10
a 経営耕地還元※3	%	43	89.6	93.2	100	10
b 敷料等と交換	%	4	8.3	83.3	100	33
c 処理業者委託	%	2	4.2	75.0	100	50
d その他	%	1	2.1	10.0	10	10
合 計	666	684	102.7	—	—	—

③ ふん尿混合	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	282	79.7	98.3	100	10
B 共同処理施設※1	%	30	8.5	89.0	100	30
C 公共下水道	%	12	3.4	89.6	100	30
D その他の処理施設※2	%	4	1.1	100.0	100	100
E 処理施設以外	%	41	11.6	112.2	100	5
a 経営耕地還元※3	%	31	75.6	82.7	100	10
b 敷料等と交換	%	7	17.1	78.6	100	20
c 処理業者委託	%	3	7.3	53.3	80	30
d その他	%	5	12.2	56.0	100	10
合 計	354	369	104.2	—	—	—

※1 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう

※2 その他の処理施設とは、「個人の施設に処理を委託・譲渡した場合」をいう

※3 経営耕地還元とは、「生ふん尿を未処理で還元した場合」をいう

イ（前頁2のAで自家処理施設を利用していると回答した方）処理方法の割合を記入して下さい

① ふん	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	25	4.2	85.2	100	10
B 火力乾燥	%	2	0.3	75.0	100	50
C 強制発酵※1	%	362	60.9	95.4	100	20
D 堆積発酵※2	%	248	41.8	89.3	100	5
E 焼却	%	25	4.2	80.0	100	20
F 浄化	%	—	—	—	—	—
G 貯留	%	—	—	—	—	—
H その他	%	4	0.7	75.0	100	20
合 計	594	666	112.1	—	—	—

② 尿	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	—	—	—	—	—
B 火力乾燥	%	—	—	—	—	—
C 強制発酵※1	%	87	14.6	92.5	100	5
D 堆積発酵※2	%	—	—	—	—	—
E 焼却	%	—	—	—	—	—
F 浄化	%	409	68.9	99.2	100	10
G 貯留	%	43	7.2	89.3	100	40
H その他	%	59	9.9	97.5	100	50
合 計	594	598	100.7	—	—	—

③ ふん尿混合	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	16	5.3	80.6	100	20
B 火力乾燥	%	0	0.0	—	0	0
C 強制発酵※1	%	77	25.3	82.2	100	20
D 堆積発酵※2	%	95	31.3	89.9	100	10
E 焼却	%	—	—	—	—	—
F 浄化	%	106	34.9	90.2	100	30
G 貯留	%	10	3.3	100.0	100	100
H その他	%	38	12.5	97.5	100	20
合 計	304	342	112.5	—	—	—

※1 強制発酵とは、「開放型または密閉型の攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風装置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう

※2 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながらか発酵させる場合」をいう

3 農場におけるアニマルウェルフェアの取り組みについて

	回答農場数	回答数	割合 (%)
A 飼育管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている		78	10.2
B アニマルウェルフェアについて具体的に検討中		78	10.2
C アニマルウェルフェアについて十分理解していないので情報が欲しい		192	25.2
D 特に考えていない		413	54.3
合 計	761	761	100.0

XV 豚肉輸出

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取り組みについて

	回答農場数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A すでに輸出している		2	0.3			
輸出量 (t)		0	0.0			
B 輸出に向けて準備中	5	5	0.6			
a 自ら輸出ルート構築（または構築予定）		2	0.3			
b 農協ルートを利用（または利用予定）		2	0.3			
c 大手ハムメーカーを利用（または利用予定）		1	0.1			
d 飼料メーカールートを利用（または利用予定）		0	0.0			
C 機会があれば輸出したい		78	9.9			
D 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたか聞いている		19	2.4			
E 特に考えていない		681	86.8			
合 計	785	785	96.2			

2. ブロック別・子取り用雌豚頭数規模別・年間肉豚出荷頭数規模別・

ブロック別	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	885	100.0		203	22.9		267	30.2	
子取り用雌豚頭数規模別	全 体			1～19頭			20～49頭		
	回答数	786		68		83			
	%	100.0		8.7		10.6			
年間肉豚出荷頭数規模別	全 体			1～399頭			400～999頭		
	回答数	803		98		83			
	%	100.0		12.2		10.3			
経営タイプ別	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	884		763		53			
	%	100.0		86.3		6.0			
経営形態別	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	885		368		44			
	%	100.0		41.6		5.0			
農場責任者年齢別	全 体			29歳以下			30～39歳		
	回答数	811		4		89			
	%	100.0		0.5		11.0			

農場責任者の年齢

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
29歳以下	4	0.5	26.3	1	0.5	27.0	2	0.7	24.5
30～39歳	89	10.1	35.6	17	8.4	35.4	27	10.1	35.6
40～49歳	130	14.7	44.5	34	16.7	44.5	39	14.6	43.5
50～59歳	206	23.3	55.1	55	27.1	54.5	61	22.8	55.4
60～69歳	302	34.1	64.0	63	31.0	64.0	95	35.6	64.0
70歳以上	80	9.0	75.0	17	8.4	75.4	22	8.2	75.1
不明	74	8.4	—	16	7.9	—	21	7.9	—
合 計	885	100.0	56.4	203	100.0	55.9	267	100.0	56.2
回答農場数	885	—	—	203	—	—	267	—	—

性別

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
男	854	96.5	—	201	99.0	—	263	98.5	—
女	13	1.5	—	2	1.0	—	2	0.7	—
不明	18	2.0	—	0	0.0	—	2	0.7	—
合 計	885	100.0	—	203	100.0	—	267	100.0	—
回答農場数	885	—	—	203	—	—	267	—	—

II. 経営形態

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
1 個人経営（家族労働主体）（契約農場、預託農場を除く）	368	41.6	—	76	37.4	—	111	41.6	—
2 農事組合法人の農場	44	5.0	—	8	3.9	—	11	4.1	—
3 有限会社（LLC法人を含む）	289	32.7	—	62	30.5	—	103	38.6	—
ア 有限会社〇〇 養豚等	250	86.5	—	55	88.7	—	84	81.6	—
イ 有限会社□□養豚の△△農場等	37	12.8	—	6	9.7	—	19	18.4	—
4 合資会社・合名会社	4	0.5	—	0	0.0	—	1	0.4	—
ア 合資会社・合名会社 〇〇養豚等	4	100.0	—	0	0.0	—	1	100.0	—
イ 合資会社・合名会社 □□養豚の△△農場等	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
5 株式会社	135	15.3	—	48	23.6	—	29	10.9	—
ア 株式会社 〇〇養豚等	83	61.5	—	26	54.2	—	21	72.4	—
イ 株式会社 □□養豚の△△農場等	52	38.5	—	22	45.8	—	8	27.6	—
6 農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場	4	0.5	—	3	1.5	—	1	0.4	—
7 会社、農協、民間養豚場等の契約農場・預託農場（H又は法人）	19	2.1	—	2	1.0	—	5	1.9	—
8 その他（都道府県、公益法人、学校法人等上記1から7以外）	22	2.5	—	4	2.0	—	6	2.2	—
合 計	885	100.0	—	203	100.0	—	267	100.0	—
回答農場数	885	—	—	203	—	—	267	—	—

III. 経営タイプ

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
1 一貫経営	763	86.3	265,208	173	85.6	68,885	236	88.4	73,458
ア 一貫経営の繁殖農場	94	12.3	28,243	20	11.6	7,141	32	13.6	12,478
A 純粋種豚生産農場	10	10.6	1,840	2	10.0	327	4	12.5	1,226
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	14	14.9	2,698	4	20.0	1,110	6	18.8	437
C 子取り用雌豚生産農場	11	11.7	2,168	3	15.0	632	3	9.4	1,079
D 肉用子豚の生産農場	64	68.1	23,448	13	65.0	5,428	23	71.9	10,234
イ 一貫経営の子豚育成農場	10	1.3	6,442	0	0.0	0	3	1.3	457
ウ 一貫経営の肥育農場	71	9.3	10,670	10	5.8	2,641	16	6.8	2,858
エ 一貫経営の一貫生産農場	572	75.0	213,960	139	80.3	55,403	182	77.1	58,066
オ 一貫経営の豚人工授精所	7	0.9	3,861	3	1.7	3,366	1	0.4	175
2 繁殖経営	53	6.0	15,892	16	7.9	8,024	13	4.9	2,127
ア 純粋種豚生産農場	5	9.4	252	2	12.5	205	2	15.4	32
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	6	11.3	3,952	4	25.0	3,309	2	15.4	643
ウ 子取り用雌豚生産農場	9	17.0	2,774	3	18.8	244	2	15.4	1,056
エ 肉用子豚の生産農場	34	64.2	8,757	7	43.8	4,266	8	61.5	656
オ 豚人工授精所	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
3 肥育経営	68	7.7	0	13	6.4	0	18	6.7	0
合 計	884	100.0	281,100	202	100.0	76,909	267	100.0	75,585
回答農場数	884	—	—	202	—	—	267	—	—

経営タイプ別・経営形態別・農場責任者年代別

北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
42	65	19	78	211
4.7	7.3	2.1	8.8	23.8

50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
158	145	190	78	64
20.1	18.4	24.2	9.9	8.1

1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
146	153	181	73	69
18.2	19.1	22.5	9.1	8.6

肥育経営
68
7.7

有限・合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約・預託農場	その他
293	135	4	19	22
33.1	15.3	0.5	2.1	2.5

40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
130	206	302	72	8
16.0	25.4	37.2	8.9	1.0

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.3	29.0	0	0.0	—
5	11.9	33.6	5	7.7	36.0	3	15.8	38.0	12	15.4	36.1	20	9.5	35.7
3	7.1	48.0	14	21.5	46.4	0	0.0	—	7	9.0	43.0	33	15.6	44.8
9	21.4	54.3	18	27.7	55.2	3	15.8	56.3	20	25.6	54.6	40	19.0	55.5
16	38.1	63.6	24	36.9	63.1	9	47.4	64.9	22	28.2	64.5	73	34.6	63.9
5	11.9	76.4	2	3.1	72.0	3	15.8	75.7	8	10.3	73.0	23	10.9	75.1
4	9.5	—	2	3.1	—	1	5.3	—	8	10.3	—	22	10.4	—
42	100.0	57.9	65	100.0	55.3	19	100.0	60.8	78	100.0	55.1	211	100.0	57.2
42	—	—	65	—	—	19	—	—	78	—	—	211	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
42	100.0	—	64	98.5	—	17	89.5	—	71	91.0	—	196	92.9	—
0	0.0	—	0	0.0	—	1	5.3	—	2	2.6	—	6	2.8	—
0	0.0	—	1	1.5	—	1	5.3	—	5	6.4	—	9	4.3	—
42	100.0	—	65	100.0	—	19	100.0	—	78	100.0	—	211	100.0	—
42	—	—	65	—	—	19	—	—	78	—	—	211	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
21	50.0	—	35	53.8	—	12	63.2	—	22	28.2	—	91	43.1	—
2	4.8	—	2	3.1	—	0	0.0	—	13	16.7	—	8	3.8	—
17	40.5	—	23	35.4	—	2	10.5	—	20	25.6	—	62	29.4	—
16	94.1	—	18	78.3	—	2	100.0	—	19	95.0	—	56	90.3	—
1	5.9	—	5	21.7	—	0	0.0	—	1	5.0	—	5	8.1	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.3	—	2	0.9	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	100.0	—	2	100.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
2	4.8	—	3	4.6	—	3	15.8	—	16	20.5	—	34	16.1	—
0	0.0	—	3	100.0	—	1	33.3	—	10	62.5	—	22	64.7	—
2	100.0	—	0	0.0	—	2	66.7	—	6	37.5	—	12	35.3	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	1	1.5	—	0	0.0	—	1	1.3	—	10	4.7	—
0	0.0	—	1	1.5	—	2	10.5	—	5	6.4	—	4	1.9	—
42	100.0	—	65	100.0	—	19	100.0	—	78	100.0	—	211	100.0	—
42	—	—	65	—	—	19	—	—	78	—	—	211	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
40	95.2	6,924	63	96.9	15,442	12	63.2	1,152	66	84.6	17,847	173	82.0	81,500
5	12.5	673	9	14.3	4,235	1	8.3	114	8	12.1	484	19	11.0	3,118
0	0.0	0	1	11.1	200	0	0.0	0	0	0.0	0	3	15.8	87
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	12.5	28	3	15.8	1,123
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	12.5	0	4	21.1	457
5	100.0	642	8	88.9	4,475	1	100.0	114	6	75.0	1,039	8	42.1	1,516
0	0.0	0	2	3.2	100	0	0.0	0	1	1.5	310	4	2.3	5,575
7	17.5	436	5	7.9	622	4	33.3	190	10	15.2	1,504	19	11.0	2,419
30	75.0	5,901	44	69.8	9,875	7	58.3	848	47	71.2	14,936	123	71.1	68,931
0	0.0	0	2	3.2	250	0	0.0	0	0	0.0	0	1	0.6	70
0	0.0	0	0	0.0	0	1	5.3	283	6	7.7	1,644	17	8.1	3,814
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	5.9	15
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	4	23.5	1,474
0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	283	4	66.7	942	14	82.4	2,610
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
2	4.8	0	2	3.1	0	6	31.6	0	6	7.7	0	21	10.0	0
42	100.0	6,924	65	100.0	15,442	19	100.0	1,435	78	100.0	19,491	211	100.0	85,314
42	—	—	65	—	—	19	—	—	78	—	—	211	—	—

VI. 飼養頭数（平成26年8月1日現在）

1 子取り用雌豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	全 国			北海道・東北			関 東			
	回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均	
純粋種	ランドレース/L	243	30.9	57.7	47	25.1	82.9	95	39.6	41.0
	大ヨークシャー/W	170	21.6	44.5	33	17.6	58.6	58	24.2	40.8
	中ヨークシャー/Y	8	1.0	8.8	1	0.5	4.0	5	2.1	12.4
	パーカーシャー/B	72	9.2	108.7	15	8.0	52.9	11	4.6	19.0
	デュロック/D	162	20.6	12.1	29	15.5	21.5	59	24.6	6.9
	ハンブシャー/H	7	0.9	161.1	1	0.5	121.0	3	1.3	67.0
	その他	25	3.2	69.1	5	2.7	106.6	2	0.8	5.5
	小 計	398	50.6	86.2	76	40.6	104.0	130	54.2	55.0
交雑種	LW	355	45.2	210.5	64	34.2	223.3	150	62.5	186.7
	WL	130	16.5	234.6	23	12.3	149.7	33	13.8	180.5
	LW、WL何れか	110	14.0	427.1	23	12.3	585.2	40	16.7	534.5
	その他の組合せ	78	9.9	266.2	21	11.2	179.1	23	9.6	80.9
	海外ハイブリッド	140	17.8	528.9	53	28.3	645.8	20	8.3	561.7
	合 計	679	86.4	363.8	161	86.1	429.7	219	91.3	312.5
回答農場数	786	—	—	187	—	—	240	—	—	
	全 国			北海道・東北			関 東			
	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	
純粋種	ランドレース/L	14,011	40.9	5.0	3,896	49.3	5.1	3,891	54.4	5.1
	大ヨークシャー/W	7,572	22.1	2.7	1,934	24.5	2.5	2,364	33.1	3.1
	中ヨークシャー/Y	70	0.2	0.0	4	0.1	0.0	62	0.9	0.1
	パーカーシャー/B	7,827	22.8	2.8	794	10.0	1.0	209	2.9	0.3
	デュロック/D	1,955	5.7	0.7	624	7.9	0.8	410	5.7	0.5
	ハンブシャー/H	1,128	3.3	0.4	121	1.5	0.2	201	2.8	0.3
	その他	1,727	5.0	0.6	533	6.7	0.7	11	0.2	0.0
	小 計	34,290	100.0	12.2	7,906	100.0	10.3	7,148	100.0	9.5
交雑種	LW	74,711	30.2	26.6	14,293	20.7	18.5	28,006	40.9	37.1
	WL	30,493	12.3	10.8	3,444	5.0	4.5	5,958	8.7	7.9
	LW、WL何れか	46,981	19.0	16.7	13,459	19.5	17.5	21,379	31.2	28.3
	その他の組合せ	20,766	8.4	7.4	3,762	5.4	4.9	1,860	2.7	2.5
	海外ハイブリッド	74,039	30.0	26.3	34,225	49.5	44.4	11,234	16.4	14.9
	小 計	246,990	100.0	87.8	69,183	100.0	89.7	68,437	100.0	90.5
合 計	281,280	—	100.0	77,089	—	100.0	75,585	—	100.0	
	全 国			北海道・東北			関 東			
	回答数	割 合	子取♀頭数	回答数	割 合	子取♀頭数	回答数	割 合	子取♀頭数	
子取り用雌豚 頭数規模別	1～19頭	68	8.7	623	13	7.0	103	16	6.7	147
	20～49頭	83	10.6	2,701	21	11.2	623	25	10.4	774
	50～99頭	158	20.1	11,454	30	16.0	2,210	51	21.3	3,636
	100～199頭	145	18.4	19,981	32	17.1	4,563	51	21.3	6,795
	200～499頭	190	24.2	57,248	43	23.0	13,622	63	26.3	17,913
	500～999頭	78	9.9	51,288	25	13.4	17,042	18	7.5	11,462
	1,000頭以上	64	8.1	137,985	23	12.3	38,926	16	6.7	34,858
合 計	786	100.0	281,280	187	100.0	77,089	240	100.0	75,585	
回答農場数	786	—	—	187	—	—	240	—	—	

2 子利用中の種雄豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	全 国			北海道・東北			関 東			
	回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均	回答数	割 合	頭数平均	
純粋種	ランドレース/L	150	23.3	3.8	32	25.6	4.9	42	20.1	3.3
	大ヨークシャー/W	192	29.9	3.4	36	28.8	4.8	71	34.0	2.8
	中ヨークシャー/Y	5	0.8	7.4	0	0.0	0.0	5	2.4	7.4
	パーカーシャー/B	79	12.3	10.8	15	12.0	11.2	16	7.7	5.6
	デュロック/D	556	86.5	11.9	107	85.6	13.4	192	91.9	11.2
	ハンブシャー/H	5	0.8	6.4	0	0.0	0.0	2	1.0	4.5
	その他	22	3.4	11.0	4	3.2	18.8	4	1.9	4.5
	小 計	643	100.0	14.0	125	100.0	16.1	209	100.0	12.6
交雑種	HD	4	2.7	6.8	1	2.1	5.0	1	3.4	6.0
	DH	1	0.7	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	BD	3	2.0	34.3	0	0.0	0.0	2	6.9	50.5
	DB	6	4.0	3.5	1	2.1	2.0	4	13.8	3.8
	その他の組合せ	32	21.3	12.2	4	8.3	11.8	10	34.5	5.3
	海外ハイブリッド	107	71.3	14.9	41	85.4	19.0	13	44.8	16.1
小 計	150	100.0	14.2	48	100.0	17.4	29	100.0	13.2	
合 計	748	—	—	169	—	—	226	—	—	
回答農場数	748	—	—	169	—	—	226	—	—	
	全 国			北海道・東北			関 東			
	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	
純粋種	ランドレース/L	564	6.3	5.1	158	7.8	5.5	138	5.2	4.6
	大ヨークシャー/W	646	7.2	5.8	174	8.6	6.1	198	7.5	6.5
	中ヨークシャー/Y	37	0.4	0.3	0	0.0	0.0	37	1.4	1.2
	パーカーシャー/B	855	9.5	7.7	168	8.3	5.9	89	3.4	2.9
	デュロック/D	6,636	73.6	59.5	1,439	71.4	50.5	2,152	81.5	71.1
	ハンブシャー/H	32	0.4	0.3	0	0.0	0.0	9	0.3	0.3
	その他	241	2.7	2.2	75	3.7	2.6	18	0.7	0.6
	小 計	9,011	100.0	80.8	2,014	100.0	70.7	2,641	100.0	87.3
交雑種	HD	27	1.3	0.2	5	0.6	0.2	6	1.6	0.2
	DH	2	0.1	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	BD	103	4.8	0.9	0	0.0	0.0	101	26.3	3.3
	DB	21	1.0	0.2	2	0.2	0.1	15	3.9	0.5
	その他の組合せ	389	18.2	3.5	47	5.6	1.6	53	13.8	1.8
	海外ハイブリッド	1,590	74.4	14.3	777	93.1	27.3	209	54.4	6.9
小 計	2,136	100.0	19.2	835	100.0	29.3	384	100.0	12.7	
合 計	11,147	—	100.0	2,849	—	100.0	3,025	—	100.0	

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均
16	42.1	10.8	4	6.9	109.0	5	41.7	2.2	22	32.4	30.6	54	29.5	91.3
6	15.8	24.0	16	27.6	22.6	5	41.7	6.4	15	22.1	24.0	37	20.2	64.2
1	2.6	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.5	2.0
2	5.3	2.0	0	0.0	0.0	1	8.3	4.0	7	10.3	30.6	36	19.7	183.4
10	26.3	4.1	7	12.1	34.1	1	8.3	12.0	13	19.1	3.6	43	23.5	13.5
0	0.0	0.0	1	1.7	800.0	0	0.0	0.0	1	1.5	3.0	1	0.5	3.0
1	2.6	20.0	1	1.7	400.0	0	0.0	0.0	5	7.4	68.6	11	6.0	38.2
20	52.6	19.2	23	39.7	97.2	6	50.0	9.8	36	52.9	45.6	107	58.5	139.4
22	57.9	115.4	15	25.9	183.9	6	50.0	51.8	30	44.1	273.2	68	37.2	273.6
9	23.7	137.8	24	41.4	191.4	5	41.7	33.0	11	16.2	69.2	25	13.7	573.3
1	2.6	250.0	8	13.8	175.8	4	33.3	53.3	13	19.1	296.5	21	11.5	305.7
5	13.2	38.4	7	12.1	138.6	1	8.3	2.0	7	10.3	71.3	14	7.7	962.9
6	15.8	386.7	12	20.7	289.8	3	25.0	228.3	12	17.6	378.4	34	18.6	516.4
35	92.1	186.9	56	96.6	235.8	11	91.7	125.1	61	89.7	292.6	136	74.3	517.6
38	100.0	182.2	58	100.0	266.2	12	100.0	119.6	68	100.0	286.6	183	100.0	466.2
38	—	—	58	—	—	12	—	—	68	—	—	183	—	—
子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合
172	44.9	2.5	436	19.5	2.8	11	18.6	0.8	674	41.1	3.5	4,931	33.1	5.8
144	37.6	2.1	361	16.1	2.3	32	54.2	2.2	360	21.9	1.8	2,377	15.9	2.8
2	0.5	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	0.0	0.0
4	1.0	0.1	0	0.0	0.0	4	6.8	0.3	214	13.0	1.1	6,602	44.3	7.7
41	10.7	0.6	239	10.7	1.5	12	20.3	0.8	47	2.9	0.2	582	3.9	0.7
0	0.0	0.0	800	35.8	5.2	0	0.0	0.0	3	0.2	0.0	3	0.0	0.0
20	5.2	0.3	400	17.9	2.6	0	0.0	0.0	343	20.9	1.8	420	2.8	0.5
383	100.0	5.5	2,236	100.0	14.5	59	100.0	4.1	1,641	100.0	8.4	14,917	100.0	17.5
2,539	38.8	36.7	2,759	20.9	17.9	311	22.6	21.7	8,195	45.9	42.0	18,608	26.4	21.8
1,240	19.0	17.9	4,593	34.8	29.7	165	12.0	11.5	761	4.3	3.9	14,332	20.4	16.8
250	3.8	3.6	1,406	10.6	9.1	213	15.5	14.8	3,854	21.6	19.8	6,420	9.1	7.5
192	2.9	2.8	970	7.3	6.3	2	0.1	0.1	499	2.8	2.6	13,481	19.1	15.8
2,320	35.5	33.5	3,478	26.3	22.5	685	49.8	47.7	4,541	25.4	23.3	17,556	24.9	20.6
6,541	100.0	94.5	13,206	100.0	85.5	1,376	100.0	95.9	17,850	100.0	91.6	70,397	100.0	82.5
6,924	—	100.0	15,442	—	100.0	1,435	—	100.0	19,491	—	100.0	85,314	—	100.0
北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄										
回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数			
4	10.5	37	2	3.4	23	3	25.0	32	10	14.7	83	20	10.9	198
5	13.2	185	4	6.9	133	2	16.7	54	7	10.3	264	19	10.4	668
14	36.8	1,048	15	25.9	1,143	1	8.3	55	15	22.1	1,150	32	17.5	2,212
4	10.5	677	15	25.9	2,076	4	33.3	511	6	8.8	819	33	18.0	4,540
9	23.7	2,557	14	24.1	4,263	1	8.3	283	17	25.0	5,383	43	23.5	13,227
1	2.6	500	5	8.6	3,124	1	8.3	500	10	14.7	6,324	18	9.8	12,336
1	2.6	1,920	3	5.2	4,680	0	0.0	0	3	4.4	5,468	18	9.8	52,133
38	100.0	6,924	58	100.0	15,442	12	100.0	1,435	68	100.0	19,491	183	100.0	85,314
38	—	—	58	—	—	12	—	—	68	—	—	183	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均
10	26.3	2.2	8	16.7	1.9	3	33.3	1.3	13	22.4	1.6	42	26.9	4.9
10	26.3	1.5	7	14.6	1.6	3	33.3	2.3	18	31.0	3.3	47	30.1	3.9
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
1	2.6	11.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	9	15.5	3.9	38	24.4	14.5
37	97.4	7.4	44	91.7	9.4	8	88.9	5.1	51	87.9	11.2	117	75.0	14.9
0	0.0	0.0	1	2.1	20.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	1.3	1.5
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	3.4	14.0	12	7.7	10.0
38	100.0	8.4	48	100.0	9.6	9	100.0	5.8	58	100.0	12.3	156	100.0	18.0
0	0.0	0.0	1	12.5	8.0	1	50.0	8.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	50.0	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	5.3	2.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	2.4	4.0
2	66.7	10.5	0	0.0	0.0	1	50.0	50.0	7	36.8	6.6	8	19.5	21.5
1	33.3	1.0	7	87.5	8.6	1	50.0	4.0	12	63.2	6.4	32	78.0	14.4
3	100.0	7.3	8	100.0	8.5	2	100.0	32.0	19	100.0	6.6	41	100.0	15.6
38	—	—	55	—	—	10	—	—	68	—	—	182	—	—
38	—	—	55	—	—	10	—	—	68	—	—	182	—	—
♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合
22	6.9	6.4	15	3.3	2.8	4	7.7	3.4	21	2.9	2.5	206	7.3	6.0
15	4.7	4.4	11	2.4	2.1	7	13.5	6.0	60	8.4	7.1	181	6.4	5.3
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
11	3.4	3.2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	35	4.9	4.2	552	19.7	16.0
272	85.0	79.5	415	90.0	78.4	41	78.8	35.3	571	79.9	68.0	1,746	62.2	50.7
0	0.0	0.0	20	4.3	3.8	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	0.1	0.1
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	28	3.9	3.3	120	4.3	3.5
320	100.0	93.6	461	100.0	87.1	52	100.0	44.8	715	100.0	85.1	2,808	100.0	81.5
0	0.0	0.0	8	11.8	1.5	8	12.5	6.9	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	3.1	1.7	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	1.6	0.2	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	4	0.6	0.1
21	95.5	6.1	0	0.0	0.0	50	78.1	43.1	46	36.8	5.5	172	27.0	5.0
1	4.5	0.3	60	88.2	11.3	4	6.3	3.4	77	61.6	9.2	462	72.4	13.4
22	100.0	6.4	68	100.0	12.9	64	100.0	55.2	125	100.0	14.9	638	100.0	18.5
342	—	100.0	529	—	100.0	116	—	100.0	840	—	100.0	3,446	—	100.0

Ⅶ. 出荷頭数等（平成26年1～12月の総頭数）

	全 国			北海道・東北			関 東			
	回答数	割 合	頭数合計	回答数	割 合	頭数合計	回答数	割 合	頭数合計	
1 年間肉豚出荷頭数	803	—	5,996,578	182	—	1,610,490	246	—	1,907,410	
年間肉豚出荷規模別頭数	1～399頭	98	12.2	14,990	22	12.1	3,468	29	11.8	4,487
	400～999頭	83	10.3	56,705	16	8.8	10,850	26	10.6	18,123
	1,000～1,999頭	146	18.2	207,974	29	15.9	40,620	43	17.5	61,899
	2,000～3,999頭	153	19.1	422,836	26	14.3	73,701	54	22.0	146,288
	4,000～9,999頭	181	22.5	1,138,042	42	23.1	276,478	57	23.2	344,966
	10,000～19,999頭	73	9.1	977,338	23	12.6	322,347	18	7.3	232,795
20,000頭以上	69	8.6	3,178,693	24	13.2	883,026	19	7.7	1,098,852	
合 計	803	100.0	5,996,578	182	100.0	1,610,490	246	100.0	1,907,410	
2 繁殖豚（雄、雌）年間廃用頭数	675	—	109,934	169	—	31,619	198	—	31,039	
3 年間肉用子豚出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	174	—	1,223,703	38	—	227,079	36	—	258,091	
4 種豚候補豚（純粋・F1等）の出荷（同一経営の農場間移動含む）頭数	135	—	77,647	40	—	30,456	39	—	19,608	

Ⅷ. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量（平成26年1～12月の平均）

		全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差
1 肉豚出荷日齢平均（生後日齢）	日齢	741	184.7	—	172	178.0	—	224	183.1	—
2 肉豚出荷生体重平均	kg	696	114.1	—	164	115.3	—	215	113.6	—
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	kg	749	74.8	—	176	75.0	—	222	75.4	—
1日平均増体重（出荷体重÷出荷日齢）	kg/日	679	0.63	—	160	0.65	—	210	0.63	—

Ⅸ. 繁殖・肥育等の成績

1 繁殖成績（平成26年1～12月の平均）

	単位	全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差
ア 1腹当たり（1分娩当たり）平均哺乳開始頭数	頭	729	11.0	—	177	11.2	—	221	10.9	—
イ 1腹当たり（1分娩当たり）平均離乳頭数	頭	703	10.0	—	169	10.2	—	215	9.9	—
ウ 平均育成率（イ÷ア×100）	%	662	89.9	—	163	90.4	—	199	89.7	—
エ 平均受胎率（受胎頭数÷種付頭数×100）	%	541	88.3	—	137	88.8	—	165	88.3	—
オ 平均分娩率（分娩頭数÷種付頭数×100）	%	612	86.0	—	155	87.2	—	188	85.8	—
カ 母豚の年間平均分娩回数（年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数）	回	661	2.2	—	164	2.3	—	201	2.2	—

2 年間肉豚出荷頭数の格付割合

	単位	全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値
ア 格付している割合	%	661	95.7	97.7	164	96.5	98.3	195	92.4	96.2
A 日格協の格付（年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100）	%	581	84.1	92.5	155	91.2	94.9	149	70.6	84.5
B 自主格付（年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100）	%	149	21.6	74.7	19	11.2	74.5	81	38.4	76.1
小 計	%	730	105.6	—	174	102.4	—	230	109.0	—
イ 格付していない（生体出荷）割合（年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100）	%	81	11.7	56.0	15	8.8	58.7	36	17.1	64.9
合 計	%	742	107.4	—	179	105.3	—	231	109.5	—
回答農場数	農場	691	—	—	170	—	—	211	—	—

年間肉豚出荷頭数の格付割合（格付方法の組み合わせ別）

	回 答		格付割合（平均値）		
	回答数	割 合	日格協の格付	自主格付	格付けていない
全て日格協の格付	473	68.5	100.0	—	0.0
全て自主格付	74	10.7	—	100.0	—
全て格付けていない	30	4.3	—	—	100.0
日格協の格付 + 自主格付	63	9.1	52.9	47.1	—
日格協の格付 + 格付けていない	39	5.6	68.4	—	31.6
自主格付 + 格付けていない	9	1.3	—	75.8	24.2
日格協の格付 + 自主格付 + 格付けていない	3	0.4	46.1	24.5	29.4
合 計	691	100.0	92.4	74.7	55.3

3 「上」物率

	%	全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差
格付している肉豚の上物率（（年間「極上」+「上」頭数）÷年間出荷頭数×100）	%	663	54.3	—	159	50.9	—	200	53.0	—

4 農場飼料要求率

	%	全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差	回答数	平 均	標準偏差
期間飼料消費量÷期間増体重	%	408	3.3	—	111	3.3	—	111	3.3	—

5 事故率（平成26年1～12月の平均）

	%	全 国			北海道・東北			関 東		
		回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	%	607	—	4.8	151	—	3.6	179	—	5.0
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	588	—	3.8	145	—	3.2	170	—	3.9
★ 通算算出	%	655	—	7.6	160	—	6.2	187	—	8.1
通算事故率階級別	～1%未満	30	4.6	0.5	8	5.0	0.6	7	3.7	0.4
	1～4%	225	34.4	3.4	71	44.4	3.5	47	25.1	3.6
	5～9%	263	40.2	7.0	60	37.5	6.8	91	48.7	7.2
	10～14%	71	10.8	12.2	15	9.4	12.2	22	11.8	12.1
	15～19%	36	5.5	17.3	3	1.9	16.4	13	7.0	17.6
	20～24%	14	2.1	22.4	0	0.0	0.0	2	1.1	23.1
	25～29%	7	1.1	27.3	1	0.6	28.0	3	1.6	27.2
	30～34%	4	0.6	31.3	1	0.6	31.5	1	0.5	32.2
35～39%	3	0.5	35.4	1	0.6	35.0	1	0.5	35.6	
40%以上	2	0.3	63.5	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	
合 計		655	100.0	7.6	160	100.0	6.2	187	100.0	8.1

事故率計算式

ア子豚舎・子豚豚房事故率の計算式（期間内の離乳後から肥育組入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）
イ肥育舎・肥育豚房事故率の計算式（期間内の肥育組入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100）
★通算事故率の計算式 100－（（100－ア子豚舎事故率）×（100－イ肥育豚房事故率））÷100

	%	全 体			一貫経営			繁殖経営		
		回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	%	607	—	4.8	575	—	4.8	26	—	5.5
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	588	—	3.8	535	—	3.8	12	—	3.7
★ 通算算出	%	655	—	7.6	588	—	7.9	26	—	7.1

	%	全 体			1～19頭			20～49頭		
		回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値	回答数	割 合	平均値
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	%	584	—	4.8	36	—	7.4	51	—	5.0
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	528	—	3.8	29	—	4.9	47	—	3.1
★ 通算算出	%	595	—	7.9	39	—	10.0	51	—	7.6

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
41	—	148,017	62	—	341,771	16	—	37,071	69	—	418,131	187	—	1,533,689
5	12.2	614	3	4.8	666	5	31.3	559	8	11.6	937	26	13.9	4,260
3	7.3	2,098	5	8.1	3,633	3	18.8	1,887	8	11.6	5,100	22	11.8	15,014
9	22.0	11,775	14	22.6	21,535	2	12.5	2,520	14	20.3	19,281	35	18.7	50,344
11	26.8	32,041	18	29.0	49,628	4	25.0	10,105	9	13.0	23,156	31	16.6	87,917
11	26.8	63,669	10	16.1	54,356	1	6.3	9,000	19	27.5	131,511	41	21.9	258,062
1	2.4	11,385	10	16.1	127,605	1	6.3	13,000	5	7.2	64,212	15	8.0	205,994
1	2.4	26,435	2	3.2	84,348	0	0.0	0	6	8.7	173,934	17	9.1	912,098
41	100.0	148,017	62	100.0	341,771	16	100.0	37,071	69	100.0	418,131	187	100.0	1,533,689
33	—	1,970	57	—	6,930	9	—	395	57	—	6,242	152	—	31,739
8	—	24,353	10	—	38,313	3	—	610	19	—	49,079	60	—	626,178
6	—	366	11	—	2,117	1	—	20	8	—	3,793	30	—	21,287

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
39	180.3	—	56	184.3	—	17	189.4	—	68	187.3	—	165	193.3	—
35	112.2	—	51	114.0	—	16	118.7	—	61	115.2	—	154	113.2	—
39	74.5	—	60	74.9	—	17	80.1	—	67	74.5	—	168	73.6	—
35	0.63	—	49	0.63	—	16	0.63	—	61	0.63	—	148	0.60	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
37	11.7	—	54	11.4	—	12	10.8	—	66	10.9	—	162	10.7	—
38	10.6	—	51	10.2	—	11	9.8	—	64	9.9	—	155	9.6	—
35	88.8	—	47	90.2	—	11	88.7	—	59	90.3	—	148	89.6	—
29	86.9	—	34	87.3	—	10	85.4	—	50	89.6	—	116	88.1	—
32	84.4	—	43	84.6	—	11	83.5	—	54	87.1	—	129	85.4	—
35	2.2	—	44	2.2	—	12	2.1	—	60	2.2	—	145	2.2	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
36	100.0	100.0	58	100.0	99.8	13	100.0	99.2	62	98.4	98.9	133	95.0	96.8
33	91.7	98.5	56	96.6	96.5	13	100.0	99.2	62	98.4	95.4	113	80.7	93.6
4	11.1	87.5	8	13.8	48.3	0	0.0	0.0	8	12.7	64.8	29	20.7	78.9
37	102.8	—	64	110.3	—	13	100.0	—	70	111.1	—	142	101.4	—
1	2.8	1.0	1	1.7	10.0	1	7.7	11.0	3	4.8	56.7	24	17.1	47.1
37	102.8	—	59	101.7	—	14	107.7	—	65	103.2	—	157	112.1	—
36	—	—	58	—	—	13	—	—	63	—	—	140	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
38	49.1	—	59	55.3	—	12	33.8	—	65	57.3	—	130	61.7	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
19	3.3	—	26	3.5	—	7	3.4	—	45	3.4	—	89	3.4	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
32	—	5.4	45	—	4.6	10	—	5.0	59	—	5.1	131	—	5.8
32	—	4.5	42	—	3.4	12	—	3.4	61	—	3.9	126	—	4.0
37	—	8.2	47	—	7.2	13	—	6.7	66	—	7.7	145	—	8.5
1	2.7	0.9	0	0.0	0.0	1	7.7	1.0	9	13.6	0.5	4	2.8	0.4
16	43.2	3.5	20	42.6	3.4	7	53.8	3.3	17	25.8	3.2	47	32.4	3.1
12	32.4	6.7	20	42.6	6.5	1	7.7	7.8	28	42.4	7.2	51	35.2	7.1
3	8.1	12.6	0	0.0	0.0	3	23.1	11.5	7	10.6	12.0	21	14.5	12.5
3	8.1	17.4	4	8.5	18.3	0	0.0	0.0	2	3.0	18.4	11	7.6	16.7
1	2.7	23.4	2	4.3	20.5	1	7.7	21.3	1	1.5	24.0	7	4.8	22.6
0	0.0	0.0	1	2.1	27.8	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	1.4	27.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	1.5	30.0	1	0.7	31.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.7	35.6
1	2.7	51.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	1.5	76.0	0	0.0	0.0
37	100.0	8.2	47	100.0	7.2	13	100.0	6.7	66	100.0	7.7	145	100.0	8.5

肥育経営		
回答数	割合	平均
6	—	3.6
41	—	3.2
41	—	3.7

50~99頭			100~199頭			200~499頭			500~999頭			1,000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
97	—	5.9	113	—	4.8	164	—	4.5	66	—	3.8	57	—	3.7
87	—	3.5	101	—	3.2	148	—	4.3	62	—	3.5	54	—	4.2
100	—	8.5	115	—	7.4	164	—	8.0	68	—	6.8	58	—	7.5

	全 体			29歳以下			30～39歳		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	570	—	4.7	2	—	4.6	68	—	4.4
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	546	—	3.7	2	—	3.1	64	—	3.5
★ 通算算出	609	—	7.5	2	—	7.5	69	—	7.4

X. 交配方法

1 発情期の基本交配（授精）回数（〇は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 1回	28	3.5	—	6	3.2	—	12	4.9	—
イ 2回～3回	750	93.9	—	178	94.2	—	227	92.3	—
ウ 4回以上	7	0.9	—	1	0.5	—	1	0.4	—
エ 不明	14	1.8	—	4	2.1	—	6	2.4	—
合 計	799	100.0	—	189	100.0	—	246	100.0	—
回答農場数	799	—	—	189	—	—	246	—	—

2 交配方法（〇は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）	241	30.4	—	232	30.2	—	66	26.8	—
イ 自然交配を主とし、人工授精を従としている	239	30.2	—	231	30.1	—	86	35.0	—
ウ 人工授精を主とし、自然交配を従としている	140	17.7	—	138	18.0	—	40	16.3	—
エ 人工授精のみ	172	21.7	—	166	21.6	—	54	22.0	—
合 計	792	100.0	—	767	100.0	—	246	100.0	—
回答農場数	792	—	—	767	—	—	246	—	—
自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）	241	30.4	—	232	30.2	—	66	26.8	—
人工授精を行っている（人工授精のみ、自然交配と併用）	551	69.6	—	535	69.8	—	180	73.2	—
合 計	792	100.0	—	767	100.0	—	246	100.0	—

2 交配方法（〇は1つだけ）

	全 体			1～19頭			20～49頭		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）	233	30.3	—	38	59.4	—	52	64.2	—
イ 自然交配を主とし、人工授精を従としている	233	30.3	—	13	20.3	—	22	27.2	—
ウ 人工授精を主とし、自然交配を従としている	137	17.8	—	3	4.7	—	5	6.2	—
エ 人工授精のみ	167	21.7	—	10	15.6	—	2	2.5	—
合 計	770	100.0	—	64	100.0	—	81	100.0	—
回答農場数	770	—	—	64	—	—	81	—	—
自然交配のみ（人工授精は全く行っていない）	233	30.3	—	38	59.4	—	52	64.2	—
人工授精を行っている（人工授精のみ、自然交配と併用）	537	69.7	—	26	40.6	—	29	35.8	—
合 計	770	100.0	—	64	100.0	—	81	100.0	—

4 人工授精を実施している方（前頁の2でイ、ウと回答した方）

ア 精液の入手方法について（〇は1つだけ）

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A 全て自家産（同一経営の別農場産も含む）	162	29.4	—	150	28.7	—	12	42.9	—
B 全て外部（都道府県試験場、民間人工授精所等）から導入	315	57.2	—	301	57.6	—	14	50.0	—
C 自家産と外部導入の併用	74	13.4	—	72	13.8	—	2	7.1	—
合 計	551	100.0	—	523	100.0	—	28	100.0	—
回答農場数	551	—	—	523	—	—	28	—	—

生産、導入本数とボトルの容量

	全 体			一貫経営			繁殖経営			
	回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均	
A年間自家生産本数	本	185	986,895	—	172	884,553	—	13	102,342	—
1本の容量	cc	185	—	90.0	171	—	90.1	14	—	88.9
B年間外部導入本数	本	304	407,321	—	292	391,729	—	12	15,592	—
1本の容量	cc	251	—	82.2	240	—	82.0	11	—	85.0
合 計		489	—	—	464	—	—	25	—	—
回答農場数		451	—	—	428	—	—	23	—	—

5 人工授精の今後の意向を伺います（アからオの中から1つだけ〇）

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 人工授精を今後も実施する（A～C 〇は1つ）	536	79.5	—	507	80.0	—	29	74.4	—
A人工授精の割合を増やしたい	144	—	26.9	138	—	27.2	6	—	20.7
B人工授精の割合を維持したい	385	—	71.8	362	—	71.4	23	—	79.3
C人工授精の割合を縮小したい	7	—	1.3	7	—	1.4	0	—	0.0
小 計	536	—	100.0	507	—	100.0	29	—	100.0
イ 人工授精を止めたい	3	0.4	—	3	0.5	—	0	0.0	—
ウ 人工授精を直ぐに導入する予定（導入したい）	5	0.7	—	4	0.6	—	0	0.0	—
エ 人工授精の導入を今後検討してみたい	53	7.9	—	49	7.7	—	4	10.3	—
オ 今後も人工授精の導入は考えていない	77	11.4	—	71	11.2	—	6	15.4	—
合 計	674	100.0	—	634	100.0	—	39	100.0	—
回答農場数	674	—	—	634	—	—	39	—	—

40～49歳			50～59歳			60～69歳			70～79歳			80歳以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
101	—	3.9	148	—	4.5	208	—	5.3	40	—	5.4	3	—	2.1
96	—	3.7	142	—	3.7	198	—	3.7	44	—	3.7	2	—	5.6
107	—	6.8	157	—	7.4	224	—	8.0	50	—	7.5	3	—	5.7

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
1	2.5	—	2	3.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	7	3.9	—
39	97.5	—	58	95.1	—	12	92.3	—	69	97.2	—	167	93.3	—
0	0.0	—	0	0.0	—	1	7.7	—	1	1.4	—	3	1.7	—
0	0.0	—	1	1.6	—	0	0.0	—	1	1.4	—	2	1.1	—
40	100.0	—	61	100.0	—	13	100.0	—	71	100.0	—	179	100.0	—
40	—	—	61	—	—	13	—	—	71	—	—	179	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
8	20.5	—	16	26.2	—	4	30.8	—	27	38.6	—	67	38.1	—
19	48.7	—	17	27.9	—	5	38.5	—	20	28.6	—	37	21.0	—
5	12.8	—	18	29.5	—	2	15.4	—	9	12.9	—	33	18.8	—
7	17.9	—	10	16.4	—	2	15.4	—	14	20.0	—	39	22.2	—
39	100.0	—	61	100.0	—	13	100.0	—	70	100.0	—	176	100.0	—
39	—	—	61	—	—	13	—	—	70	—	—	176	—	—
8	20.5	—	16	26.2	—	4	30.8	—	27	38.6	—	67	38.1	—
31	79.5	—	45	73.8	—	9	69.2	—	43	61.4	—	109	61.9	—
39	100.0	—	61	100.0	—	13	100.0	—	70	100.0	—	176	100.0	—

50～99頭			100～199頭			200～499頭			500～999頭			1,000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
74	47.1	—	42	29.8	—	20	10.8	—	5	6.4	—	2	3.2	—
55	35.0	—	58	41.1	—	67	36.0	—	16	20.5	—	2	3.2	—
15	9.6	—	21	14.9	—	49	26.3	—	24	30.8	—	20	31.7	—
13	8.3	—	20	14.2	—	50	26.9	—	33	42.3	—	39	61.9	—
157	100.0	—	141	100.0	—	186	100.0	—	78	100.0	—	63	100.0	—
157	—	—	141	—	—	186	—	—	78	—	—	63	—	—
74	47.1	—	42	29.8	—	20	10.8	—	5	6.4	—	2	3.2	—
83	52.9	—	99	70.2	—	166	89.2	—	73	93.6	—	61	96.8	—
157	100.0	—	141	100.0	—	186	100.0	—	78	100.0	—	63	100.0	—

肥育経営		
回答数	割合	平均
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	—	—

肥育経営		
回答数	割合	平均
0	0.0	—
0	—	—
0	—	—
0	—	—
0	—	—
0	0.0	—
1	100.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
1	100.0	—
1	—	—

X I . 経営の推移と今後の意向

1 飼養頭数の推移

ア 前年8月1日と比較して

繁殖豚頭数	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
A増やした	83	10.7	6,621	17	9.2	882	25	10.3	1,872
B変更していない	582	74.9	—	150	81.5	—	187	77.0	—
C減らした	112	14.4	4,219	17	9.2	376	31	12.8	1,541
合 計	777	100.0	—	184	100.0	—	243	100.0	—
回答農場数	777	—	—	184	—	—	243	—	—

肥育豚頭数	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
A増やした	87	11.6	101,639	20	11.0	13,997	24	10.3	28,157
B変更していない	576	76.9	—	146	80.7	—	184	79.3	—
C減らした	86	11.5	32,891	15	8.3	8,396	24	10.3	8,094
合 計	749	100.0	—	181	100.0	—	232	100.0	—
回答農場数	749	—	—	181	—	—	232	—	—

イ 頭数を増やした理由は(○は2つ以内)

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
A計画していた豚舎が完成したので増頭した	32	29.1	5.1	7	26.9	5.5	11	35.5	4.5
B後継者が経営に参加したので増頭した	10	9.1	5.7	2	7.7	4.4	2	6.5	8.0
C1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した	19	17.3	6.6	3	11.5	4.2	3	9.7	6.1
D委託、預託の農場を増やした	3	2.7	5.2	0	0.0	0.0	1	3.2	5.1
E出荷元から増頭の要請があった	16	14.5	5.3	4	15.4	4.4	4	12.9	6.0
F養豚生産者が減少しているので将来備わりそうなので増頭した	6	5.5	5.6	1	3.8	2.6	3	9.7	8.9
G事情により生産を縮小していたのを元に戻した	14	12.7	7.1	3	11.5	11.3	3	9.7	7.0
Hその他	30	27.3	7.6	9	34.6	7.9	9	29.0	10.5
合 計	130	118.2	—	29	111.5	—	36	116.1	—
回答農場数	110	—	—	26	—	—	31	—	—

ウ 減らした理由(○は2つ以内)

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
A疾病対策で豚を入れ替えるため	16	13.6	13.6	0	0.0	0.0	7	20.6	8.0
B生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから	10	8.5	11.7	2	10.5	2.5	2	5.9	9.1
C高齢化で労働が厳しくなったから	28	23.7	6.1	3	15.8	2.8	9	26.5	6.7
D労働力が確保できなくなったから	7	5.9	18.5	1	5.3	6.9	1	2.9	35.6
E委託、預託農場となるため	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
F廃業するため	9	7.6	9.6	1	5.3	0.0	3	8.8	3.0
G飼養システム・経営形態の変更	14	11.9	8.8	1	5.3	6.0	4	11.8	13.0
H環境対策	12	10.2	9.6	0	0.0	0.0	7	20.6	6.9
I その他	51	43.2	8.8	12	63.2	5.3	12	35.3	8.4
合 計	131	111.0	—	20	105.3	—	38	111.8	—
回答農場数	118	—	—	19	—	—	34	—	—

2 養豚経営の今後の意向(アからウの中から○は1つだけ)

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
ア 経営を拡大する(A~C ○は1つ)	242	28.5	6.5	60	30.8	6.3	76	29.5	6.9
A今年中に規模拡大する計画がある	33	13.6	6.1	7	11.7	7.3	12	15.8	6.2
B3年以内に規模拡大する計画がある	74	30.6	6.2	20	33.3	4.6	23	30.3	6.0
C今後規模拡大を検討したい	135	55.8	6.8	33	55.0	7.3	41	53.9	7.6
ア 小 計	242	100.0	—	60	100.0	—	76	100.0	—
イ 現状維持	514	60.5	8.3	117	60.0	6.3	153	59.3	8.9
ウ 経営を縮小(A~E ○は1つ)	93	11.0	7.1	18	9.2	5.1	29	11.2	7.1
A今年中に縮小する計画がある	6	6.5	5.3	1	5.6	7.2	2	6.9	6.9
B3年以内に縮小する計画がある	16	17.2	4.7	3	16.7	6.4	2	6.9	9.8
C今後縮小を検討したい	31	33.3	8.0	7	38.9	4.6	10	34.5	8.4
D今年中に廃業する計画がある(a~f ○は1つ)	3	3.2	4.9	1	5.6	0.0	0	0.0	0.0
E近く廃業したいと考えている(a~f ○は1つ)	37	39.8	7.9	6	33.3	4.6	15	51.7	5.9
a 後継者がいないため	17	42.5	5.5	5	71.4	4.6	6	40.0	3.5
b 労働力が確保できないため	3	7.5	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
c 環境問題のため	3	7.5	12.7	0	0.0	0.0	1	6.7	12.7
d 負債があるため	1	2.5	0.0	0	0.0	0.0	1	6.7	0.0
e 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから	7	17.5	6.0	1	14.3	0.0	2	13.3	0.0
f その他	8	20.0	11.8	0	0.0	0.0	5	33.3	5.3
DE 小 計	40	100.0	—	7	100.0	—	15	100.0	—
ウ 小 計	93	100.0	—	18	100.0	—	29	100.0	—
合 計	849	100.0	—	195	100.0	—	258	100.0	—
回答農場数	849	—	—	195	—	—	258	—	—

	全 体			29歳以下			30~39歳		
	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
ア 経営を拡大する(A~C ○は1つ)	232	29.5	6.6	1	25.0	5.3	45	51.1	7.5
A今年中に規模拡大する計画がある	33	14.2	6.1	0	0.0	0.0	5	11.1	4.9
B3年以内に規模拡大する計画がある	71	30.6	6.3	1	100.0	5.3	12	26.7	8.0
C今後規模拡大を検討したい	128	55.2	6.9	0	0.0	0.0	28	62.2	7.8
ア 小 計	232	100.0	—	1	100.0	—	45	100.0	—
イ 現状維持	469	59.7	8.2	3	75.0	9.8	42	47.7	7.2
ウ 経営を縮小(A~E ○は1つ)	85	10.8	6.9	0	0.0	0.0	1	1.1	0.0
A今年中に縮小する計画がある	6	7.1	5.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
B3年以内に縮小する計画がある	16	18.8	4.7	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
C今後縮小を検討したい	27	31.8	7.2	0	0.0	0.0	1	100.0	0.0
D今年中に廃業する計画がある(a~f ○は1つ)	3	3.5	4.9	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
E近く廃業したいと考えている(a~f ○は1つ)	33	38.8	8.2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
a 後継者がいないため	16	44.4	5.5	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
b 労働力が確保できないため	3	8.3	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
c 環境問題のため	3	8.3	12.7	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
d 負債があるため	1	2.8	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
e 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから	5	13.9	6.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
f その他	7	19.4	13.6	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
DE 小 計	36	100.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
ウ 小 計	85	100.0	—	0	0.0	—	1	100.0	—
合 計	786	100.0	—	4	100.0	—	88	100.0	—
回答農場数	786	—	—	4	—	—	88	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
2	5.4	159	7	11.9	695	2	14.3	2	9	12.7	852	21	12.4	2,159
31	83.8	—	35	59.3	—	11	78.6	—	49	69.0	—	119	70.4	—
4	10.8	80	17	28.8	490	1	7.1	0	13	18.3	287	29	17.2	1,445
37	100.0	—	59	100.0	—	14	100.0	—	71	100.0	—	169	100.0	—
37	—	—	59	—	—	14	—	—	71	—	—	169	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
1	2.9	100	9	17.0	8,894	3	16.7	70	9	13.4	7,107	21	12.9	43,314
31	88.6	—	36	67.9	—	14	77.8	—	47	70.1	—	118	72.4	—
3	8.6	1,200	8	15.1	2,307	1	5.6	0	11	16.4	4,366	24	14.7	8,528
35	100.0	—	53	100.0	—	18	100.0	—	67	100.0	—	163	100.0	—
35	—	—	53	—	—	18	—	—	67	—	—	163	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
0	0.0	0.0	3	33.3	5.6	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	11	44.0	5.1
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	6	24.0	5.8
0	0.0	0.0	4	44.4	5.4	1	33.3	3.0	4	28.6	9.5	4	16.0	8.7
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	7.1	5.3	1	4.0	0.0
0	0.0	0.0	1	11.1	8.8	0	0.0	0.0	2	14.3	9.8	5	20.0	3.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	33.3	0.0	0	0.0	0.0	1	4.0	2.1
2	100.0	4.5	1	11.1	3.0	0	0.0	0.0	2	14.3	3.0	3	12.0	7.8
1	50.0	3.2	1	11.1	5.2	1	33.3	3.3	6	42.9	7.2	3	12.0	4.7
3	150.0	—	10	111.1	—	3	100.0	—	15	107.1	—	34	136.0	—
2	—	—	9	—	—	3	—	—	14	—	—	25	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
0	0.0	0.0	1	5.9	18.8	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	8	25.8	18.3
0	0.0	0.0	1	5.9	5.9	0	0.0	0.0	1	8.3	0.4	4	12.9	27.3
0	0.0	0.0	4	23.5	5.9	0	0.0	0.0	4	33.3	4.0	8	25.8	8.9
1	25.0	4.9	2	11.8	27.8	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	6.5	17.2
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	2	11.8	20.4	1	100.0	10.0	0	0.0	0.0	2	6.5	7.3
0	0.0	0.0	2	11.8	0.0	0	0.0	0.0	2	16.7	9.2	5	16.1	3.8
1	25.0	4.9	2	11.8	13.1	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	6.5	15.1
3	75.0	11.9	8	47.1	9.4	0	0.0	0.0	7	58.3	9.8	9	29.0	10.6
5	125.0	—	21	123.5	—	1	100.0	—	14	116.7	—	32	103.2	—
4	—	—	17	—	—	1	—	—	12	—	—	31	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
16	38.1	5.0	11	17.5	6.9	5	26.3	7.2	24	31.2	6.3	50	25.6	6.7
3	18.8	4.0	0	0.0	0.0	1	20.0	0.0	6	25.0	4.8	4	8.0	7.4
4	25.0	4.4	5	45.5	10.6	1	20.0	3.6	7	29.2	7.3	14	28.0	7.8
9	56.3	5.6	6	54.5	4.3	3	60.0	8.5	11	45.8	6.4	32	64.0	6.1
16	100.0	—	11	100.0	—	5	100.0	—	24	100.0	—	50	100.0	—
23	54.8	10.5	40	63.5	7.2	12	63.2	6.3	44	57.1	9.0	125	64.1	9.1
3	7.1	5.3	12	19.0	7.9	2	10.5	7.3	9	11.7	6.0	20	10.3	10.2
1	33.3	4.4	0	0.0	0.0	1	50.0	4.7	0	0.0	0.0	1	5.0	2.0
0	0.0	0.0	3	25.0	5.7	0	0.0	0.0	4	44.4	1.1	4	20.0	6.0
0	0.0	0.0	5	41.7	5.2	0	0.0	0.0	4	44.4	8.8	5	25.0	15.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	10.0	4.9
2	66.7	6.2	4	33.3	11.7	1	50.0	10.0	1	11.1	12.6	8	40.0	10.7
2	100.0	6.2	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	100.0	12.6	3	30.0	5.4
0	0.0	0.0	1	25.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	20.0	2.0
0	0.0	0.0	1	25.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	10.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	1	25.0	3.0	1	100.0	10.0	1	100.0	0.0	1	10.0	5.0
0	0.0	0.0	1	25.0	20.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	20.0	20.3
2	100.0	—	4	100.0	—	1	100.0	—	1	100.0	—	10	100.0	—
3	100.0	—	12	100.0	—	2	100.0	—	9	100.0	—	20	100.0	—
42	100.0	—	63	100.0	—	19	100.0	—	77	100.0	—	195	100.0	—
42	—	—	63	—	—	19	—	—	77	—	—	195	—	—

40～49歳			50～59歳			60～69歳			70歳以上			80歳以上		
回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均	回答数	割合	通算事故率平均
45	36.0	6.1	64	31.5	6.6	65	22.5	6.3	11	15.9	7.7	1	12.5	0.0
1	2.2	9.1	11	17.2	5.1	13	20.0	7.7	3	27.3	5.3	0	0.0	0.0
15	33.3	4.2	21	32.8	7.4	21	32.3	6.1	1	9.1	4.0	0	0.0	0.0
29	64.4	7.0	32	50.0	6.6	31	47.7	6.0	7	63.6	9.4	1	100.0	0.0
45	100.0	—	64	100.0	—	65	100.0	—	11	100.0	—	1	100.0	—
71	56.8	7.3	124	61.1	7.9	179	61.9	9.2	47	68.1	7.2	3	37.5	8.9
9	7.2	8.8	15	7.4	8.0	45	15.6	5.6	11	15.9	10.1	4	50.0	4.1
1	11.1	2.0	0	0.0	0.0	3	6.7	6.0	1	9.1	5.0	1	25.0	7.2
1	11.1	5.7	1	1.6	0.0	12	26.7	5.0	2	18.2	2.0	0	0.0	0.0
4	44.4	6.9	9	14.1	9.2	11	24.4	5.5	1	9.1	0.0	1	25.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	6.7	4.9	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
3	33.3	16.6	5	7.8	3.7	16	35.6	5.9	7	63.6	12.7	2	50.0	1.1
0	0.0	0.0	3	4.7	3.7	9	47.4	6.5	3	42.9	7.9	1	50.0	1.1
1	33.3	0.0	0	0.0	0.0	2	10.5	2.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
1	33.3	12.7	0	0.0	0.0	1	5.3	0.0	0	0.0	0.0	1	50.0	0.0
0	0.0	0.0	1	1.6	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	10.5	5.0	3	42.9	6.5	0	0.0	0.0
1	33.3	20.4	1	1.6	0.0	3	15.8	6.1	2	28.6	21.3	0	0.0	0.0
3	100.0	—	5	7.8	—	19	100.0	—	7	100.0	—	2	100.0	—
9	100.0	—	15	23.4	—	45	100.0	—	11	100.0	—	4	100.0	—
125	100.0	—	203	100.0	—	289	100.0	—	69	100.0	—	8	100.0	—
125	—	—	203	—	—	289	—	—	69	—	—	8	—	—

経営の今後の意向と後継者の有無

	全 体		後継者は居る		対象者はいる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 経営を拡大	208	29.4	116	46.4	35	25.0
イ 現状維持	412	58.3	128	51.2	89	63.6
ウ 経営を縮小	87	12.3	6	2.4	16	11.4
合 計	707	100.0	250	100.0	140	100.0

XII. 給与飼料

1 現在使用している飼料について（アからエの中から○はいくつでも）

	全 国		北海道・東北		関 東	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 市販配合飼料※1	792	92.2	194	98.0	243	92.4
イ 自家配合飼料※2	91	10.6	10	5.1	29	11.0
ウ 食品残さ等リサイクル飼料※3	172	20.0	30	15.2	53	20.2
エ 飼料米※4	74	8.6	19	9.6	16	6.1
合 計	1,129	131.4	253	127.8	341	129.7
回答農場数	859	—	198	—	263	—

※1 配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む

※2 単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの

※3 食品製造物、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液状化（リキッド）等の処理により飼料化したもの。

なお、市販飼料に含まれているものを使用している場合を除く

※4 市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く

	全 体		1~399頭		400~999頭	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 市販配合飼料	716	93.4	54	83.1	73	93.6
イ 自家配合飼料	86	11.2	11	16.9	10	12.8
ウ 食品残さ等リサイクル飼料	136	17.7	20	30.8	19	24.4
エ 飼料米	62	8.1	1	1.5	8	10.3
合 計	1,000	130.4	86	132.3	110	141.0
回答農場数	767	—	65	—	78	—

XIII. 衛生レベル、現在、取り組んでいる防疫対策について

1 農場における人の入退場について（アからクの中から○はいくつでも）

	全 国		北海道・東北		関 東	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	686	79.4	165	82.5	200	75.8
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施	209	24.2	75	37.5	42	15.9
ウ 農場専用の衣服への交換	538	62.3	148	74.0	157	59.5
エ 農場専用の履物への交換	682	78.9	164	82.0	208	78.8
オ 豚舎専用の衣服への交換	274	31.7	89	44.5	72	27.3
カ 豚舎専用の履物への交換	445	51.5	124	62.0	112	42.4
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置	624	72.2	148	74.0	185	70.1
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	651	75.3	164	82.0	191	72.3
ケ 来場者名簿の設置	469	54.3	110	55.0	117	44.3
コ 防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	414	47.9	117	58.5	103	39.0
サ 何も対策していない	12	1.4	3	1.5	3	1.1
合 計	5,004	579.2	1,307	653.5	1,390	526.5
回答農場数	864	—	200	—	264	—

	全 体		1~19頭		20~49頭	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	622	80.7	45	68.2	64	78.0
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施	184	23.9	3	4.5	4	4.9
ウ 農場専用の衣服への交換	489	63.4	23	34.8	29	35.4
エ 農場専用の履物への交換	613	79.5	41	62.1	51	62.2
オ 豚舎専用の衣服への交換	245	31.8	11	16.7	17	20.7
カ 豚舎専用の履物への交換	401	52.0	17	25.8	27	32.9
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置	561	72.8	36	54.5	51	62.2
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	583	75.6	46	69.7	47	57.3
ケ 来場者名簿の設置	421	54.6	22	33.3	26	31.7
コ 防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	377	48.9	18	27.3	25	30.5
サ 何も対策していない	10	1.3	4	6.1	4	4.9
合 計	4,506	584.4	266	403.0	345	420.7
回答農場数	771	—	66	—	82	—

	全 体		個人経営		農事組合法人	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	686	79.4	262	73.2	39	88.6
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施	209	24.2	18	5.0	14	31.8
ウ 農場専用の衣服への交換	538	62.3	165	46.1	32	72.7
エ 農場専用の履物への交換	682	78.9	245	68.4	36	81.8
オ 豚舎専用の衣服への交換	274	31.7	74	20.7	13	29.5
カ 豚舎専用の履物への交換	445	51.5	140	39.1	19	43.2
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置	624	72.2	240	67.0	35	79.5
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	651	75.3	231	64.5	37	84.1
ケ 来場者名簿の設置	469	54.3	144	40.2	26	59.1
コ 防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	414	47.9	112	31.3	25	56.8
サ 何も対策していない	12	1.4	10	2.8	0	0.0
合 計	5,004	579.2	1,641	458.4	276	627.3
回答農場数	864	—	358	—	44	—

2 豚の導入時の対応について（○は1つだけ）

	全 国		北海道・東北		関 東	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	66	7.9	18	9.2	11	4.4
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	241	28.8	60	30.6	74	29.5
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	174	20.8	36	18.4	55	21.9
エ 隔離検査は特に実施していない	283	33.9	64	32.7	86	34.3
オ 外部からの生体導入は一切していない	72	8.6	18	9.2	25	10.0
合 計	836	100.0	196	100.0	251	100.0
回答農場数	836	—	196	—	251	—

	全 体		1~19頭		20~49頭	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	62	8.3	5	8.1	3	3.8
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	227	30.4	11	17.7	15	19.2
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	164	22.0	14	22.6	17	21.8
エ 隔離検査は特に実施していない	227	30.4	24	38.7	36	46.2
オ 外部からの生体導入は一切していない	67	9.0	8	12.9	7	9.0
合 計	747	100.0	62	100.0	78	100.0
回答農場数	747	—	62	—	78	—

自分の年齢が若い		後継者はいない/替えていない	
回答数	割合	回答数	割合
38	37.3	19	8.8
59	57.8	136	63.3
5	4.9	60	27.9
102	100.0	215	100.0

北 陸		東 海		近 畿		中国・四国		九州・沖縄	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
38	90.5	58	92.1	13	68.4	69	88.5	177	90.3
5	11.9	5	7.9	6	31.6	12	15.4	24	12.2
10	23.8	13	20.6	11	57.9	27	34.6	28	14.3
13	31.0	4	6.3	1	5.3	10	12.8	11	5.6
66	157.1	80	127.0	31	163.2	118	151.3	240	122.4
42	—	63	—	19	—	78	—	196	—

1,000～1,999頭		2,000～3,999頭		4,000～9,999頭		10,000～19,999頭		20,000頭以上	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
150	95.5	133	94.3	173	93.0	73	94.8	60	95.2
11	7.0	17	12.1	24	12.9	8	10.4	5	7.9
23	14.6	23	16.3	23	12.4	11	14.3	17	27.0
10	6.4	9	6.4	14	7.5	8	10.4	12	19.0
194	123.6	182	129.1	234	125.8	100	129.9	94	149.2
157	—	141	—	186	—	77	—	63	—

北 陸		東 海		近 畿		中国・四国		九州・沖縄	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
37	88.1	56	87.5	15	83.3	61	78.2	152	76.8
5	11.9	20	31.3	1	5.6	21	26.9	45	22.7
25	59.5	44	68.8	8	44.4	42	53.8	114	57.6
35	83.3	57	89.1	15	83.3	56	71.8	147	74.2
14	33.3	17	26.6	4	22.2	22	28.2	56	28.3
19	45.2	34	53.1	6	33.3	42	53.8	108	54.5
32	76.2	51	79.7	14	77.8	47	60.3	147	74.2
30	71.4	47	73.4	14	77.8	55	70.5	150	75.8
21	50.0	53	82.8	11	61.1	44	56.4	113	57.1
23	54.8	30	46.9	10	55.6	44	56.4	87	43.9
0	0.0	0	0.0	1	5.6	2	2.6	3	1.5
241	573.8	409	639.1	99	550.0	436	559.0	1,122	566.7
42	—	64	—	18	—	78	—	198	—

50～99頭		100～199頭		200～499頭		500～999頭		1,000頭以上	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
112	72.7	117	82.4	163	87.6	66	84.6	55	87.3
10	6.5	22	15.5	58	31.2	42	53.8	45	71.4
81	52.6	80	56.3	147	79.0	68	87.2	61	96.8
111	72.1	114	80.3	161	86.6	72	92.3	63	100.0
26	16.9	43	30.3	74	39.8	39	50.0	35	55.6
59	38.3	66	46.5	121	65.1	57	73.1	54	85.7
98	63.6	103	72.5	146	78.5	70	89.7	57	90.5
108	70.1	108	76.1	149	80.1	64	82.1	61	96.8
71	46.1	72	50.7	112	60.2	64	82.1	54	85.7
62	40.3	61	43.0	104	55.9	56	71.8	51	81.0
2	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
740	480.5	786	553.5	1,235	664.0	598	766.7	536	850.8
154	—	142	—	186	—	78	—	63	—

有限会社/資・合名会社		株式会社		農協直営		契約農場/預託農場		その他	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
235	82.7	116	87.2	3	75.0	14	73.7	17	77.3
95	33.5	72	54.1	2	50.0	3	15.8	5	22.7
203	71.5	109	82.0	3	75.0	12	63.2	14	63.6
246	86.6	119	89.5	3	75.0	15	78.9	18	81.8
105	37.0	71	53.4	2	50.0	6	31.6	3	13.6
171	60.2	96	72.2	3	75.0	10	52.6	6	27.3
208	73.2	114	85.7	3	75.0	11	57.9	13	59.1
228	80.3	114	85.7	3	75.0	16	84.2	22	100.0
172	60.6	95	71.4	3	75.0	13	68.4	16	72.7
155	54.6	98	73.7	3	75.0	7	36.8	14	63.6
1	0.4	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
1,819	640.5	1,004	754.9	29	725.0	107	563.2	128	581.8
284	—	133	—	4	—	19	—	22	—

北 陸		東 海		近 畿		中国・四国		九州・沖縄	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
14	33.3	4	6.5	3	17.6	3	3.8	13	6.8
9	21.4	22	35.5	2	11.8	24	30.8	50	26.3
7	16.7	13	21.0	5	29.4	17	21.8	41	21.6
11	26.2	18	29.0	7	41.2	27	34.6	70	36.8
1	2.4	5	8.1	0	0.0	7	9.0	16	8.4
42	100.0	62	100.0	17	100.0	78	100.0	190	100.0
42	—	62	—	17	—	78	—	190	—

50～99頭		100～199頭		200～499頭		500～999頭		1,000頭以上	
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
7	4.7	16	11.4	16	8.9	4	5.4	11	17.5
34	22.7	31	22.1	63	35.0	38	51.4	35	55.6
33	—	41	29.3	40	22.2	12	16.2	7	11.1
58	38.7	43	30.7	48	26.7	13	17.6	5	7.9
18	12.0	9	6.4	13	7.2	7	9.5	5	7.9
150	100.0	140	100.0	180	100.0	74	100.0	63	100.0
150	—	140	—	180	—	74	—	63	—

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	65	7.8	—	57	7.9	—	7	13.2	—
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	241	28.9	—	225	31.3	—	11	20.8	—
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	174	20.8	—	155	21.5	—	14	26.4	—
エ 隔離検査は特に実施していない	283	33.9	—	225	31.3	—	11	20.8	—
オ 外部からの生体導入は一切していない	72	8.6	—	58	8.1	—	10	18.9	—
合 計	835	100.0	—	720	100.0	—	53	100.0	—
回答農場数	835	—	—	720	—	—	53	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	66	7.9	—	21	6.1	—	2	4.8	—
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	241	28.8	—	69	19.9	—	10	23.8	—
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	174	20.8	—	76	21.9	—	11	26.2	—
エ 隔離検査は特に実施していない	283	33.9	—	151	43.5	—	12	28.6	—
オ 外部からの生体導入は一切していない	72	8.6	—	30	8.6	—	7	16.7	—
合 計	836	100.0	—	347	100.0	—	42	100.0	—
回答農場数	836	—	—	347	—	—	42	—	—

3 農場内への資材（農場内で使用する器具・機材等）の搬入時の対応について（〇は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	99	11.8	—	37	18.8	—	28	11.1	—
イ 消毒をしてから搬入している	250	29.8	—	61	31.0	—	57	22.5	—
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している	197	23.5	—	45	22.8	—	78	30.8	—
エ 特別な対策はせずに直接搬入している	293	34.9	—	54	27.4	—	90	35.6	—
合 計	839	100.0	—	197	100.0	—	253	100.0	—
回答農場数	839	—	—	197	—	—	253	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	99	11.8	—	17	5.0	—	1	2.3	—
イ 消毒をしてから搬入している	250	29.8	—	97	28.4	—	19	43.2	—
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している	197	23.5	—	68	19.9	—	8	18.2	—
エ 特別な対策はせずに直接搬入している	293	34.9	—	159	46.6	—	16	36.4	—
合 計	839	100.0	—	341	100.0	—	44	100.0	—
回答農場数	839	—	—	341	—	—	44	—	—

4 車輛の入退場の対応について

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 外来車輛の消毒を実施している	584	69.1	—	123	62.1	—	171	66.5	—
イ 出荷トラックの消毒を実施している	659	78.0	—	161	81.3	—	185	72.0	—
ウ 消毒ゲートを設置している	189	22.4	—	39	19.7	—	46	17.9	—
エ 動力噴霧機を設置している	612	72.4	—	135	68.2	—	173	67.3	—
オ 石灰帯を設置している	606	71.7	—	154	77.8	—	199	77.4	—
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	174	20.6	—	42	21.2	—	46	17.9	—
合 計	2,824	334.2	—	654	330.3	—	820	319.1	—
回答農場数	845	—	—	198	—	—	257	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 外来車輛の消毒を実施している	584	69.1	—	185	53.5	—	32	74.4	—
イ 出荷トラックの消毒を実施している	659	78.0	—	243	70.2	—	37	86.0	—
ウ 消毒ゲートを設置している	189	22.4	—	27	7.8	—	15	34.9	—
エ 動力噴霧機を設置している	612	72.4	—	211	61.0	—	35	81.4	—
オ 石灰帯を設置している	606	71.7	—	250	72.3	—	29	67.4	—
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	174	20.6	—	43	12.4	—	13	30.2	—
合 計	2,824	334.2	—	959	277.2	—	161	374.4	—
回答農場数	845	—	—	346	—	—	43	—	—

5 野生動物の侵入防止策について（アからエの中から〇はいくつでも）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している	516	61.1	—	144	73.1	—	148	58.3	—
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している	169	20.0	—	45	22.8	—	52	20.5	—
ウ 豚舎の開放部に防虫ネット等を張って、必要な修繕も実施している	474	56.1	—	116	58.9	—	132	52.0	—
エ ネズミ駆除等を実施している	627	74.2	—	161	81.7	—	198	78.0	—
オ 特別な対策は実施していない	88	10.4	—	13	6.6	—	27	10.6	—
カ その他の対策	19	2.2	—	3	1.5	—	4	1.6	—
合 計	1,893	224.0	—	482	244.7	—	561	220.9	—
回答農場数	845	—	—	197	—	—	254	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している	516	61.1	—	165	48.0	—	31	72.1	—
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している	169	20.0	—	40	11.6	—	10	23.3	—
ウ 豚舎の開放部に防虫ネット等を張って、必要な修繕も実施している	474	56.1	—	150	43.6	—	24	55.8	—
エ ネズミ駆除等を実施している	627	74.2	—	230	66.9	—	29	67.4	—
オ 特別な対策は実施していない	88	10.4	—	56	16.3	—	4	9.3	—
カ その他の対策	19	2.2	—	9	2.6	—	3	7.0	—
合 計	1,893	224.0	—	650	189.0	—	101	234.9	—
回答農場数	845	—	—	344	—	—	43	—	—

XIV. 環境対策

1 畜産関係の悪臭苦情の対応について

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか（A、Bのどちらかに〇）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある（a～c 〇は1つ）	169	20.4	—	35	17.8	—	57	22.9	—
a 近隣の住民より直接	69	40.8	—	12	34.3	—	25	43.9	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	94	55.6	—	22	62.9	—	31	54.4	—
c その他	6	3.6	—	1	2.9	—	1	1.8	—
A 小 計	169	100.0	—	35	100.0	—	57	100.0	—
Bない	661	79.6	—	162	82.2	—	192	77.1	—
合 計	830	100.0	—	197	100.0	—	249	100.0	—
回答農場数	830	—	—	197	—	—	249	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
1	1.6	—
5	8.1	—
5	8.1	—
47	75.8	—
4	6.5	—
62	100.0	—
62	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
27	9.8	—	12	9.2	—	1	25.0	—	1	6.3	—	2	9.1	—
102	37.1	—	53	40.8	—	0	0.0	—	2	12.5	—	5	22.7	—
54	19.6	—	27	20.8	—	1	25.0	—	0	0.0	—	5	22.7	—
73	26.5	—	26	20.0	—	2	50.0	—	11	68.8	—	8	36.4	—
19	6.9	—	12	9.2	—	0	0.0	—	2	12.5	—	2	9.1	—
275	100.0	—	130	100.0	—	4	100.0	—	16	100.0	—	22	100.0	—
275	—	—	130	—	—	4	—	—	16	—	—	22	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
5	11.9	—	9	14.1	—	0	0.0	—	4	5.3	—	16	8.3	—
10	23.8	—	17	26.6	—	5	33.3	—	30	40.0	—	70	36.3	—
11	26.2	—	19	29.7	—	2	13.3	—	11	14.7	—	31	16.1	—
16	38.1	—	19	29.7	—	8	53.3	—	30	40.0	—	76	39.4	—
42	100.0	—	64	100.0	—	15	100.0	—	75	100.0	—	193	100.0	—
42	—	—	64	—	—	15	—	—	75	—	—	193	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
44	15.8	—	27	20.5	—	1	25.0	—	5	27.8	—	4	18.2	—
66	23.7	—	56	41.7	—	1	25.0	—	6	33.3	—	6	27.3	—
87	31.3	—	25	18.9	—	1	25.0	—	3	16.7	—	5	22.7	—
81	29.1	—	25	18.9	—	1	25.0	—	4	22.2	—	7	31.8	—
278	100.0	—	132	100.0	—	4	100.0	—	18	100.0	—	22	100.0	—
278	—	—	132	—	—	4	—	—	18	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
29	72.5	—	54	84.4	—	8	50.0	—	51	68.0	—	148	75.9	—
37	92.5	—	51	79.7	—	13	81.3	—	51	68.0	—	161	82.6	—
6	15.0	—	13	20.3	—	2	12.5	—	19	25.3	—	64	32.8	—
29	72.5	—	55	85.9	—	8	50.0	—	55	73.3	—	157	80.5	—
29	72.5	—	47	73.4	—	11	68.8	—	43	57.3	—	123	63.1	—
10	25.0	—	14	21.9	—	5	31.3	—	15	20.0	—	42	21.5	—
140	350.0	—	234	365.6	—	47	293.8	—	234	312.0	—	695	356.4	—
40	—	—	64	—	—	16	—	—	75	—	—	195	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場・預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
223	79.6	—	115	87.1	—	3	75.0	—	12	63.2	—	14	66.7	—
237	84.6	—	112	84.8	—	3	75.0	—	12	63.2	—	15	71.4	—
73	26.1	—	58	43.9	—	1	25.0	—	4	21.1	—	11	52.4	—
227	81.1	—	110	83.3	—	3	75.0	—	13	68.4	—	13	61.9	—
205	73.2	—	93	70.5	—	3	75.0	—	13	68.4	—	13	61.9	—
74	26.4	—	35	26.5	—	0	0.0	—	4	21.1	—	5	23.8	—
1,039	371.1	—	523	396.2	—	13	325.0	—	58	305.3	—	71	338.1	—
280	—	—	132	—	—	4	—	—	19	—	—	21	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
31	73.8	—	37	60.7	—	9	50.0	—	51	66.2	—	96	49.0	—
8	19.0	—	7	11.5	—	3	16.7	—	16	20.8	—	38	19.4	—
35	83.3	—	37	60.7	—	12	66.7	—	37	48.1	—	105	53.6	—
36	85.7	—	38	62.3	—	7	38.9	—	50	64.9	—	137	69.9	—
1	2.4	—	4	6.6	—	3	16.7	—	11	14.3	—	29	14.8	—
0	0.0	—	3	4.9	—	0	0.0	—	5	6.5	—	4	2.0	—
111	264.3	—	126	206.6	—	34	188.9	—	170	220.8	—	409	208.7	—
42	—	—	61	—	—	18	—	—	77	—	—	196	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
195	69.6	—	96	72.2	—	3	75.0	—	13	68.4	—	13	59.1	—
66	23.6	—	39	29.3	—	3	75.0	—	3	15.8	—	8	36.4	—
185	66.1	—	91	68.4	—	3	75.0	—	11	57.9	—	10	45.5	—
223	79.6	—	112	84.2	—	4	100.0	—	12	63.2	—	17	77.3	—
17	6.1	—	6	4.5	—	0	0.0	—	2	10.5	—	3	13.6	—
6	2.1	—	1	0.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
692	247.1	—	345	259.4	—	13	325.0	—	41	215.8	—	51	231.8	—
280	—	—	133	—	—	4	—	—	19	—	—	22	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
14	35.0	—	17	28.8	—	1	6.3	—	11	14.9	—	34	17.4	—
4	28.6	—	8	47.1	—	1	100.0	—	6	54.5	—	13	38.2	—
10	71.4	—	7	41.2	—	0	0.0	—	5	45.5	—	19	55.9	—
0	0.0	—	2	11.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	5.9	—
14	100.0	—	17	100.0	—	1	100.0	—	11	100.0	—	34	100.0	—
26	65.0	—	42	71.2	—	15	93.8	—	63	85.1	—	161	82.6	—
40	100.0	—	59	100.0	—	16	100.0	—	74	100.0	—	195	100.0	—
40	—	—	59	—	—	16	—	—	74	—	—	195	—	—

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある (a~c Oは1つ)	169	20.4	—	156	21.8	—	5	10.0	—
a 近隣の住民より直接	69	40.8	—	65	41.7	—	3	60.0	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	94	55.6	—	85	54.5	—	2	40.0	—
c その他	6	3.6	—	6	3.8	—	0	0.0	—
A 小 計	169	100.0	—	156	100.0	—	5	100.0	—
Bない	660	79.6	—	559	78.2	—	45	90.0	—
合 計	829	100.0	—	715	100.0	—	50	100.0	—
回答農場数	829	—	—	715	—	—	50	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある (a~c Oは1つ)	169	20.4	—	48	14.4	—	11	25.6	—
a 近隣の住民より直接	69	40.8	—	23	46.9	—	5	45.5	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	94	55.6	—	25	51.0	—	5	45.5	—
c その他	6	3.6	—	1	2.0	—	1	9.1	—
A 小 計	169	100.0	—	49	100.0	—	11	100.0	—
Bない	661	79.6	—	285	85.6	—	32	74.4	—
合 計	830	100.0	—	333	100.0	—	43	100.0	—
回答農場数	830	—	—	333	—	—	43	—	—

	全 体			1~19頭			20~49頭		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある (a~c Oは1つ)	154	20.9	—	0	0.0	—	8	10.8	—
a 近隣の住民より直接	65	42.2	—	0	0.0	—	3	37.5	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	83	53.9	—	0	0.0	—	5	62.5	—
c その他	6	3.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—
A 小 計	154	100.0	—	0	0.0	—	8	100.0	—
Bない	584	79.1	—	59	100.0	—	66	89.2	—
合 計	738	100.0	—	59	100.0	—	74	100.0	—
回答農場数	738	—	—	59	—	—	74	—	—

イ (前頁1のアでAと回答した方) 苦情を減らすための方法等を公的機関に相談しましたか (A、BのどちらかにO)

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A相談した (a~f Oは1つ)	110	53.9	—	18	38.3	—	37	53.6	—
a アドバイスを試したところ、有効であった	35	37.6	—	2	11.8	—	14	50.0	—
b アドバイスを試したが、有効でなかった	13	14.0	—	4	23.5	—	0	0.0	—
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない	36	38.7	—	8	47.1	—	8	28.6	—
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから	3	3.2	—	1	5.9	—	2	7.1	—
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから	3	3.2	—	1	5.9	—	2	7.1	—
f まだアドバイスを受けていない	3	3.2	—	1	5.9	—	2	7.1	—
A 小 計	93	100.0	—	17	100.0	—	28	100.0	—
B相談しなかった (a~d Oは1つ)	94	46.1	—	29	61.7	—	32	46.4	—
a どの公的機関に相談して良いかわからなかったから	8	11.4	—	1	5.0	—	4	16.0	—
b アドバイスは必要ないと感じたから	31	44.3	—	9	45.0	—	9	36.0	—
c 公的機関以外に相談しているから	13	18.6	—	4	20.0	—	4	16.0	—
d その他	18	25.7	—	6	30.0	—	8	32.0	—
B 小 計	70	100.0	—	20	100.0	—	25	100.0	—
合 計	204	100.0	—	47	100.0	—	69	100.0	—
回答農場数	204	—	—	47	—	—	69	—	—

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A相談した (a~f Oは1つ)	110	53.9	—	101	55.5	—	2	20.0	—
a アドバイスを試したところ、有効であった	35	37.6	—	30	35.3	—	0	0.0	—
b アドバイスを試したが、有効でなかった	13	14.0	—	12	14.1	—	0	0.0	—
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない	36	38.7	—	34	40.0	—	1	100.0	—
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから	3	3.2	—	3	3.5	—	0	0.0	—
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから	3	3.2	—	3	3.5	—	0	0.0	—
f まだアドバイスを受けていない	3	3.2	—	3	3.5	—	0	0.0	—
A 小 計	93	100.0	—	85	100.0	—	1	100.0	—
B相談しなかった (a~d Oは1つ)	94	46.1	—	81	44.5	—	8	80.0	—
a どの公的機関に相談して良いかわからなかったから	8	11.4	—	8	12.1	—	0	0.0	—
b アドバイスは必要ないと感じたから	31	44.3	—	28	42.4	—	2	100.0	—
c 公的機関以外に相談しているから	13	18.6	—	13	19.7	—	0	0.0	—
d その他	18	25.7	—	17	25.8	—	0	0.0	—
B 小 計	70	100.0	—	66	100.0	—	2	100.0	—
合 計	204	100.0	—	182	100.0	—	10	100.0	—
回答農場数	204	—	—	182	—	—	10	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A相談した (a~f Oは1つ)	110	53.9	—	22	33.8	—	8	72.7	—
a アドバイスを試したところ、有効であった	35	37.6	—	8	50.0	—	2	33.3	—
b アドバイスを試したが、有効でなかった	13	14.0	—	3	18.8	—	3	50.0	—
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない	36	38.7	—	5	31.3	—	1	16.7	—
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから	3	3.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから	3	3.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—
f まだアドバイスを受けていない	3	3.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—
A 小 計	93	100.0	—	16	100.0	—	6	100.0	—
B相談しなかった (a~d Oは1つ)	94	46.1	—	43	66.2	—	3	27.3	—
a どの公的機関に相談して良いかわからなかったから	8	11.4	—	3	9.7	—	1	50.0	—
b アドバイスは必要ないと感じたから	31	44.3	—	15	48.4	—	0	0.0	—
c 公的機関以外に相談しているから	13	18.6	—	7	22.6	—	0	0.0	—
d その他	18	25.7	—	6	19.4	—	1	50.0	—
B 小 計	70	100.0	—	31	100.0	—	2	100.0	—
合 計	204	100.0	—	65	100.0	—	11	100.0	—
回答農場数	204	—	—	65	—	—	11	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
8	12.5	—
1	12.5	—
7	87.5	—
0	0.0	—
8	100.0	—
56	87.5	—
64	100.0	—
64	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
67	24.2	—	35	26.5	—	3	75.0	—	5	26.3	—	0	0.0	—
25	37.9	—	15	42.9	—	0	0.0	—	1	20.0	—	0	0.0	—
39	59.1	—	20	57.1	—	1	33.3	—	4	80.0	—	0	0.0	—
2	3.0	—	0	0.0	—	2	66.7	—	0	0.0	—	0	0.0	—
66	100.0	—	35	100.0	—	3	100.0	—	5	100.0	—	0	0.0	—
210	75.8	—	97	73.5	—	1	25.0	—	14	73.7	—	22	100.0	—
277	100.0	—	132	100.0	—	4	100.0	—	19	100.0	—	22	100.0	—
277	—	—	132	—	—	4	—	—	19	—	—	22	—	—

50～99頭			100～199頭			200～499頭			500～999頭			1,000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
25	16.6	—	25	18.8	—	51	27.7	—	24	32.0	—	21	33.9	—
12	46.2	—	11	45.8	—	21	41.2	—	9	37.5	—	9	42.9	—
13	50.0	—	13	54.2	—	26	51.0	—	15	62.5	—	11	52.4	—
1	3.8	—	0	0.0	—	4	7.8	—	0	0.0	—	1	4.8	—
26	100.0	—	24	100.0	—	51	100.0	—	24	100.0	—	21	100.0	—
126	83.4	—	108	81.2	—	133	72.3	—	51	68.0	—	41	66.1	—
151	100.0	—	133	100.0	—	184	100.0	—	75	100.0	—	62	100.0	—
151	—	—	133	—	—	184	—	—	75	—	—	62	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
11	84.6	—	13	76.5	—	0	0.0	—	9	45.0	—	22	61.1	—
4	36.4	—	2	20.0	—	0	0.0	—	5	71.4	—	8	40.0	—
2	18.2	—	4	40.0	—	0	0.0	—	1	14.3	—	2	10.0	—
5	45.5	—	4	40.0	—	0	0.0	—	1	14.3	—	10	50.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
11	100.0	—	10	100.0	—	0	0.0	—	7	100.0	—	20	100.0	—
2	15.4	—	4	23.5	—	2	100.0	—	11	55.0	—	14	38.9	—
1	50.0	—	0	0.0	—	1	50.0	—	0	0.0	—	1	9.1	—
0	0.0	—	3	100.0	—	1	50.0	—	3	42.9	—	6	54.5	—
1	50.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	28.6	—	2	18.2	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	28.6	—	2	18.2	—
2	100.0	—	3	100.0	—	2	100.0	—	7	100.0	—	11	100.0	—
13	100.0	—	17	100.0	—	2	100.0	—	20	100.0	—	36	100.0	—
13	—	—	17	—	—	2	—	—	20	—	—	36	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
7	58.3	—
5	71.4	—
1	14.3	—
1	14.3	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
7	100.0	—
5	41.7	—
0	0.0	—
1	50.0	—
0	0.0	—
1	50.0	—
2	100.0	—
12	100.0	—
12	—	—

有限会社自資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場預託農場			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
50	63.3	—	27	65.9	—	1	33.3	—	2	40.0	—	2	33.3	—
15	34.9	—	8	32.0	—	0	0.0	—	2	100.0	—	1	50.0	—
4	9.3	—	3	12.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
18	41.9	—	11	44.0	—	1	100.0	—	0	0.0	—	1	50.0	—
2	4.7	—	1	4.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
2	4.7	—	1	4.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
2	4.7	—	1	4.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
43	100.0	—	25	100.0	—	1	100.0	—	2	100.0	—	2	100.0	—
29	36.7	—	14	34.1	—	2	66.7	—	3	60.0	—	4	66.7	—
3	13.6	—	1	9.1	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
8	36.4	—	6	54.5	—	2	100.0	—	0	0.0	—	1	25.0	—
4	18.2	—	2	18.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	25.0	—
7	31.8	—	2	18.2	—	0	0.0	—	2	100.0	—	2	50.0	—
22	100.0	—	11	100.0	—	2	100.0	—	2	100.0	—	4	100.0	—
79	100.0	—	41	100.0	—	3	100.0	—	5	100.0	—	6	100.0	—
79	—	—	41	—	—	3	—	—	5	—	—	6	—	—

ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後どのような役割を期待しますか（AからFの中から○は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい	324	63.7	—	76	66.1	—	109	67.3	—
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい	105	20.6	—	27	23.5	—	33	20.4	—
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい	55	10.8	—	10	8.7	—	24	14.8	—
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい	92	18.1	—	21	18.3	—	21	13.0	—
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい	25	4.9	—	7	6.1	—	8	4.9	—
F その他	35	6.9	—	11	9.6	—	9	5.6	—
合 計	636	125.0	—	152	132.2	—	204	125.9	—
回答農場数	509	—	—	115	—	—	162	—	—

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい	324	63.7	—	297	66.4	—	13	46.4	—
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい	105	20.6	—	89	19.9	—	8	28.6	—
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい	55	10.8	—	47	10.5	—	4	14.3	—
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい	92	18.1	—	73	16.3	—	8	28.6	—
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい	25	4.9	—	23	5.1	—	0	0.0	—
F その他	35	6.9	—	32	7.2	—	2	7.1	—
合 計	636	125.0	—	561	125.5	—	35	125.0	—
回答農場数	509	—	—	447	—	—	28	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい	324	63.7	—	105	57.1	—	14	50.0	—
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい	105	20.6	—	36	19.6	—	4	14.3	—
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい	55	10.8	—	18	9.8	—	6	21.4	—
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい	92	18.1	—	35	19.0	—	7	25.0	—
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい	25	4.9	—	8	4.3	—	1	3.6	—
F その他	35	6.9	—	15	8.2	—	4	14.3	—
合 計	636	125.0	—	217	117.9	—	36	128.6	—
回答農場数	509	—	—	184	—	—	28	—	—

2 ふん尿の処理状況（平成26年1～12月）

ア 自家で飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入して下さい（放牧した期間は除く）

	① ふん								
	回 答		処理量割合（平均値）					回 答	
	回答数	割合	自家処理	共同	公共下水道	その他	処理施設以外	回答数	割合
自家処理	555	79.2	100.0					546	82.0
自家処理 + 共同施設	36	5.1	47.4	52.6				10	1.5
自家処理 + 共同施設 + その他	1	0.1	80.0	15.0		5.0		1	0.2
自家処理 + 公共下水道								1	0.2
自家処理 + その他 + 処理施設以外	1	0.1	30.0			30.0	40.0		
自家処理 + その他	3	0.4	43.3			56.7			
自家処理 + 共同施設 + 処理施設以外	16	2.3	57.8				42.2	4	0.6
共同施設 + 処理施設以外	1	0.1		80.0			20.0		
共同施設	47	6.7		100.0				44	6.6
共同施設 + 公共下水道									
共同施設 + 公共下水道 + 処理施設以外									
共同施設 + 公共下水道	1	0.1			100.0			9	1.4
共同施設 + 公共下水道 + その他 + 処理施設以外	1	0.1				70.0	30.0	1	0.2
共同施設 + 公共下水道 + その他	6	0.9				100.0		7	1.1
共同施設 + 公共下水道 + その他 + 処理施設以外	33	4.7					100.0	43	6.5
合 計	701	100.0	95.4	78.3	75.0	72.9	5.8	666	100.0
回答農場数	701	—	—	—	—	—	—	666	—

して処理する場合）又は「堆肥センターでの処理」をいう

※2 その他の処理施設とは、「個人の施設に処理を委託・譲渡した場合」をいう

3 農場におけるアニマルウェルフェアの取組について（○は1つだけ）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 飼料管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている	78	10.2	—	19	10.4	—	26	11.4	—
B アニマルウェルフェアについて具体的な検討中	78	10.2	—	23	12.6	—	22	9.6	—
C アニマルウェルフェアについて十分理解していないので情報が欲しい	192	25.2	—	49	26.8	—	49	21.4	—
D 特に考えていない	413	54.3	—	92	50.3	—	132	57.6	—
合 計	761	100.0	—	183	100.0	—	229	100.0	—
回答農場数	761	—	—	183	—	—	229	—	—

	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 飼料管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている	78	10.2	—	68	10.3	—	1	2.3	—
B アニマルウェルフェアについて具体的な検討中	78	10.2	—	70	10.6	—	5	11.4	—
C アニマルウェルフェアについて十分理解していないので情報が欲しい	192	25.2	—	169	25.6	—	13	29.5	—
D 特に考えていない	413	54.3	—	354	53.6	—	25	56.8	—
合 計	761	100.0	—	661	100.0	—	44	100.0	—
回答農場数	761	—	—	661	—	—	44	—	—

	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 飼料管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている	78	10.2	—	23	8.0	—	4	9.5	—
B アニマルウェルフェアについて具体的な検討中	78	10.2	—	14	4.8	—	4	9.5	—
C アニマルウェルフェアについて十分理解していないので情報が欲しい	192	25.2	—	82	28.4	—	11	26.2	—
D 特に考えていない	413	54.3	—	170	58.8	—	23	54.8	—
合 計	761	100.0	—	289	100.0	—	42	100.0	—
回答農場数	761	—	—	289	—	—	42	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合	
19	76.0	—	22	52.4	—	2	22.2	—	22	52.4	—	74	64.9	—
6	24.0	—	6	14.3	—	1	11.1	—	5	11.9	—	27	23.7	—
2	8.0	—	5	11.9	—	2	22.2	—	3	7.1	—	9	7.9	—
3	12.0	—	7	16.7	—	2	22.2	—	10	23.8	—	28	24.6	—
2	8.0	—	1	2.4	—	0	0.0	—	4	9.5	—	3	2.6	—
4	16.0	—	5	11.9	—	2	22.2	—	3	7.1	—	1	0.9	—
36	144.0	—	46	109.5	—	9	100.0	—	47	111.9	—	142	124.6	—
25	—	—	42	—	—	9	—	—	42	—	—	114	—	—

肥育経営		
回答数	割 合	
14	41.2	—
8	23.5	—
4	11.8	—
11	32.4	—
2	5.9	—
1	2.9	—
40	117.6	—
34	—	—

有限会社・合資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場・預託農場			その他		
回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合	
127	70.9	—	61	70.1	—	3	100.0	—	6	46.2	—	8	53.3	—
49	27.4	—	11	12.6	—	0	0.0	—	3	23.1	—	2	13.3	—
15	8.4	—	9	10.3	—	0	0.0	—	1	7.7	—	6	40.0	—
24	13.4	—	22	25.3	—	0	0.0	—	4	30.8	—	0	0.0	—
10	5.6	—	5	5.7	—	0	0.0	—	1	7.7	—	0	0.0	—
8	4.5	—	5	5.7	—	0	0.0	—	2	15.4	—	1	6.7	—
233	130.2	—	113	129.9	—	3	100.0	—	17	130.8	—	17	113.3	—
179	—	—	87	—	—	3	—	—	13	—	—	15	—	—

② 尿				③ ふん尿混合									
処理量割合（平均値）				処理量割合（平均値）									
自家処理	共同	公共下水道	その他	回答		自家処理		共同		公共下水道		その他	
				回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
100.0				272	76.8	100.0							
56.5	43.5			6	1.7	43.3		56.7					
80.0	15.0		5.0										
50.0		50.0											
70.0				4	1.1	67.5						32.5	
				2	0.6			75.0				25.0	
				21	5.9			100.0					
				1	0.3			50.0					
				#REF!	#REF!								
		100.0		9	2.5			100.0					
			20.0	4	1.1							100.0	
			100.0	33	9.3								100.0
98.9	88.2	95.0	80.6	354	100.0	98.3	88.0	89.6	100.0	100.0	10.0		
—	—	—	—	354	—	—	—	—	—	—	—	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合	
4	10.3	—	2	3.9	—	2	14.3	—	13	18.3	—	12	6.9	—
6	15.4	—	4	7.8	—	2	14.3	—	5	7.0	—	16	9.2	—
8	20.5	—	14	27.5	—	3	21.4	—	12	16.9	—	57	32.8	—
21	53.8	—	31	60.8	—	7	50.0	—	41	57.7	—	89	51.1	—
39	100.0	—	51	100.0	—	14	100.0	—	71	100.0	—	174	100.0	—
39	—	—	51	—	—	14	—	—	71	—	—	174	—	—

肥育経営		
回答数	割 合	
9	16.1	—
3	5.4	—
10	17.9	—
34	60.7	—
56	100.0	—
56	—	—

有限会社・合資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場・預託農場			その他		
回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合		回答数	割 合	
21	8.0	—	20	15.7	—	0	0.0	—	2	13.3	—	8	38.1	—
37	14.1	—	18	14.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—	5	23.8	—
62	23.6	—	34	26.8	—	0	0.0	—	1	6.7	—	2	9.5	—
143	54.4	—	55	43.3	—	4	100.0	—	12	80.0	—	6	28.6	—
263	100.0	—	127	100.0	—	4	100.0	—	15	100.0	—	21	100.0	—
263	—	—	127	—	—	4	—	—	15	—	—	21	—	—

XV. 豚肉輸出

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組について

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
A既に輸出している	2	0.3	—	2	1.1	—	0	0.0	—
年間輸出量	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
B輸出について準備中	5	0.6	—	1	0.5	—	2	0.8	—
a 自ら輸出ルートを構築（または構築予定）	2	0.3	—	1	0.5	—	0	0.0	—
b 農協系ルートを利用（又は利用予定）	2	0.3	—	0	0.0	—	1	0.4	—
c 大手ハムメーカールートを利用（または利用予定）	1	0.1	—	0	0.0	—	1	0.4	—
d 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	78	9.9	—	19	10.3	—	22	9.1	—
D 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている	19	2.4	—	8	4.3	—	5	2.1	—
E 特に考えていない	681	86.8	—	154	83.7	—	214	88.1	—
合計	785	100.0	—	184	100.0	—	243	100.0	—
回答農場数	785	—	—	184	—	—	243	—	—

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
A既に輸出している	2	0.3	—	2	0.3	—	0	0.0	—
年間輸出量	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
B輸出について準備中	5	0.6	—	5	0.7	—	0	0.0	—
a 自ら輸出ルートを構築（または構築予定）	2	0.3	—	2	0.3	—	0	0.0	—
b 農協系ルートを利用（又は利用予定）	2	0.3	—	2	0.3	—	0	0.0	—
c 大手ハムメーカールートを利用（または利用予定）	1	0.1	—	1	0.1	—	0	0.0	—
d 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	78	9.9	—	74	10.7	—	2	5.4	—
D 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている	19	2.4	—	19	2.7	—	0	0.0	—
E 特に考えていない	681	86.8	—	591	85.5	—	35	94.6	—
合計	785	100.0	—	691	100.0	—	37	100.0	—
回答農場数	785	—	—	691	—	—	37	—	—

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
A既に輸出している	2	0.3	—	1	0.3	—	0	0.0	—
年間輸出量	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
B輸出について準備中	5	0.6	—	1	0.3	—	1	2.4	—
a 自ら輸出ルートを構築（または構築予定）	2	0.3	—	0	0.0	—	1	2.4	—
b 農協系ルートを利用（又は利用予定）	2	0.3	—	1	0.3	—	0	0.0	—
c 大手ハムメーカールートを利用（または利用予定）	1	0.1	—	0	0.0	—	0	0.0	—
d 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C 飼料メーカールートを利用（または利用予定）	78	9.9	—	19	6.3	—	4	9.5	—
D 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている	19	2.4	—	6	2.0	—	2	4.8	—
E 特に考えていない	681	86.8	—	276	91.1	—	35	83.3	—
合計	785	100.0	—	303	100.0	—	42	100.0	—
回答農場数	785	—	—	303	—	—	42	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.4	—	1	0.6	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	0.6	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	1.4	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
2	5.0	—	5	8.1	—	4	26.7	—	5	7.1	—	21	12.3	—
0	0.0	—	1	1.6	—	1	6.7	—	0	0.0	—	4	2.3	—
38	95.0	—	56	90.3	—	10	66.7	—	64	91.4	—	145	84.8	—
40	100.0	—	62	100.0	—	15	100.0	—	70	100.0	—	171	100.0	—
40	—	—	62	—	—	15	—	—	70	—	—	171	—	—

肥育経営		
回答数	割合	計年間輸出量
0	0.0	—
0	—	0.0
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
2	3.5	—
0	0.0	—
55	96.5	—
57	100.0	—
57	—	—

有限会社・合資・合名会社			株式会社			農協直営			契約農場・預託農場			その他		
回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量	回答数	割合	計年間輸出量
0	0.0	—	1	0.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
2	0.7	—	1	0.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	0.4	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	0.4	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	1	0.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
40	14.6	—	15	11.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
4	1.5	—	7	5.6	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
228	83.2	—	102	81.0	—	4	100.0	—	14	100.0	—	22	100.0	—
274	100.0	—	126	100.0	—	4	100.0	—	14	100.0	—	22	100.0	—
274	—	—	126	—	—	4	—	—	14	—	—	22	—	—

養豚農業実態調査票(平成27年度)

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

1 調査目的

本事業は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態を把握し分析することにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、独立行政法人農畜産業振興機構の委託を受け、一般社団法人日本養豚協会が実施するもので、全養豚生産者を対象にしております。

2 調査項目

経営の概況、繁殖・肥育等の成績、交配方法、経営の推移と今後の動向、衛生レベル、環境対策などについてお伺いいたします。

3 調査票記入についてのお願い

・調査票は農場毎にご記入くださるようお願いいたします。ただし、同一敷地や隣接している敷地に第1農場、第2農場となっている場合は1つの農場として記入ください。

・なお、農場毎にデータを集計していない場合は、メインの農場に全体の成績を記入し他の農場は空欄としてください。また、設問によっては農場単位ではなく1経営体として回答した方が適当である場合も考えられますので、そのような場合もメインの農場のみ記入し他の農場は空欄としてください。

・必ずボールペン、万年筆、サインペンなど消えにくいもので記入してください。(鉛筆では記入しないでください。)

・回答は番号の()に○をするものと、□に数値を記入するもの、また、文章を記入するものがあります。□の数値の記入に当たっては、1つの枠に1文字ずつ右詰で記入してください。

・お手数ですが、経営中止された方又は廃業された方は、2頁に農場名又は法人名を記入するとともに、2頁中段の注の該当欄に○を記入して返送してください。

4 調査票、調査結果の取扱いについて

・ご記入後は、同封の返信用封筒にいれ、**11月10日(火)**までにご投函くださるようお願いいたします。

・日本養豚協会では、担当者が当協会の「**個人情報保護規程**」(<http://pig.lin.gr.jp>掲載)に従って管理するとともに内容確認を行います。

・データ入力は、当協会の「**個人情報保護規程**」に基づき契約を交わした業者に依頼します。

・データは、当協会の決められたコンピュータ上で担当職員のみ処理、閲覧が出来ないよう管理します。

・最終調査結果については、全国、地域(ブロック)別に集計、分析し報告書としてとりまとめます。**(都道府県毎の集計や、個人情報は一切公表しません。)**

5 報告書及び粗品の送付について

・ご協力いただいた方には、報告書及び粗品をお送りいたします。

【問い合わせ先】 一般社団法人日本養豚協会 (J P P A)

小磯 (E-mail:koiso@pig-pins.com)

山梨(E-mail:yamanashi@pig-pins.com)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-20

TEL : 03 (3 3 7 0) 5 4 7 3 / FAX : 03 (3 3 7 0) 7 9 3 7

I 経営者等

フリガナ 農場名	※	フリガナ 農場責任者		性別 男・女 生年 大正 昭和 平成 西暦 年
※農場名がない方は、無理に記入する必要はありません。				
所在地	〒 -		都道 市 区 府県 郡 町村	
電話番号		F A X 番号		

◎ 法人経営の場合のみご記入ください。

フリガナ 法人名	※	フリガナ 代表者氏名	※※	性別 男・女 生年 大正 昭和 平成 西暦 年
※ 有限会社、株式会社、合資会社等法人格を必ず記入してください。また法人の中に養豚を統括する部署がある場合は部署名も記入してください。 ※※ 社長以外に養豚を統括する責任者がいる場合は、できる限り現場に近い責任者を記入してください。				
本社所在地	〒 -		都道 市 区 府県 郡 町村	
電話番号		FAX番号		

(注) 経営を中止又は廃業されている場合は、農場名又は法人名のみご記入の上、下記該当欄に○を記入して返送してください。(この頁のみFAX可)

(1 () 経営中止、 2 () 廃業)

II 経営形態 (1から8の中から○は1つだけ)

1 () 個人経営(家族労働主体)(契約農場、預託農場除く。)			
2 () 農事組合法人の農場			
3 () 有限会社(L L C法人を含む。)(○をした方はア又はイに1つだけ○)			
	<table border="1"> <tr> <td>ア () 有限会社○○養豚等</td> </tr> <tr> <td>イ () 有限会社□□養豚の△△農場等</td> </tr> </table>	ア () 有限会社○○養豚等	イ () 有限会社□□養豚の△△農場等
ア () 有限会社○○養豚等			
イ () 有限会社□□養豚の△△農場等			
4 () 合資会社・合名会社 (○をした方はア又はイに1つだけ○)			
	<table border="1"> <tr> <td>ア () 合名会社・合資会社○○養豚等</td> </tr> <tr> <td>イ () 合名会社・合資会社□□養豚の△△農場等</td> </tr> </table>	ア () 合名会社・合資会社○○養豚等	イ () 合名会社・合資会社□□養豚の△△農場等
ア () 合名会社・合資会社○○養豚等			
イ () 合名会社・合資会社□□養豚の△△農場等			
5 () 株式会社 (○をした方はア又はイに1つだけ○)			
	<table border="1"> <tr> <td>ア () 株式会社○○養豚等</td> </tr> <tr> <td>イ () 株式会社□□養豚の△△農場等</td> </tr> </table>	ア () 株式会社○○養豚等	イ () 株式会社□□養豚の△△農場等
ア () 株式会社○○養豚等			
イ () 株式会社□□養豚の△△農場等			
6 () 農業協同組合法人(農協等)の直営養豚場			
7 () 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場(又は法人)			
8 () その他(都道府県、公益法人、学校法人等上記1から7以外)			

Ⅲ 経営タイプ

1 () 一貫経営 (主なものをアからオに1つだけ○)

ア () 一貫経営の繁殖農場 (○をした方はAからDに1つだけ○)

A () 純粋種豚生産農場

B () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

C () 子取り用雌豚生産農場

D () 肉用子豚の生産農場

イ () 一貫経営の子豚育成農場

ウ () 一貫経営の肥育農場

エ () 一貫経営の一貫生産農場

オ () 一貫経営の豚人工授精所

2 () 繁殖経営 (主なものをアからオに1つだけ○)

ア () 純粋種豚生産農場

イ () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

ウ () 子取り用雌豚生産農場

エ () 肉用子豚の生産農場

オ () 豚人工授精所

3 () 肥育経営

Ⅳ 養豚従事者数

1 () 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	..	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 人		
2 () 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 人		
3 () 非常勤雇員(必要な日、必要な時間で雇用)		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 人		
4 () その他(豚肉加工・販売など担当)		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 人		

Ⅴ 後継者 (○は1つだけ、1と2に○の場合は年齢を記入)

1 () 決まっている。 (後継者の年齢

--	--

 歳)

2 () 対象者はいるが、現在は決まっていない。 (対象者の年齢

--	--

 歳)

3 () 自分の年齢が若いので考えていない。

4 () 後継者はいない・考えていない。

5 () 経営形態が後継者と関係ない。(株式会社等)

VI 飼養頭数 (平成27年8月1日現在)

1 ♀子取り用雌豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	LW	WL	※LW.WL何れか		※※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数						(※※※)		

※LWとWLの頭数区分が出来ない場合は合計数を「LW、WL何れか」に記入

※※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む。

※※※の()にはハイブリッド名を記入

2 ♂利用中の種雄豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	HD	DH	BD	DB	※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数							(※※)	

※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む

※※の()にはハイブリッド名を記入

- 3 育成豚(繁殖利用予定で未交配〈雌、雄〉のもの)

--	--	--	--	--	--

 頭
- 4 子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの)

--	--	--	--	--	--

 頭
- 5 肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの)

--	--	--	--	--	--

 頭

VII 出荷頭数等 (平成26年1～12月の総頭数)

1 年間肉豚出荷頭数	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							頭
2 繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							頭
3 年間肉用子豚出荷(同一経営の農場間移動を含む。)頭数	...	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							頭
4 種豚候補豚(純粋・F1等)の出荷(同一経営の農場間移動含む。)頭数	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							頭

VIII 肉豚出荷日数、出荷体重、枝肉重量 (平成26年1～12月の総頭数)

1 肉豚出荷日齢平均(生後日齢)	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>				日齢
2 肉豚出荷生体重平均	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>				kg
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>				kg

IX 繁殖・肥育等の成績

1 繁殖成績 (平成26年1～12月の平均)			
ア	1腹当たり(1分娩当たり)平均哺乳開始頭数	□□.□	頭
イ	1腹当たり(1分娩当たり)平均離乳頭数	□□.□	頭
ウ	平均育成率 (イ÷ア×100)	□□.□	%
エ	平均受胎数 (受胎頭数÷種付頭数×100)	□□.□	%
オ	平均分娩率 (分娩頭数÷種付頭数×100)	□□.□	%
カ	母豚の年間平均分娩回数 (年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数)	□	回
<hr/>			
2 年間肉豚出荷頭数の格付割合 (平成26年)			
ア 格付している割合			
A	日格協の格付 (年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100)	□□.□	%
B	自主格付 (年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100)	□□.□	%
イ	格付していない(生体出荷)割合 (年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100)	□□.□	%
計		100.0	%
<hr/>			
3 「上」物率 (平成26年)			
	格付している肉豚の上物率 ((年間「極上」+「上」頭数)÷年間出荷頭数×100)	□□.□	%
<hr/>			
4 農場飼料要求率 (平成26年)			
	農場飼料要求率 (期間飼料消費量÷期間増体重)	□□.□	
<hr/>			
5 事故率 (平成26年1～12月の平均)			
ア	子豚舎・子豚豚房(離乳後から肥育組入れまで)	□□.□	%
	(期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)		
A	() 前年より良くなった。		
B	() 前年と変わらない。		
C	() 前年より悪くなった。		
イ	肥育舎・肥育豚房(肥育組入れから出荷時まで)	□□.□	%
	(期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100) (○は1つだけ)		
A	() 前年より良くなった。		
B	() 前年と変わらない。		
C	() 前年より悪くなった。		

X 交配方法

1 発情期の基本交配(授精) (○は1つだけ)	
ア	() 1回
イ	() 2回～3回
ウ	() 4回以上
エ	() 不明

2 交配方法 (○は1つだけ)

- ア () 自然交配のみ (人工授精は全く行っていない。)
- イ () 自然交配を主とし、人工授精を従としている。
- ウ () 人工授精を主とし、自然交配を従としている。
- エ () 人工授精のみ

3 交配方法の対象雌豚割合

ア 自然交配のみで交配している雌豚	□ □ □ □ . □ %
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚	□ □ □ □ . □ %
ウ 人工授精のみで交配している雌豚	□ □ □ □ . □ %
計	1 0 0 . 0 %

4 人工授精を実施している方 (2でイ、ウ又はエと回答した方)

ア 精液の入手方法について (○は1つだけ)

- A () すべて自家産(同一経営の別農場産も含む。)
- B () すべて外部(都道府県試験場、民間人工授精所等)から購入
- C () 自家産と外部導入の併用

イ 生産、導入本数とボトルの容量 (平成26年)

A 年間自家生産本数 .. ボトル	□ □ □ □ □	本	一本の容量	□ □ □ □	CC
B 年間外部導入本数 .. ボトル	□ □ □ □ □	本	一本の容量	□ □ □ □	CC

5 人工授精の今後の意向をお伺いします。 (アからオの中から1つだけ○)

ア () 人工授精は今後も実施する。 (○をした方はAからCに1つだけ○)

A () 人工授精の割合を増やしたい。

B () 人工授精の割合を維持したい。

C () 人工授精を割合を縮小したい。

- イ () 人工授精をやめたい。
- ウ () 人工授精をすぐに導入する予定(導入したい。)
- エ () 人工授精の導入を今後検討してみたい。
- オ () 今後も人工授精の導入は考えていない。

XI 経営の推移と今後の動向

1 飼養頭数の推移 (平成27年8月1日現在)

ア 昨年8月1日と比較して (該当するところに頭数を記入、変更していない場合は()に○)

区 分	a 繁殖豚頭数	b 肥育豚頭数
A 増やした	前年同日より <input type="text"/> 頭増	前年同日より <input type="text"/> 頭増
B 変更していない	()	()
C 減らした	前年同日より <input type="text"/> 頭減	前年同日より <input type="text"/> 頭減

イ 頭数を増やした理由 (○は2つ以内)

- A () 計画していた豚舎が完成したので増頭した。
- B () 後継者が経営に参加したので増頭した。
- C () 1頭当たりの生産性が低下したので収入を守るために増頭した。
- D () 委託、預託の農場を増やした。
- E () 出荷先から増頭の要請があった。
- F () 養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭
- G () 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。
- H () その他(具体的に: _____)

ウ 頭数を減らした理由 (○は2つ以内)

- A () 疾病対策で豚を入れ替えるため
- B () 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから
- C () 高齢化で労働が厳しくなったから
- D () 労働力が確保出来なくなったから
- E () 委託、預託農場となるため
- F () 廃業するため
- G () 飼料システム・経営形態の変更
- H () 環境対策
- I () その他(具体的に: _____)

2 養豚経営の今後の意向 (アからウの中から○は1つだけ)

ア () 経営を拡大する。 (○をした方はAからCのどれか1つ○)

A () 今年中に規模拡大する計画がある。

B () 3年以内に規模拡大する計画がある。

C () 今後規模拡大を検討したい。

イ () 現状維持

ウ () 経営を縮小 (○をした方はAからEのどれか1つ○)

A () 今年中に縮小する計画がある。

B () 3年以内に縮小する計画がある。

C () 今後縮小を検討したい。

D () 今年中に廃業する計画がある。

E () 近く廃業したいと考えている。

(DまたはEに○をした方はaからfの中からどれか1つ)

a () 後継者がいないため

b () 労働力が確保できないため

c () 環境問題のため

d () 負債があるため

e () 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから

f () その他(具体的に:)

XII 給与飼料

1 現在使用している飼料について (アからエの中から○はいくつでも)

ア () 市販配合飼料(配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む。)

イ () 自家配合(単味飼料等の原料を調達して自ら配合・調製したもの)

ウ () 食品残さ等リサイクル飼料

(食品製造粕、食品加工残さ、調理残さ、期限切れ加工食品、農産物残さ、厨芥等およびこれらを原料として加熱乾燥、発酵、液化化(リキッド)等の処理により飼料化したもの。なお市販飼料に含まれているものを使用している場合を除く。)

エ () 飼料米(市販の配合飼料に含まれているものを使用している場合を除く。)

XIII 衛生レベル

現在取り組んでいる防疫対策について

1 農場における人の入退場について (アからサの中から○はいくつでも)

- ア () 衛生管理区域であることをしめす看板等の設置
- イ () シャワーイン・シャワーアウトの実施
- ウ () 農場専用の衣服への交換
- エ () 農場専用の履物への交換
- オ () 豚舎専用の衣服への交換
- カ () 豚舎専用の履物への交換
- キ () 農場専用の踏み込み消毒槽の設置
- ク () 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置
- ケ () 来場者名簿の設置
- コ () 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限
- サ () 何も対策をしていない。

2 豚の導入時の対応について (○は1つだけ)

- ア () 農場から離れた隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- イ () 農場内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- ウ () 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検疫を実施している。
- エ () 隔離検疫は特に実施していない。
- オ () 外部からの生体導入は一切していない。

3 農場内への資材(農場内で使用する器具・機材等)の搬入時の対応について (○は1つだけ)

- ア () 倉庫等に一定期間おいてから消毒し搬入している。
- イ () 消毒をしてから搬入している。
- ウ () 倉庫等に消毒せずに一定期間おいてから搬入している。
- エ () 特別な対策はせずに直接搬入している。

4 車両の入退場の対応について (○はいくつでも)

- ア () 外来車両の消毒を実施している。
- イ () 出荷トラックの消毒を実施している。
- ウ () 消毒ゲートを設置している。
- エ () 動力噴霧機を設置している。
- オ () 石灰帯を設置している。
- カ () 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している。

5 野生動物の侵入防止策について (アからカの中から○はいくつでも)

- ア () 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している。
- イ () 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している。
- ウ () 豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕も実施している。
- エ () ネズミ駆除等を実施している。
- オ () 特別な対策はしていない。
- カ () その他の対策 (具体的に: _____)

XIV 環境対策

1 畜産関係の悪臭苦情の対応について

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか。 (A,Bのどちらかに○)

A () ある (○をした方はaからcの中から○は1つだけ)

- a () 近隣の住民より直接
- b () 県・市・町・村の公的機関を通して
- c () その他 (具体的に: _____)

B () ない

イ (アでAと回答した方) 苦情を減らすための方法を公的機関に相談しましたか。 (A,Bのどちらかに○)

A () 相談した。 (○をした方はaからfの中から○は1つだけ)

- a () アドバイスを試したところ、有効であった。
- b () アドバイスを試したが、有効でなかった。
- c () アドバイスを試したが、まだ効果があったかどうかわからない。
- d () アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから
- e () アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから
- f () まだアドバイスを受けていない。

B () 相談しなかった。

- a () どの公共機関に相談してよいかわからなかったから
- b () アドバイスは必要ないと感じたから
- c () 公的機関以外に相談しているから
- d () その他

ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後どのような役割を期待しますか。

(AからFの中から○は1つだけ)

- A () 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい。
- B () 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい。
- C () 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい。
- D () 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい。
- E () 住民との話し合や交流の場、機会を提供して欲しい。
- F () その他 (具体的に：)

2 ふん尿の処理状況 (平成26年1~12月)

ア 自家で飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入してください。

(放牧した期間は除く。)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 自家処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
B 共同処理施設※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 公共下水道処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D その他の処理施設※※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E 処理施設以外			
a 経営耕地還元※※※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
b 敷料等と交換	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
c 処理業者委託	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
d その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

※ 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう。

※※ その他の処理施設とは、「個人の施設に処理を委託・譲渡した場合」をいう。

※※※ 経営耕地還元とは、「生ふん尿を未処理で還元した場合」をいう。

イ (アでAの自家処理施設を利用していると回答した方) 処理方法を教えてください。

(該当する項目に数値を記入)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 天日乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
B 火力乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 強制発酵※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D 堆積発酵※※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E 焼却	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %
F 浄化	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
G 貯留	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
H その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

※ 強制発酵とは、「開放型または密閉型の攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風措置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう。

※※ 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながら発酵させる場合」をいう。

ウ 水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか。 (A、Bのどちらかに○)

A () はい

・ 年1回以上、硝酸性窒素等について水質検査をしていますか。
(※特定施設の届出をしている場合、硝酸性窒素等について、年1回以上、水質検査、測定検査の記録・保存が義務付けられています。)

a () はい

・ 水質検査の測定値を教えてください。
(※一般排水基準：100mg/L, 暫定排水基準：700mg/L)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

b () いいえ

B () いいえ

3 農場におけるアニマルウェルフェアの取り組みについて (○は1つ)

- A () 飼養管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている。
- B () アニマルウェルフェアについて具体的な検討中
- C () アニマルウェルフェアについて十分理解していないので情報が欲しい。
- D () 特に考えていない。

XV 豚肉輸出

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて

(注) A, B, Cは自ら輸出する場合(輸出の収益が自農場に帰属する場合です。通関手続き、輸送等を一部委託する場合があります。)に

○印をつけて下さい。(○は1つ)

A () すでに輸出している。 輸出国 () 年間

--	--	--	--	--

 t

B () 輸出に向けて準備中 輸出予定国 ()

(A又はBに該当する場合、aからdの該当欄に○)

- a () 自ら輸出ルートを構築(または構築予定)
- b () 農協系ルートを利用(または利用予定)
- c () 大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)
- d () 飼料メーカールートを利用(または利用予定)

C () 機会があれば輸出したい。 輸出希望国 ()

D () 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている。 輸出先国 ()

E () 特に考えていない。

●ご協力ありがとうございます。本調査票のほかに「国内由来飼料使用実態調査票」を同封しております。飼料米及びエコフィードの飼料を利用している生産者の方に記入していただくことを主眼にしておりますが、利用されていない生産者の方も若干記入していただく欄がございます。引き続きご協力お願いいたします。

(詳細集計)
養豚農業実態調査全国集計結果
平成 27 年度

一般社団法人 日本養豚協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-20
電話 03-3370-5473 FAX 03-3370-7937

H28. 3

禁無断転載